

2023年3月期 第1四半期決算 投資家向け説明会

2022年8月10日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（Arm Limitedを含み、以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」 (https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を開覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

本資料には、Arm Limitedに関する記述が含まれています。これらの記述は、SBGの株主への情報提供のみを目的としたものであり、Arm Limitedが発行するあらゆる有価証券の販売又は購入の勧誘を目的としたものではありませんし、そのように解釈されるべきではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は常に、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴ又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に關して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4
1米ドル	110.00	110.47	113.60	117.10	129.04			
1人民元	17.01	17.09	17.75	18.43	19.60			
期末レート	2021/6月末	2021/9月末	2021/12月末	2022/3月末	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末
1米ドル				122.39	136.68			
1人民元				19.26	20.38			

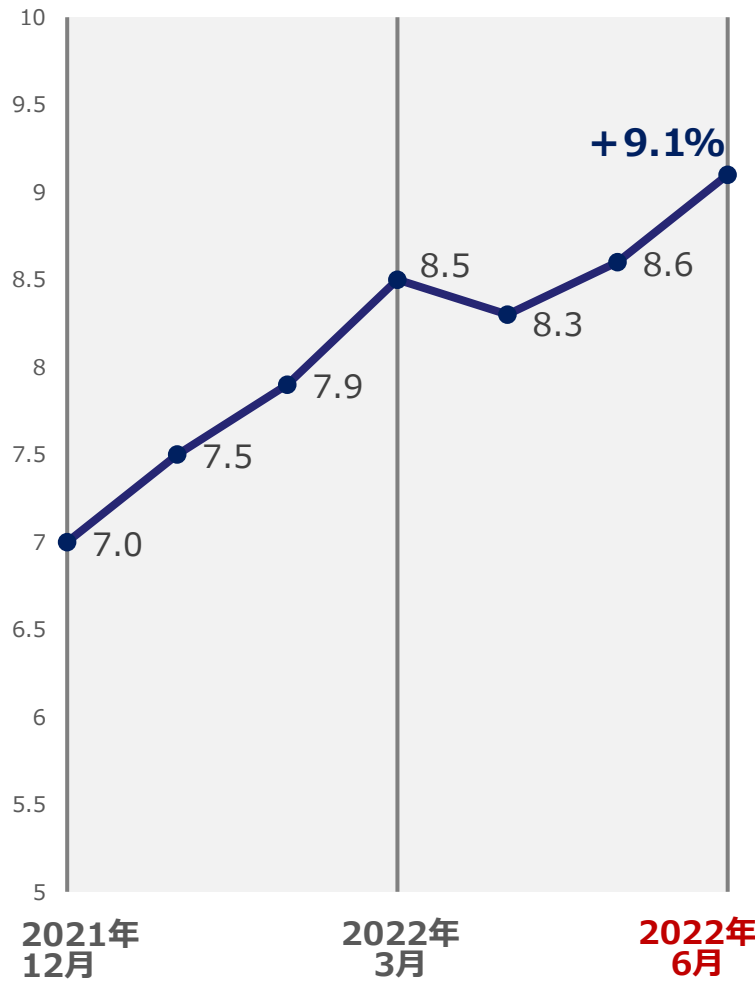
略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「株」を省略している箇所がある。

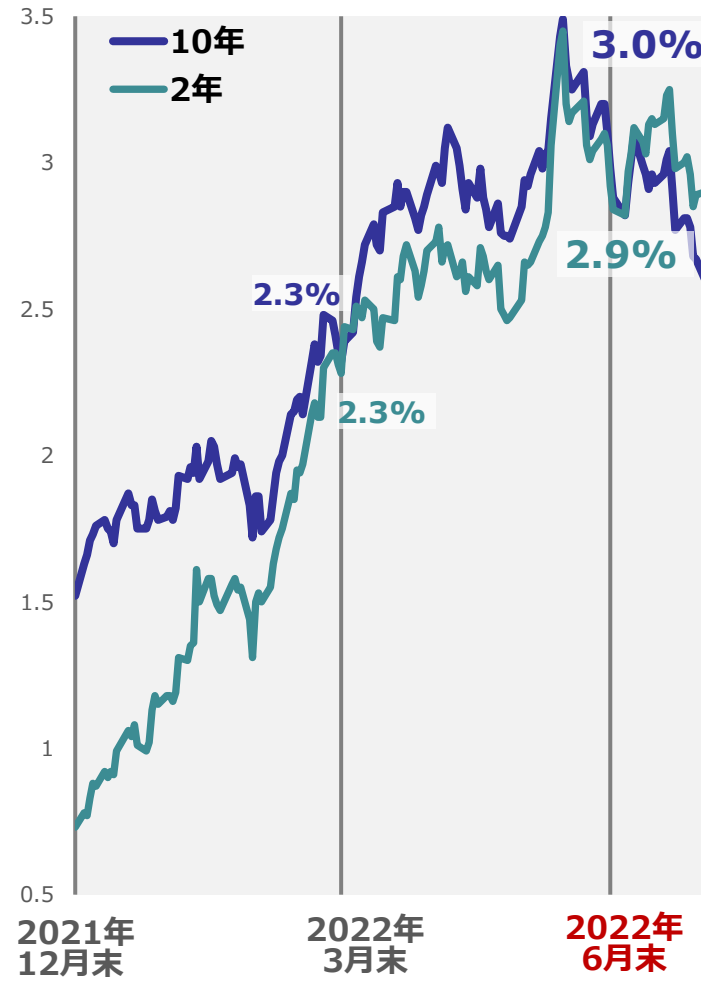
略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	WeWork Inc.

市場環境について

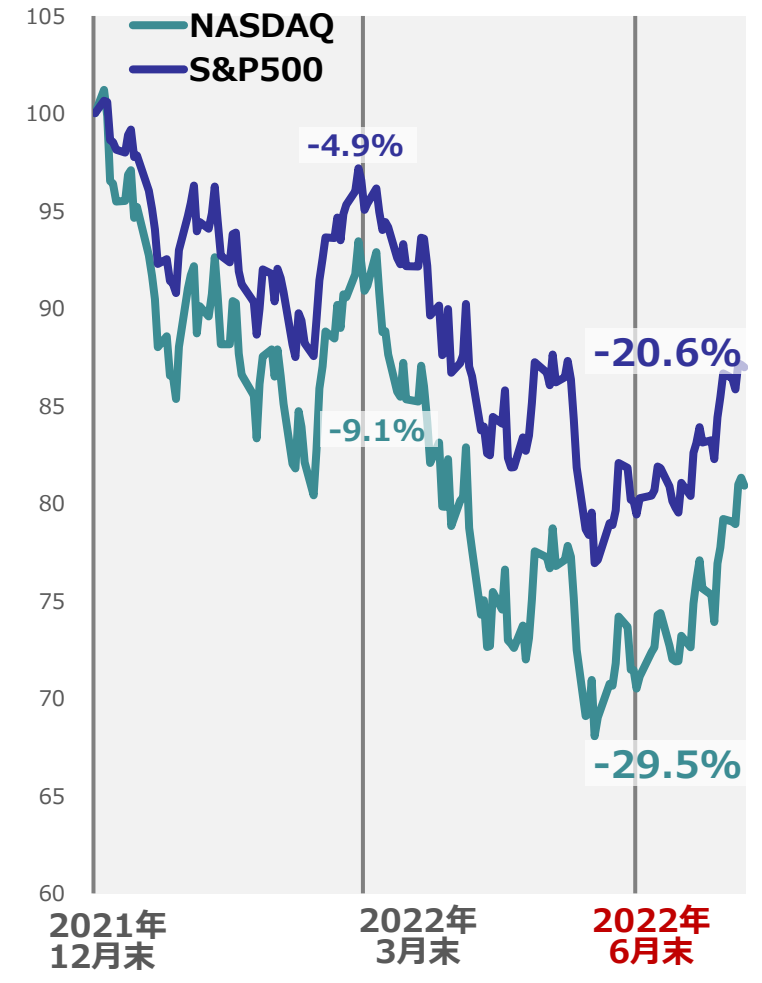
インフレと利上げを受けた株式市場の調整は続く



米国消費者物価指数*1 (CPI)
(前年同期比)



米国国債金利*2



NASDAQ総合指数・S&P500*2
(2021年12月末を100として指数化)

*1 U.S. BUREAU OF LABOR STATISTICSを基に当社作成

*2 S&P Capital IQを基に当社作成

中国に関する環境認識について

米中摩擦、中国規制環境については、ポジティブ、ネガティブ両面の動きがあり、依然として不透明感は晴れず



中国IT企業を取り巻く環境

ポジティブ

- 5月：中国副首相がデジタルプラットフォーム企業への支援を表明
- 6月：上海市のロックダウン解除
- 7月：米中間で対中制裁関税を見直す協議
- 7月：アリババが香港取引所プライマリー上場申請を発表

ネガティブ

- 7月：新型コロナの新規感染者数が再び増加
- 7月：複数のインターネット企業に罰金が科される
- 7月：SECが外国企業説明責任法（HFCAA）に基づく上場廃止警告リストにアリババを追加

環境認識

◆ グローバル経済

- ・ インフレ抑制のための利上げペース加速、リセッション入りリスクもくすぶる
- ・ 4-6月はテック株式の調整続く。その後、下げ止まりの兆し

◆ 地政学リスク

- ・ 米中摩擦・中国規制環境は、ポジティブ・ネガティブ両面の動きがあり、不透明感晴れず
- ・ ロシア・ウクライナ情勢は長期化

「守り」の実行

投資の抑制

資金化の継続

NAV 18.5兆円

22/3末比 **横ばい**

LTV 14.5%

22/3末比 **-5.9%**ポイント

手元流動性 4.6兆円

22/3末比 **+1.7**兆円

- **經理編**
- **財務編**
- **SoftBank Vision & LatAm Funds**

經理編

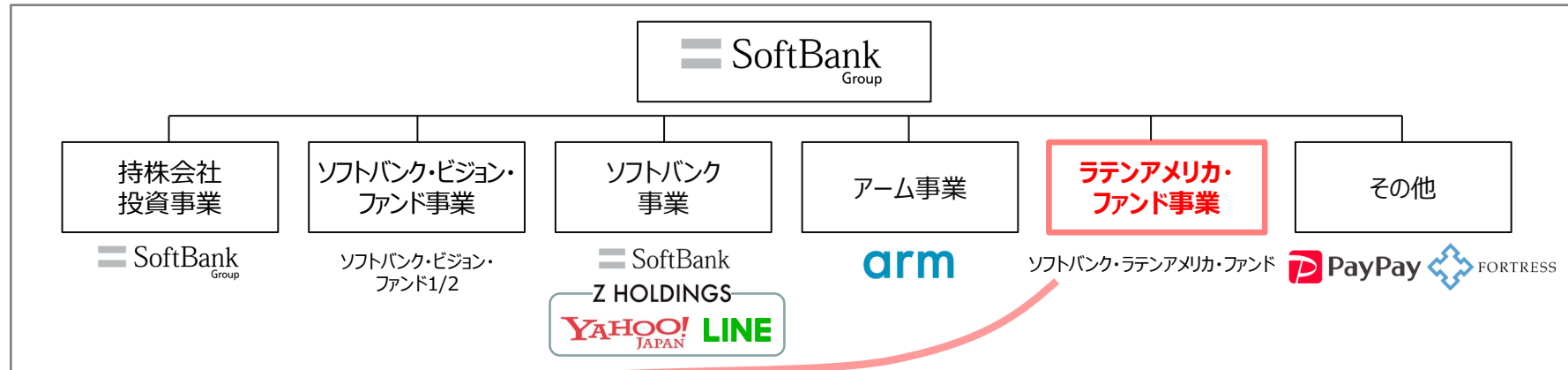
連結業績概況

(億円)	FY21Q1	FY22Q1	増減額	増減率
売上高	14,791	15,720	+929	6.3%
税引前利益	12,925	-32,925	-45,849	—
当期純利益 (親会社所有者帰属分)	7,615	-31,627	-39,242	—
(参考)				
投資損益合計	12,631	-28,344	-40,975	—
持株会社投資事業	7,415	1,112	-6,303	-85.0%
ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業	5,073	-29,191	-34,264	—
その他	142	-265	-408	—

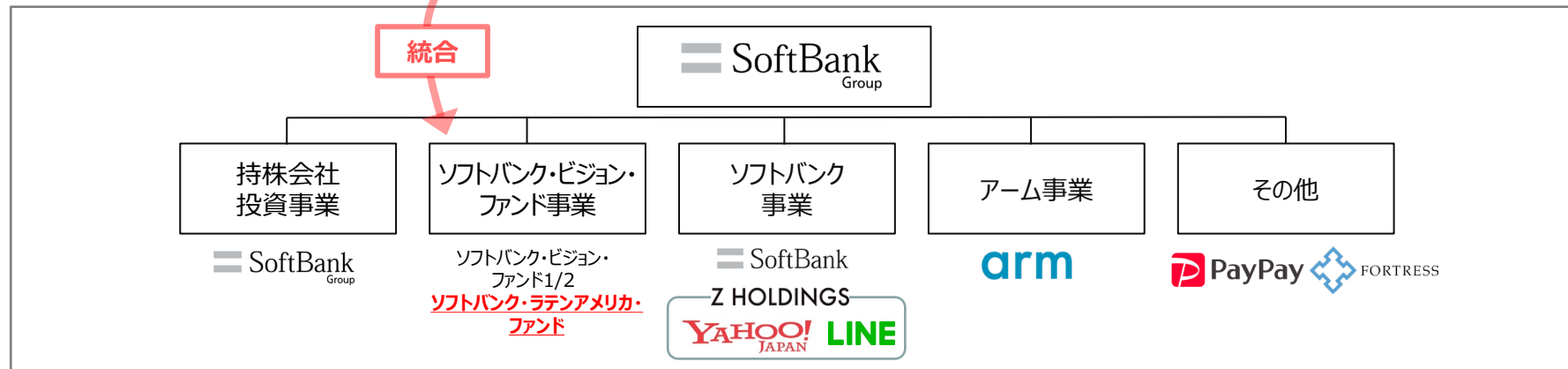
報告セグメントの変更

FY22Q1にラテンアメリカ・ファンド事業をソフトバンク・ビジョン・ファンド事業へ統合

FY21



FY22



<ソフトバンク(株)およびZホールディングス(株)によるPayPay(株)の連結子会社化>

- 2022年10月よりPayPayはソフトバンクおよびZホールディングスの子会社となる見込みであるため、FY22Q3よりPayPayの業績は「その他」に含めず「ソフトバンク事業」に含めて表示する予定。その場合、前年同期についても同様に遡及修正して開示を行う。
- ソフトバンクおよびZホールディングスの決算上はFY22Q3より連結範囲の変更 (PayPayの子会社化) となり、IFRS第3号「企業結合」を適用した会計処理を行う見込みだが、SBGの決算上はPayPayは一貫して子会社のため当該会計処理による影響は含まれない。

遡及修正前・後

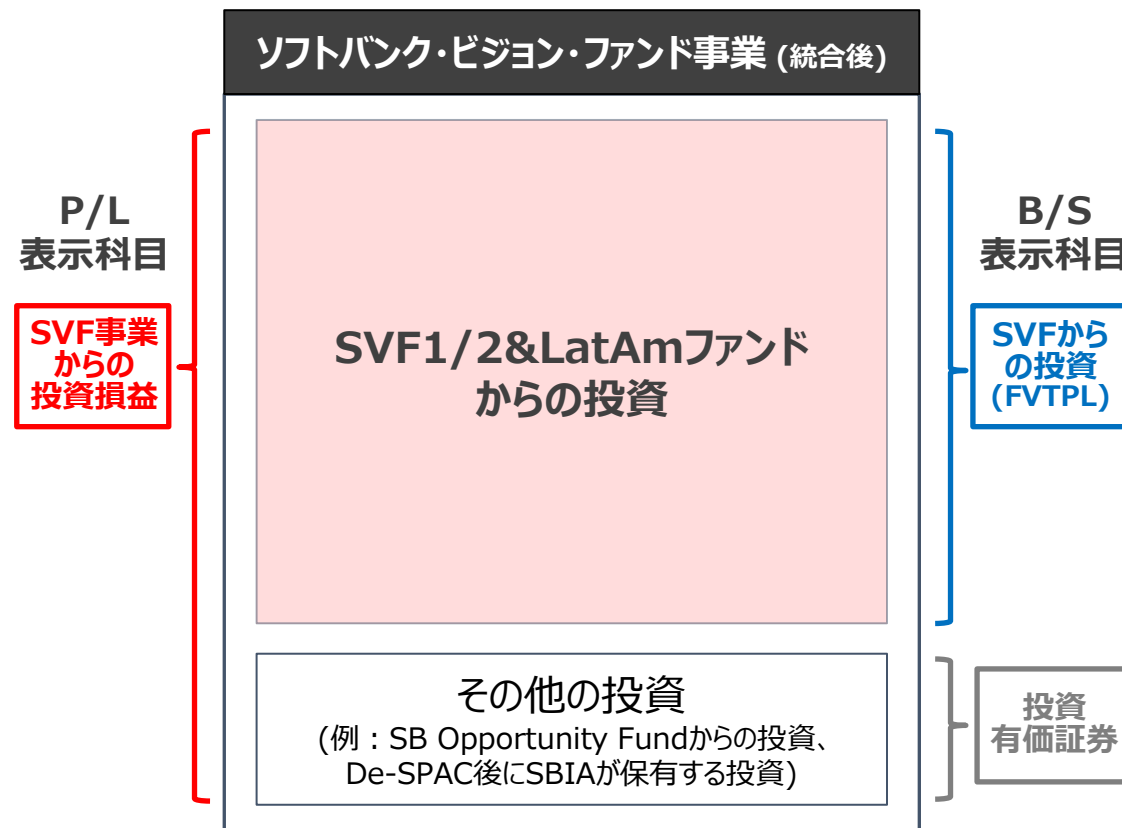
(億円)

P/L	FY21Q1		
	遡及修正前	遡及修正後	増減
SVF事業からの投資損益	2,879	5,073	2,194
旧：ラテンアメリカ・ファンド事業からの投資損益	2,194	-	-2,194

(億円)

B/S	2022/3月末		
	遡及修正前	遡及修正後	増減
SVFからの投資 (FVTPL)	137,664	149,096	11,432
投資有価証券	42,086	30,854	-11,232

FY22Q1のB/S、P/L表示科目



セグメント利益：ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業

(億円)

P/L項目	FY21Q1	FY22Q1	FY22Q1摘要
SVF事業からの投資損益	6,109	-29,338	
SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益	6,109	-29,350	SVF1 -1兆3,130億円、SVF2 -1兆2,971億円、LatAmファンド -3,249億円
投資の実現損益*	4,066	-267	SVF1 -305億円 (主に公開投資先の資金化)、SVF2 +33億円 (KE Holdingsの全株式を売却)、LatAmファンド +5億円
投資の未実現評価損益*	1,959	-29,159	
当期計上額	6,491	-28,815	FY22Q1末に保有する投資の未実現評価損益： SVF1 -1兆2,153億円 (-9,418百万米ドル)、SVF2 -1兆3,410億円 (-10,392百万米ドル)、 LatAmファンド -3,252億円 (-2,520百万米ドル)
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-4,532	-344	FY22Q1に売却した投資に係る未実現評価損益の過年度計上額を「投資の実現損益」に振り替えた金額： SVF1 -456億円 (-521百万米ドル)、SVF2 +114億円 (+20百万米ドル)、 LatAmファンド -2億円 (-2百万米ドル)
投資先からの利息及び配当金	210	4	
投資に係るデリバティブ関連損益	-34	377	
為替換算影響額	-93	-305	未実現評価損益と実現損益の換算に使用する為替レートの差により生じた金額
その他の投資損益	1	12	
販売費及び一般管理費	-188	-189	
財務費用	-43	-154	
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	7	5	
SVFにおける外部投資家持分の増減額	-1,346	6,314	各ファンドからの投資損益から、①SBIAがSVF1から、SBGAがLatAmファンドからそれぞれ受領する管理報酬および成功報酬、②SBGAがSVF2から受領する管理報酬および業績連動型管理報酬、③各ファンドの営業費用およびその他の費用を控除した金額を、持分に応じて外部投資家に分配した成果分配額および固定分配額の合計
その他の損益	-21	55	
セグメント利益 (税引前利益)	4,519	-23,308	

*純額で表示。

(参考) 投資の実現損益と未実現評価損益 (ファンド別)

(億円)

ファンド	投資の実現損益*1	投資の未実現評価損益*1			摘要
		当期計上額 (FY22Q1)		過年度計上額のうち実現損益への振替額	
		公開投資先	未公開投資先		
SVF1	-305 (-236百万米ドル)	-9,196 (-7,127百万米ドル)	-2,957 (-2,292百万米ドル)	-456 (-521百万米ドル)	(公開投資先) ・インフレ進行による景気後退懸念の高まり、金利上昇を受けた世界的な株価下落傾向などを背景に、多数の銘柄の株価が下落 (未公開投資先) ・公開類似企業の株価下落を反映し多数の銘柄で公正価値が減少
SVF2	+33 (+25百万米ドル)	-4,954 (-3,839百万米ドル)	-8,456 (-6,553百万米ドル)	+114 (+20百万米ドル)	(公開投資先) ・主にAutoStoreやWeWorkの株価が下落 (未公開投資先) ・資金調達ラウンドのあった投資先および業績が想定を下回って進捗している投資先などの公正価値が減少 ・公開類似企業の株価下落を反映した公正価値減少
LatAm ファンド	+5 (+4百万米ドル)	-3,252 (-2,520百万米ドル)		-2 (-2百万米ドル)	・Inter & Co, Inc.などの公開投資先の株価下落 ・公開類似企業の株価下落を反映し未公開投資先の公正価値が減少
合計	-267 (-207百万米ドル)	-28,815 (-22,330百万米ドル)		-344 (-503百万米ドル)	ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業におけるセグメントPL計上額

・Coupang -2,274百万米ドル
 ・SenseTime Group -1,828百万米ドル
 ・DoorDash -1,710百万米ドル
 ・DiDi*2

*1 純額で表示。

*2 店頭市場の取引銘柄は公開投資先に含まれる。

セグメント利益：持株会社投資事業

(億円)

P/L項目	FY21Q1	FY22Q1	FY22Q1摘要
持株会社投資事業からの投資損益	7,414	1,112	
アリババ株式先渡売買契約決済益	—	973	アリババ株式を活用した先渡売買契約の一部を現物決済したことによる利益
Tモバイル株式売却関連損益	—	248	Tモバイル株式売却取引の詳細はp8参照
資産運用子会社からの投資の実現損益	654	72	SB Northstar：上場株式等への投資の結果
資産運用子会社からの投資の未実現評価損益	176	-695	
資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	1,195	-52	
投資の実現損益	918	-4	
投資の未実現評価損益	2,884	-276	
当期計上額	3,609	-279	FY22Q1：Tモバイル +318億円、ドイツテレコム +276億円、SoFi Technologies -514億円、NVIDIA -133億円、Lemonade -125億円
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-725	3	
投資に係るデリバティブ関連損益	1,473	736	FY22Q1：Tモバイル株式に係る条件付対価*の公正価値の増加 +712億円
その他	115	111	
販売費及び一般管理費	-204	-167	
財務費用	-596	-800	SBGと資金調達を行う100%子会社の支払利息：+257億円 yoy (主にアセットバック・ファイナンスによる借入や社債発行に伴う有利子負債の増加のため)
為替差損益	-127	-8,220	FY22Q1：円安の影響 (詳細はp18、19参照)
持分法による投資損益	547	-1,398	FY22Q1：アリババに係る持分法投資損失 -1,355億円
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く) 主にアリババ株式の先渡売買契約の影響	-1,082	-2,450	FY22Q1：アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連損失 -3,336億円 (アリババの株価上昇に伴い計上)
その他の損益	301	-58	
セグメント利益 (税引前利益)	6,253	-11,981	

*スプリント/T-Mobile US合併取引の対価として受領した、一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利。詳細はp11参照。

Tモバイル株式の資金化

取引内容	調達額 (億米ドル)	実行時期	所有株式数 (百万株)	
			Tモバイル株式	ドイツテレコム株式
a Tモバイル株式106.3百万株を担保とした借入 (マージン・ローン)	43.8	2020年7月		
2021年6月末現在の所有株式数			106.3	—
b Tモバイル株式17.9百万株を活用した先渡し買契約による資金調達	18.1	2021年9月		
c Tモバイル株式43.0百万株を担保とした借入 (マージン・ローン)	26.5			
d bおよびcで得た資金を用いてaの借入を返済	-43.8			
e Tモバイル株式45.4百万株を担保とした満期60日間の借入 (ブリッジ・ローン)	12.5			
f ドイツテレコムによるコールオプションの一部行使に伴い、Tモバイル株式45.4百万株をドイツテレコムに売却し、その対価としてドイツテレコム株式225.0百万株を受領	—		-45.4	225.0
2021年9月末現在の所有株式数			60.9	225.0
g ドイツテレコム株式225百万株を利用したカラー取引による資金調達	30.4*	2021年10月		
h gで得た資金の一部を用いてeの借入を返済	-12.5			
2021年12月末現在の所有株式数			60.9	225.0
i Tモバイル株式6.9百万株を利用した先渡し買契約による資金調達	6.8	2022年3月		
j iで得た資金の一部を用いてcの借入の一部を返済	-5.9			
2022年3月末現在の所有株式数			60.9	225.0
k ドイツテレコムによるコールオプションの一部行使に伴い、Tモバイル株式21.2百万株をドイツテレコムに売却し、その対価として24.0億米ドルを受領	24.0	2022年4月		
l kで得た資金の一部を用いてcの借入の一部を返済	-12.0			
2022年6月末現在の所有株式数			39.8	225.0

*調達額のユーロ換算額は26.4億ユーロ。

Tモバイル株式：当社所有株式数（ドイツテレコム保有のコールオプション未行使分を含む）および公正価値

- 2022年4月、ドイツテレコムがコールオプションを一部行使し、当社はTモバイル株式21.2百万株を売却

(行使されたコールオプションの株数)

- 固定オプション：11.8百万株
- 変動オプション：9.3百万株

(上記の公正価値)

- FY21末：2,715百万米ドル
- 売却時：2,758百万米ドル

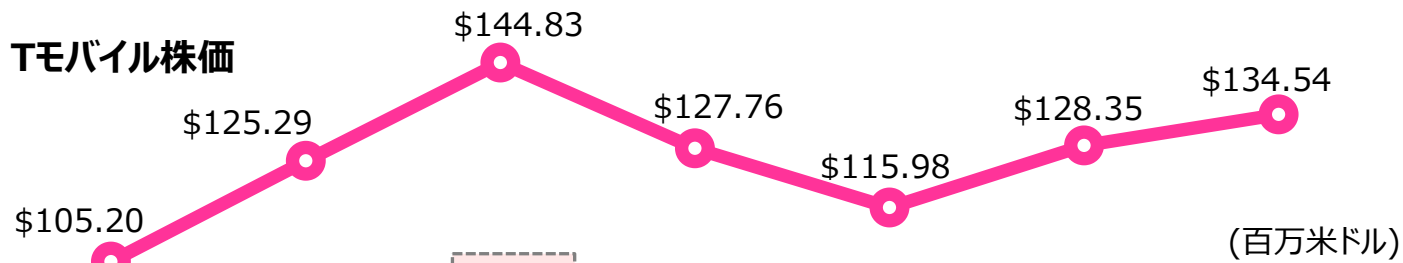
- FY22Q1末時点の当社所有Tモバイル株式数：39.8百万株（下記(i)+(ii)）

(i) ドイツテレコム保有のコールオプション（未行使分）：35.0百万株

(固定：6.7百万株、変動：28.2百万株)

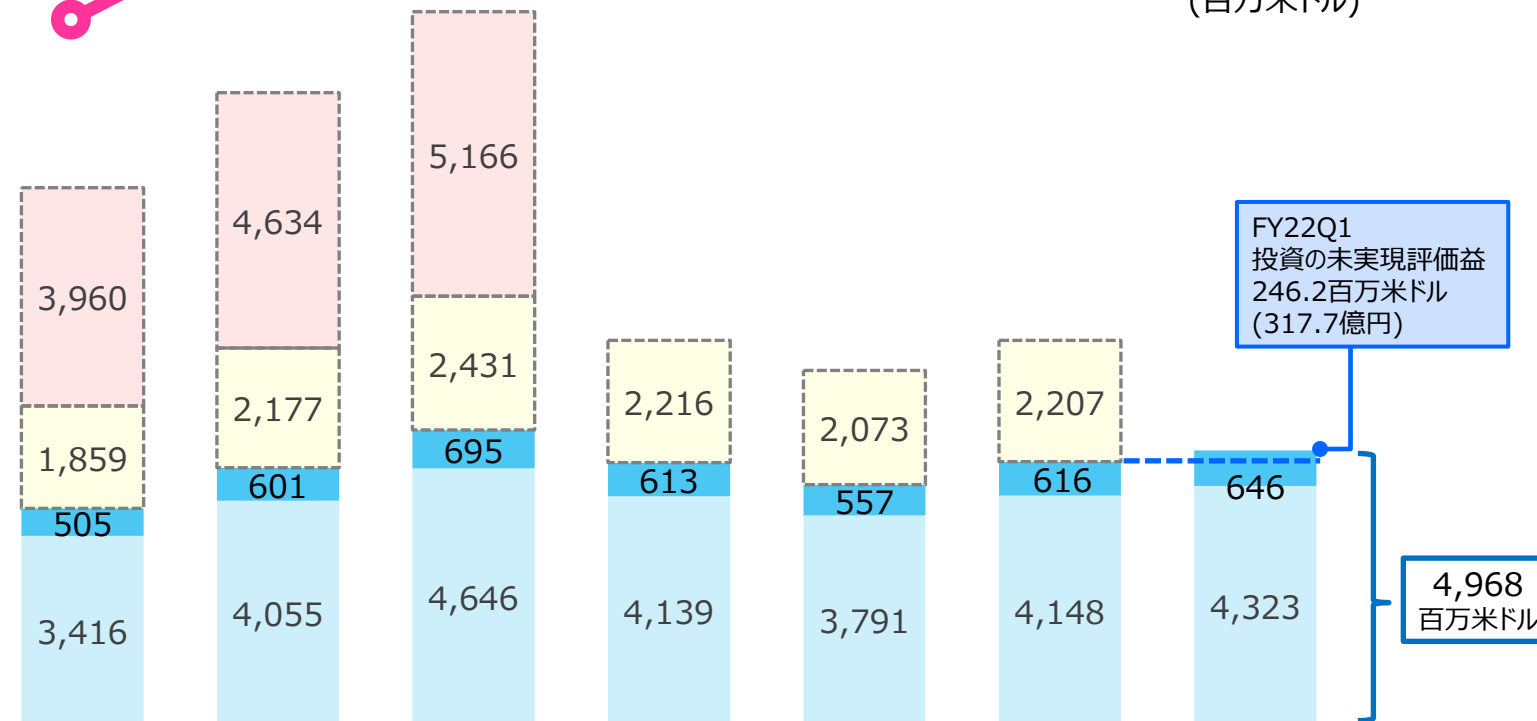
(ii) 同オプション対象外：4.8百万株

FY20		FY21				FY22
6/26	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末



公正価値

- (i) Tモバイル株式（オプション未行使分）
(デリバティブ金融負債の公正価値控除後)
- (ii) Tモバイル株式（オプション対象外）
- FY21Q2売却分（デリバティブ金融負債含む）
- FY22Q1売却分（デリバティブ金融負債含む）



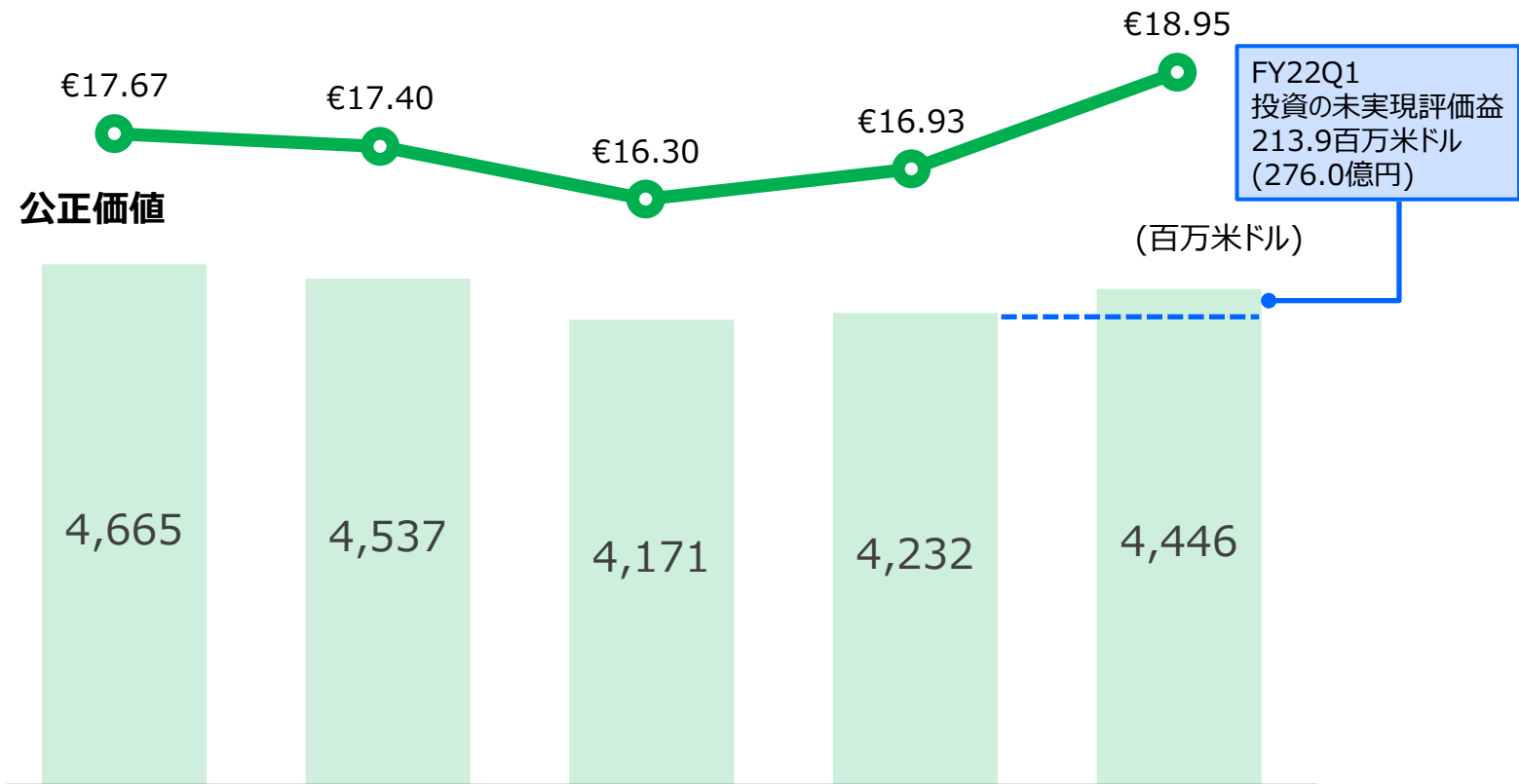
ドイツテレコム保有コールオプション対象株数 (百万株)	101.5	101.5	101.5	56.1	56.1	56.1	35.0
同オプション対象外株数 (百万株)	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8

ドイツテレコム株式：当社所有株式数および公正価値

2021年9月、Tモバイル株式売却の対価として当社はドイツテレコム株式225.0百万株を取得

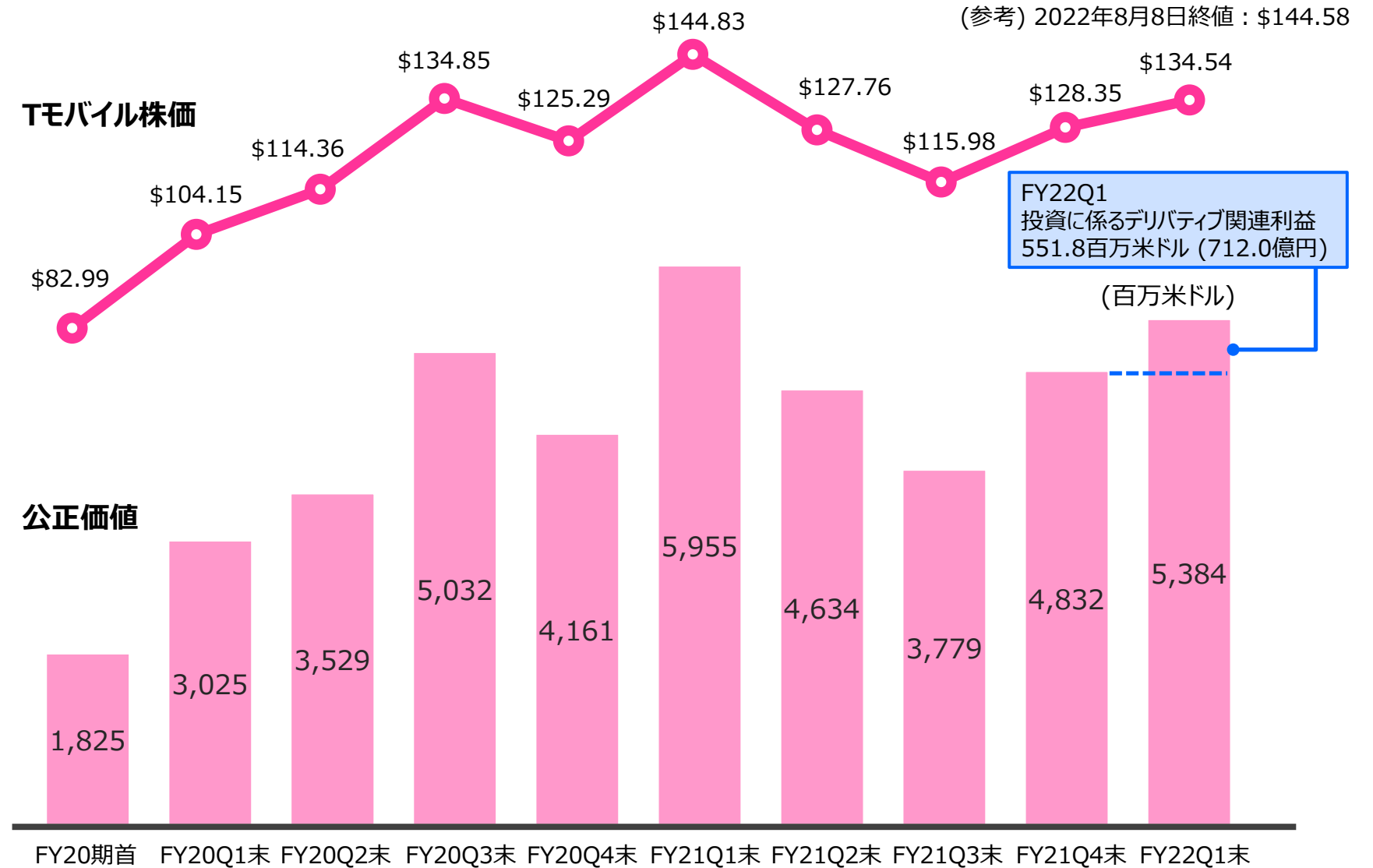
FY21				FY22
9月取引時	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末

ドイツテレコム株価

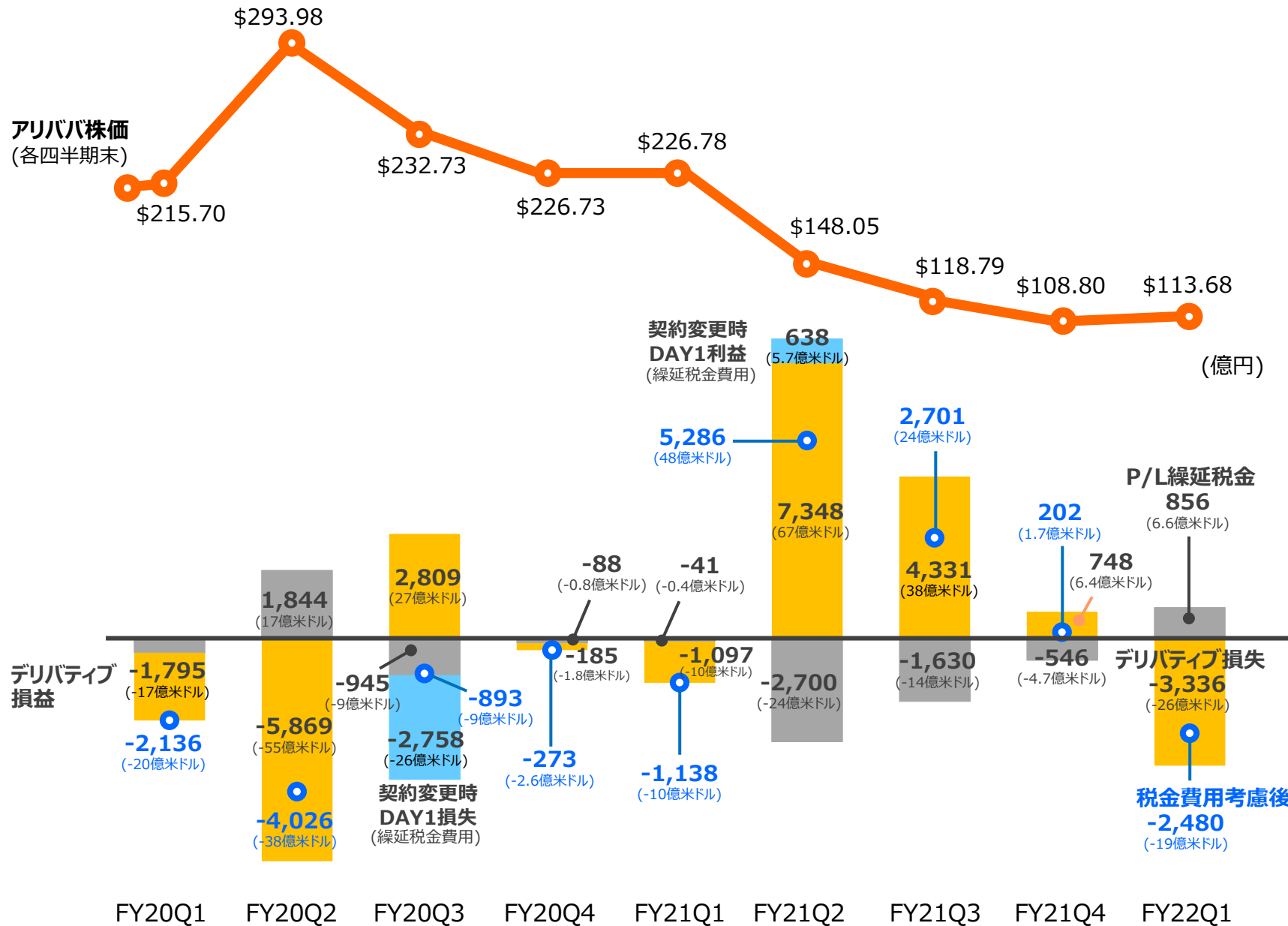


Tモバイル株式：条件付対価の公正価値

- 条件付対価：**
 一定の条件を満たした際に、当社がTモバイル株式**48.8百万株**を無償で取得できる権利
- 取得条件：**
 2022年4月1日から2025年12月31日の間におけるTモバイル株式の45日間のVWAP (出来高加重平均価格) \geq **150米ドル**



アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ関連損益（四半期推移）



(P/L影響額)

(億円)	FY22Q1
税引前利益	-3,336 (-26億米ドル)
純利益	-2,480 (-19億米ドル)

(アリババ株式先渡売買契約に係る B/S計上額)

(億円)	FY21 Q4末	FY22 Q1末
デリバティブ金融資産	15,724	12,266
デリバティブ金融負債	-677	-3,764
純額	15,047	8,502
株式先渡契約金融負債	41,961	54,257

連結P/L総括 IFRSベース

(億円)

P/L項目	FY21Q1	FY22Q1	増減
売上高	+14,791	+15,720	+929
売上総利益	+8,120	+8,838	+718
投資損益			
持株会社投資事業からの投資損益	+7,415	+1,112	-6,303
SVF事業からの投資損益	+5,073	-29,191	-34,264
その他の投資損益	+142	-265	-408
投資損益合計	+12,631	-28,344	-40,975
販売費及び一般管理費	-5,934	-6,265	-331
財務費用	-828	-1,141	-313
為替差損益	-149	-8,200	-8,051
持分法による投資損益	+504	-1,584	-2,088
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	-1,115	-2,593	-1,477
SVFにおける外部投資家持分の増減額	-1,346	+6,314	+7,659
その他の損益	+1,042	+51	-992
税引前利益	+12,925	-32,925	-45,849
法人所得税	-3,600	+1,961	+5,561
純利益	+9,325	-30,963	-40,288
親会社の所有者に帰属する純利益	+7,615	-31,627	-39,242

(+ : 利益にプラス、- : 利益にマイナス)

持株会社投資事業からの投資損益 (連結) +1,112億円 (詳細はp7参照)

- ・資産運用子会社からの投資による投資損失：-676億円
- ・Tモバイルおよびドイツテレコムへの投資に係る損益 (投資に係るデリバティブ関連利益、未実現評価利益、Tモバイル株式売却関連利益)：+1,545億円
- ・アリババ株式先渡売買契約決済益：+973億円

SVF事業からの投資損益 (連結) -2兆9,191億円 (詳細はp5、6参照)

- ・未実現評価損失 (純額) SVF1 -1兆2,156億円、SVF2 -1兆3,260億円
- ・実現損益 (純額) SVF1 -305億円、SVF2 +33億円

財務費用 -1,141億円

持株会社投資事業において支払利息が増加 (詳細はp7参照)

為替差損益 -8,200億円

円安の影響 (詳細はp18、19参照)

(参考) 為替換算差額の増加額 (連結B/S)：+2兆967億円 (p17参照)

持分法による投資損益 -1,584億円

アリババに係る持分法投資損失：-1,355億円

デリバティブ関連損益 (投資損益を除く) -2,593億円

アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連損失：-3,336億円

法人所得税 +1,961億円 (利益)

- ・アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連損失の計上に伴い繰延税金負債を取り崩し
- ・SBKKやヤフーで法人所得税を計上

連結B/S総括 IFRSベース - 1

(億円)

B/S項目	主な科目	2022/3月末	2022/6月末	増減
		100,286	103,982	+3,696
流動資産	現金及び現金同等物	51,690	60,707	+9,017
	デリバティブ金融資産	10,504	7,223	-3,281
	その他の金融資産	9,711	7,442	-2,269
	その他の流動資産	3,341	3,696	+355
		375,161	365,781	-9,380
非流動資産	有形固定資産	18,427	18,975	+547
	のれん	48,979	52,420	+3,441
	無形資産	24,276	24,677	+401
	持分法で会計処理されている投資	52,345	52,823	+478
	SVFからの投資 (FVTPL)	149,096	134,711	-14,386
	SVF1	83,653	76,714	-6,939
	SVF2	54,011	48,526	-5,485
	LatAmファンド	11,432	9,471	-1,962
	投資有価証券	30,854	29,398	-1,456
	デリバティブ金融資産	13,338	14,920	+1,582
その他の金融資産	22,306	22,116	-190	
	資産合計	475,447	469,763	-5,683

1 現金及び現金同等物 6兆707億円 (+9,017億円)
 SBG 3兆5,780億円 (+1兆754億円)

アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融資産の減少：-3,512億円 (デリバティブ関連損失の計上、アリババ株式を受け渡し現物決済したことなどにより減少)

SB Northstarにおける事業規模の縮小の影響：拘束性預金 -1,273億円、資産運用子会社からの投資 -494億円、資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産：-484億円

アーム +3,384億円 (対米ドルの為替換算レートが前期末から円安となった影響)

(参考) FY22Q1末のアリババ株式の簿価：4兆5,661億円

2 SVFからの投資 (FVTPL) 13兆4,711億円 (-1兆4,386億円)

- SVF1 -6,939億円 (公正価値減少：-94.2億米ドル、売却：-28.6億米ドル、投資：+0.6億米ドル)
- SVF2 -5,485億円 (公正価値減少：-102.8億米ドル、売却：-4.6億米ドル、投資：+21.1億米ドル)
- LatAmファンド -1,962億円 (公正価値減少：-25.2億米ドル、売却：-0.4億米ドル、投資：+1.5億米ドル)

期末日の対米ドルの為替換算レートが11.7%円安となったことによる帳簿価額の増加を含む

3 投資有価証券 2兆9,398億円 (-1,456億円) (詳細はp15参照)

Tモバイル株式に係る条件付対価*の公正価値増加：+1,445億円

*スプリント/T-Mobile US合併取引の対価として受領した、一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利。詳細はp11参照。

連結B/S 投資有価証券 (主な投資先)

(億円)

	2022/ 3月末	2022/ 6月末	増減	摘要
投資有価証券*	30,854	29,398	-1,456	
FVTPL	25,876	24,695	-1,181	
Tモバイル	9,571	7,314	-2,257	ドイツテレコムがTモバイル株式を対象とするコールオプションを一部行使したことに伴い、保有するTモバイル株式21.2百万株をドイツテレコムへ売却
ドイツテレコム	5,180	6,077	+897	公正価値増加 (株価：2022年3月末 €16.93→6月末 €18.95)
SoFi Technologies	1,102	687	-415	公正価値減少
Lemonade	387	299	-88	公正価値減少
NVIDIA	351	218	-133	公正価値減少
その他	9,286	10,101	+815	
FVTOCI等	4,977	4,703	-274	PayPay銀行が保有する公社債を含む

*FY22Q1にラテンアメリカ・ファンド事業をソフトバンク・ビジョン・ファンド事業へ統合したことに伴い、これまで投資有価証券として計上していたLatAmファンドからの投資を「SVFからの投資 (FVTPL)」として遡及修正している。

連結B/S総括 IFRSベース - 2

(億円)

B/S項目	主な科目	2022/3月末	2022/6月末	増減
流動負債		123,815	112,067	-11,748
	有利子負債	73,289	65,878	-7,410
	リース負債	2,402	2,319	-84
	銀行業の預金	13,314	14,185	+871
	営業債務及びその他の債務	19,689	17,872	-1,817
	デリバティブ金融負債	1,196	697	-499
	その他の金融負債	5,548	3,997	-1,551
	未払法人所得税	1,834	1,254	-580
	その他の流動負債	6,203	5,479	-723
非流動負債		234,554	255,950	+21,396
	有利子負債	141,286	163,862	+22,577
	リース負債	6,259	6,449	+190
	SVFにおける外部投資家持分	56,405	53,681	-2,724
	デリバティブ金融負債	1,740	4,528	+2,788
	その他の金融負債	1,298	1,582	+284
	繰延税金負債	24,360	22,463	-1,897
	その他の非流動負債	2,126	2,384	+258
負債合計		358,369	368,017	+9,648

1 **SBG**
借入金 (流動+非流動) : -5,558億円
 コミットメントラインを使用した借入金の返済 : -45.0億米ドル
社債 (流動+非流動) : +1,021億円
 ・社債の買入 : 外貨建て普通社債-2.7億米ドル (額面総額)、-2.2億ユーロ (額面総額)
 ・円安影響 : 期末日の対米ドルの為替換算レートが11.7%円安となったことにより外貨建て普通社債の帳簿価額が増加
資金調達を行う100%子会社
借入金 (流動+非流動) : +1,554億円
 ・アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスの借入による増加 : +5.0億米ドル (純額)
 ・前期に借り入れたTモバイル株式を活用したマージン・ローン返済 : -12.0億米ドル
株式先渡契約金融負債 (流動+非流動) : +1兆2,705億円
 アリババ株式先渡売買契約の新規締結による増加
ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業
借入金 (流動+非流動) : +3,362億円
 ・SVF1 アセットバック・ファイナンスによる借入金の増加 : +17.2億米ドル
 ・円安影響 : 期末日の対米ドルの為替換算レートが11.7%円安となったことによる借入金の残高の増加

アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ関連損失の計上などによる増加 : +3,087億円

アリババ株式を活用した先渡売買契約について、デリバティブ金融資産の公正価値の減少およびデリバティブ金融負債の公正価値の増加に伴い減少

(注) 有利子負債とリース負債の会社別内訳はFY22Q1決算短信p32参照。

連結B/S総括 IFRSベース - 3


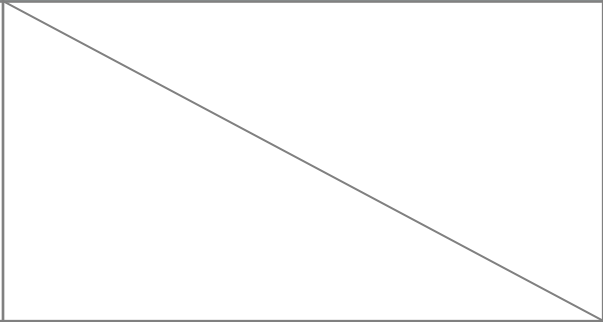

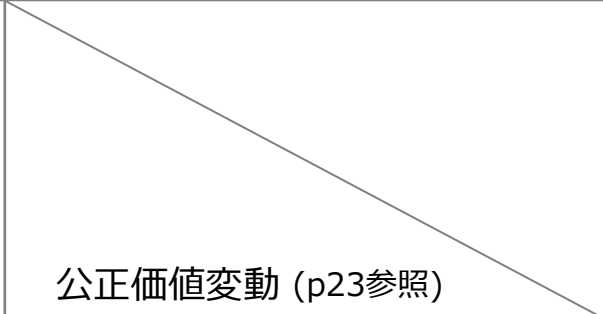

(億円)

B/S項目	主な科目	2022/3月末	2022/6月末	増減
資本合計		117,078	101,746	-15,332
	資本金	2,388	2,388	—
	資本剰余金	26,346	26,449	+103
	その他の資本性金融商品*	4,969	4,969	—
	利益剰余金	45,157	13,183	-31,974
	自己株式	-4,064	-6,987	-2,923
	その他の包括利益累計額	24,962	45,623	+20,661
	親会社の所有者に帰属する持分合計	99,757	85,624	-14,133
	非支配持分	17,321	16,122	-1,199
親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)		21.0%	18.2%	-2.8%

- ① 親会社の所有者に帰属する純損失：-3兆1,627億円
- ② 総額1兆円を上限とする2021年11月取締役会決議に基づく取得分：2,935億円 (56,297,800株)
- ③ 円安の影響で在外営業活動体の為替換算差額が増加：+2兆967億円 (海外を拠点とする子会社・関連会社を円換算する際に生じる為替換算差額が、対米ドルや中国人民元の為替換算レートが円安となったことに伴い増加。詳細はp18、19参照)
(参考) FY22Q1の為替差損益 (連結P/L)：-8,200億円 (p13参照)

*SBGが2017年7月に発行した米ドル建永久劣後特約付社債。IFRS上資本性金融商品に分類。

P/L・B/Sへの円安影響（概念図）

エンティティー	種別	P/L 為替差損益	B/S 為替換算差額
SBG単体+ 国内資金調達子会社	外貨建て現預金・ 貸付金 (投資を除く)	 為替差益 (p19参照)	
	外貨建て負債 (借入金・社債)	 為替差損 (p19参照)	
機能通貨が外貨の 在外子会社・関連会社 (例：SVF1/2&LatAmファンド、 アリババ)	純資産 (プラス)	 公正価値変動 (p23参照)	 為替換算差額 (p19参照)

FY22Q1の円安影響

FY22Q1 連結P/L 為替差損益：-8,200億円 (うちSBG単体の影響が9割)

SBG単体 グループ会社からの外貨建て借入に係る為替差損益：-1兆757億円、外貨建て社債に係る為替差損益：-1,323億円 (ハイブリッド債含む)

SBG単体残高	FY21末 期末日レート：¥122.39/\$	FY22Q1末 期末日レート：¥136.68/\$
外貨建て負債 (借入金・社債) (グループ会社からの借入を含む)	897億米ドル	951億米ドル
外貨建て現預金・貸付金 (投資を除く)	326億米ドル (現預金182億米ドル、貸付金144億米ドル)	342億米ドル (現預金208億米ドル、貸付金134億米ドル)
ネット (負債)	571億米ドル	609億米ドル

FY22Q1末 連結B/S 為替換算差額：+2兆967億円

主に子会社株式・関連会社への投資に関わるもの

(参考) 子会社純資産	FY21末 期末日レート：¥122.39/\$	FY22Q1末 期末日レート：¥136.68/\$	増減	連結B/S 為替換算差額 ((A) × FY22Q1期中平均レート ¥129.04/\$) - (B))* ¹
SVF1/2&LatAmファンド (外部投資家持分および アーム株式簿価を控除後)	712億米ドル 8兆7,201億円	559億米ドル 7兆6,365億円	-154億米ドル ^(A) -1兆836億円 ^(B)	+9,111億円
SBGC* ² (アーム株式簿価を控除後)	350億米ドル 4兆2,862億円	344億米ドル 4兆7,055億円	-6億米ドル ^(A) +4,193億円 ^(B)	+4,641億円
アーム	283億米ドル 3兆4,665億円	285億米ドル 3兆8,989億円	+2億米ドル ^(A) +4,324億円 ^(B)	+3,969億円

*1 連結上の内部取引も考慮している。

*2 SoftBank Group Capital Limited

連結C/F総括 IFRSベース

(億円)

C/F項目	FY21Q1	FY22Q1	増減	FY22Q1の主な内訳	
営業活動によるCF	+5,074	+1,408	-3,666	+4,130	営業キャッシュ・フロー小計
				-2,016	法人所得税の支払額
				+37	法人所得税の還付額
投資活動によるCF	-9,758	+2,861	+12,619	-648	投資の取得による支出
				+3,645	投資の売却または償還による収入
				-3,064	SVFによる投資の取得による支出
				3,442	SVFによる投資の売却による収入
				-1,702	有形固定資産及び無形資産の取得による支出
財務活動によるCF	+7,861	+1,759	-6,102	+156	短期有利子負債の収支
				+27,289	有利子負債の収入
				-17,326	有利子負債の支出
				-2,553	SVFにおける外部投資家に対する分配額・返還額
				-2,935	自己株式の取得による支出
				-353	配当金の支払額
-1,393	非支配持分への配当金の支払額				
現金及び現金同等物に係る換算差額	-4	+2,988			
現金及び現金同等物の増減額	+3,173	+9,017			
現金及び現金同等物の期首残高	46,627	51,690			
現金及び現金同等物の期末残高	49,801	60,707			

営業CF -3,666億円 yoy

- SB Northstarのキャッシュ・インフロー減少：-6,632億円
- 法人所得税の支払額（キャッシュ・アウト・フロー）減少：+4,499億円
- FY21Q1においては、FY20にソフトバンクグループジャパン(株)で生じたソフトバンク(株)株式売却益を含む課税所得に基づく法人税の支払額や、ソフトバンクグループ(株)への配当に対する源泉所得税の支払額を計上

投資の売却または償還による収入 +3,645億円

ドイツテレコムがTモバイル株式を対象とするコールオプションを一部行使したことに伴うTモバイル株式の売却：+3,097億円（+24.0億米ドル）

SVFによる投資の取得による支出 -3,064億円

- SVF2 -2,796億円（-21.7億米ドル）
- LatAmファンド -197億円（-1.5億米ドル）
- SVF1 -71億円（-0.6億米ドル）

SVFによる投資の売却による収入 +3,442億円

- SVF1 公開投資先の一部を2,702億円（20.9億米ドル）で売却
- SVF2 KE Holdingsの全株式を736億円（5.7億米ドル）で売却

有利子負債の収入 +2兆7,829億円

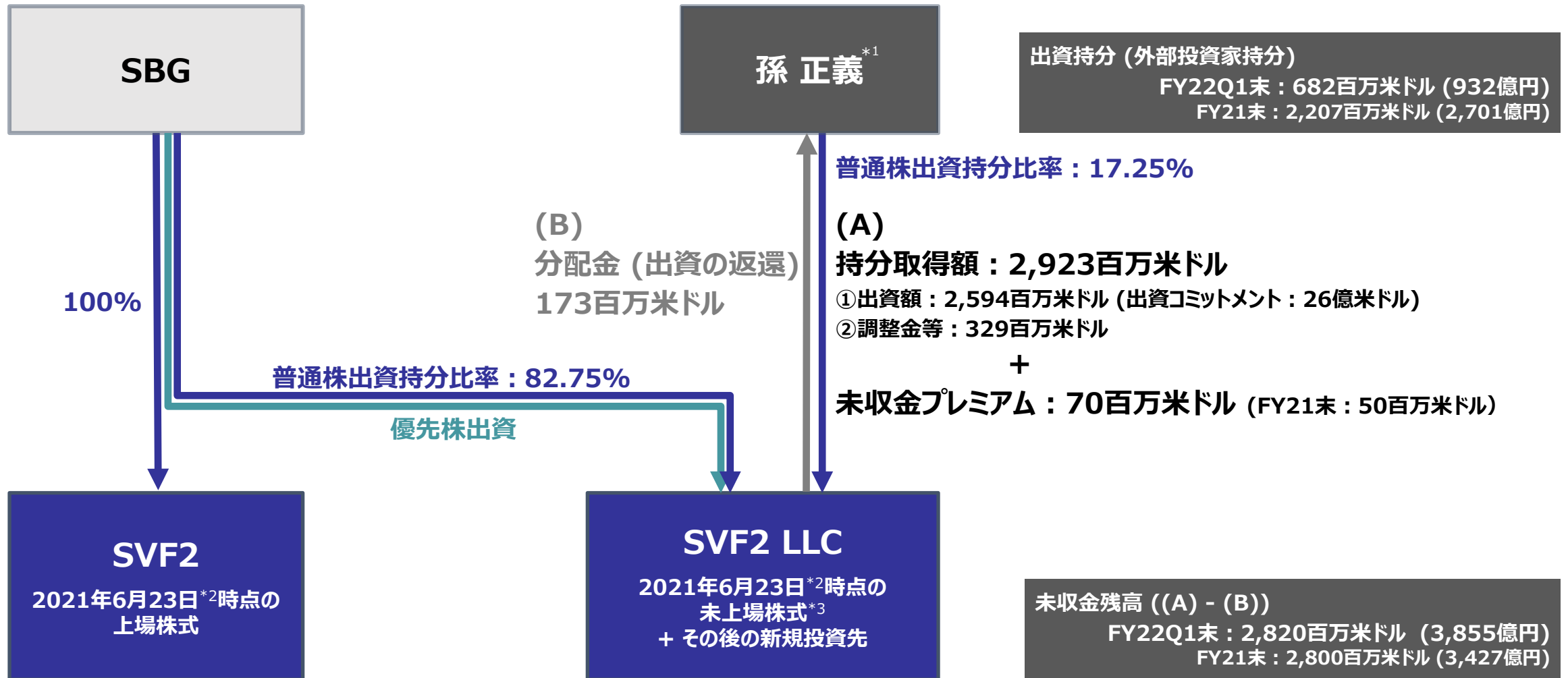
- (SBG) 短期借入：+1,114億円（資金調達を行う100%子会社）
- アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入：+1,807億円（+14.0億米ドル）
- アリババ株式先渡売買契約の締結：+1兆3,537億円（+104.9億米ドル）
- (SVF) SVF1のアセットバック・ファイナンスによる借入：+5,807億円（+45.0億米ドル）

有利子負債の支出 -1兆7,326億円

- (SBG) 短期借入金返済：-6,824億円（資金調達を行う100%子会社）
- FY21に借り入れたTモバイル株式を活用したマージン・ローンの返済：-1,542億円（-12.0億米ドル）
- アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入金返済：-1,161億円（-9.0億米ドル）
- (SVF) アセットバック・ファイナンスによる借入金の返済：SVF1 -3,559億円（-27.6億米ドル）、SVF2 -239億円（-1.8億米ドル）

Appendix

SVF2共同出資プログラム：関連当事者との取引



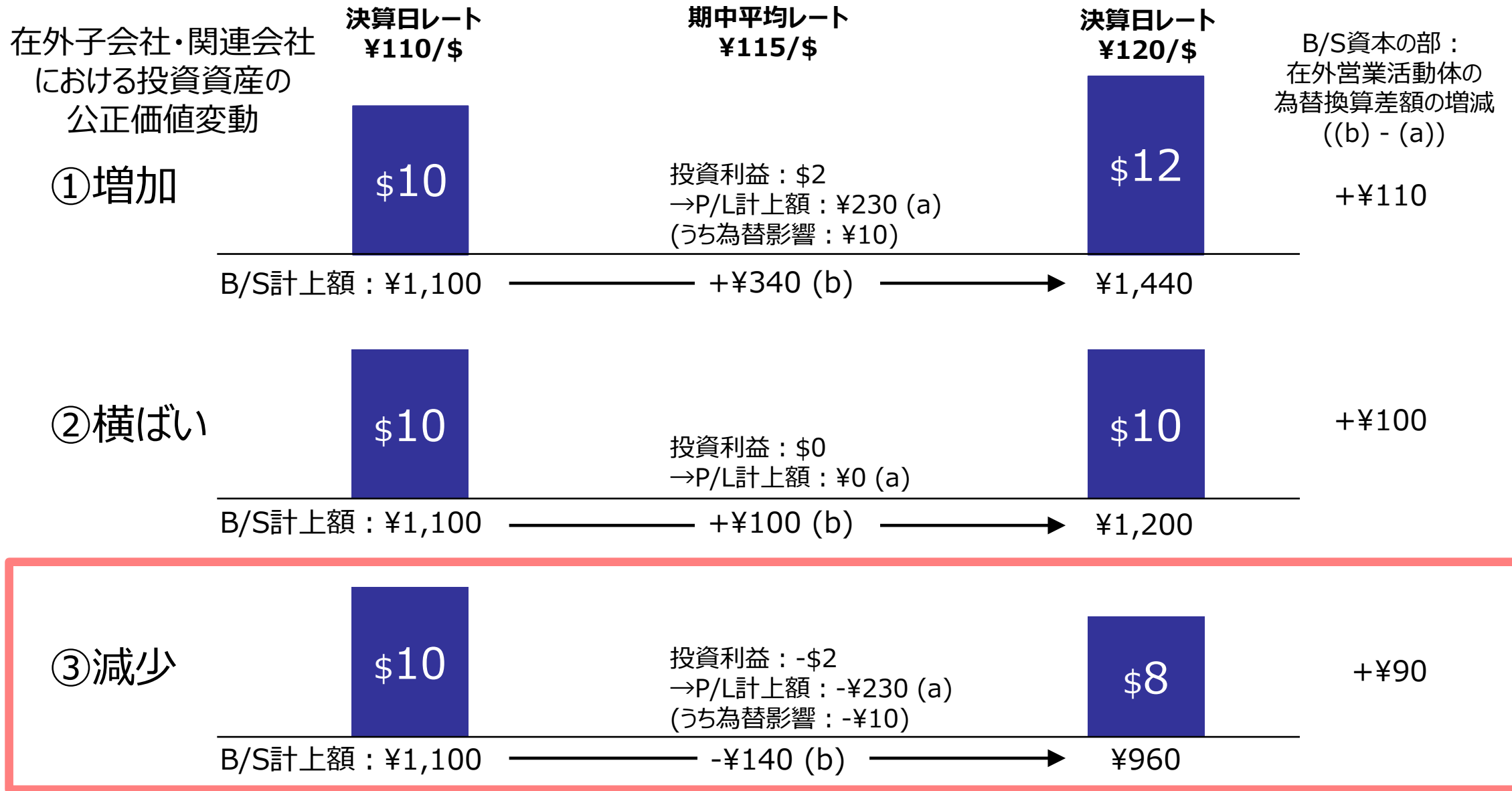
(注) 関連当事者との取引の詳細はFY22Q1決算短信p70、71参照。

*1 孫正義以外の経営陣の参加は2022年7月末時点で未決定だが、将来的に参加を予定。

*2 2021年6月23日はSBG取締役会において本共同投資プログラムが条件付きで承認された日。

*3 2021年6月23日時点で上場済または上場発表済の投資先、並びに、SBG取締役会で本プログラムの対象から除外することが承認された投資先を除く。

円安進行時：在外子会社・関連会社の投資資産の公正価値変動



のれん・無形資産の内訳

(億円)

B/S 項目	主な内訳	2022/ 3月末	2022/ 6月末	増減			摘要
				償却費	為替変動	その他	
のれん*		48,979	52,420				
	アーム	28,981	32,365	—	+3,384	—	
	SBKK	9,075	9,075	—	—	—	
	LINE	6,306	6,306	—	—	—	
	ZOZO	2,129	2,129	—	—	—	
主な無形資産	テクノロジー	3,577	3,877				
	主な内訳						
	アーム	3,577	3,877	-111	+411	—	定額法 償却年数：8-20年
	顧客基盤	6,286	6,281				
	主な内訳						
	ZOZO	2,906	2,874	-33	—	—	定額法 償却年数：18-25年
	LINE	2,175	2,142	-33	—	—	定額法 償却年数：12-18年
	アーム	933	1,006	-33	+107	—	定額法 償却年数：13年
商標権	5,439	5,442					
マネジメント契約	282	224					
	フォートレス	282	224	-86	+28	—	定額法 償却年数：5-10年

*SBGによる支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後に当該子会社が行ったM&Aの結果認識したのれんは含まない。ただし、アームはFY20の組織構造変更の結果、アーム事業に再配分された金額。



財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（Zホールディングスをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アームおよびPayPay等です。

FY22Q1総括*1

投資の抑制と継続的な資金化により、LTVが大幅改善

業績・NAV

純損失3兆1,627億円、NAV18.5兆円（3月末と横ばい）

- SVF投資先の公正価値が減少し、投資損失2兆8,344億円、純損失*23兆1,627億円計上
- 保有株式価値が減少した一方、アセットバック・ファイナンスによる手元流動性の増加や円安効果を背景に、NAVは18.5兆円で着地（3月末と横ばい）

財務活動

継続的な資金化により手元流動性が増加し、LTVが大幅改善

- LTV 14.5%、手元流動性 4.6兆円*3
- アセットバック・ファイナンス +\$12.2B（純額）（アリババ、Tモバイル、アーム）
- 短期借入金の返済 -\$4.5B（コミットメントラインに基づく借入金の返済）

投資活動

投資を抑制する一方、自社株買いは着実に実行

- SVFの投資活動
 - 投資：\$2.2B（SVF1&2）、\$0.2B（LatAmファンド）
 - 売却・資金化：合計\$4.1Bの売却や資金化（SVF1&2）
 - 分配：SBGはSVF1&2、LatAmファンドから合計\$2.3B*4の分配金を受領
- 自社株買い：FY22Q1の取得は2,935億円、2021年11月～2022年7月累計7,048億円

*1 別途記載がある場合を除き、2022年6月末時点

*2 親会社の所有者に帰属する純損失

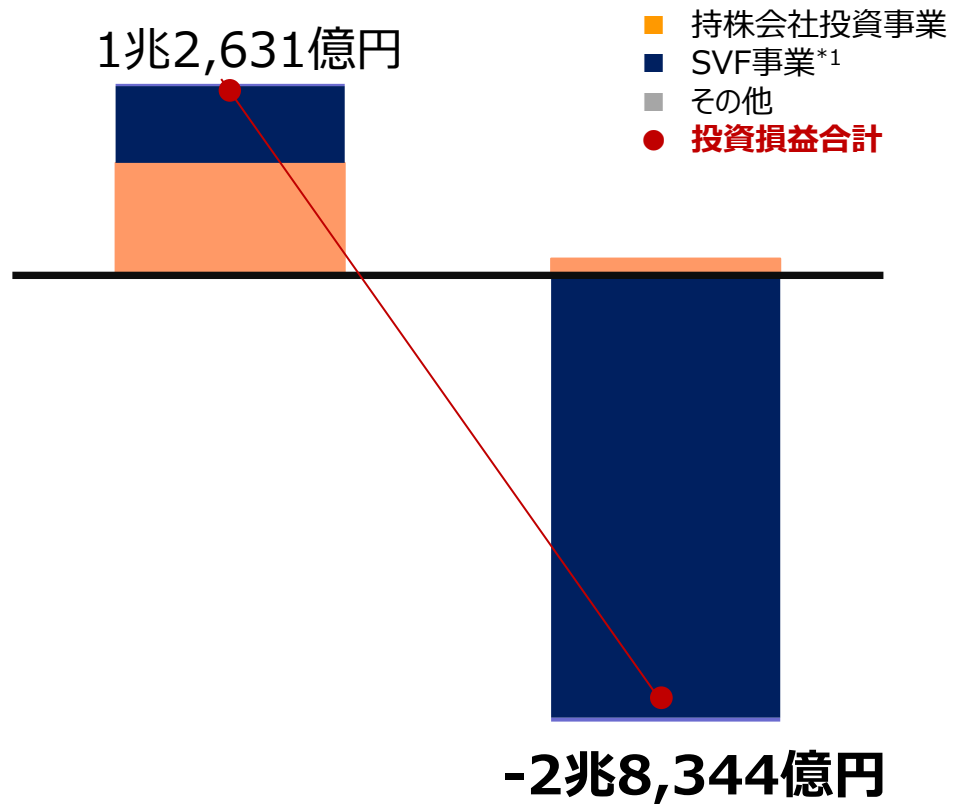
*3 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。2022年6月末のコミットメントライン未使用枠は7,398億円。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

*4 SVF1のインセンティブ・スキームへの分配金（\$0.3B）を含む。

投資損益・純利益

投資損失2兆8,344億円、純損失3兆1,627億円を計上

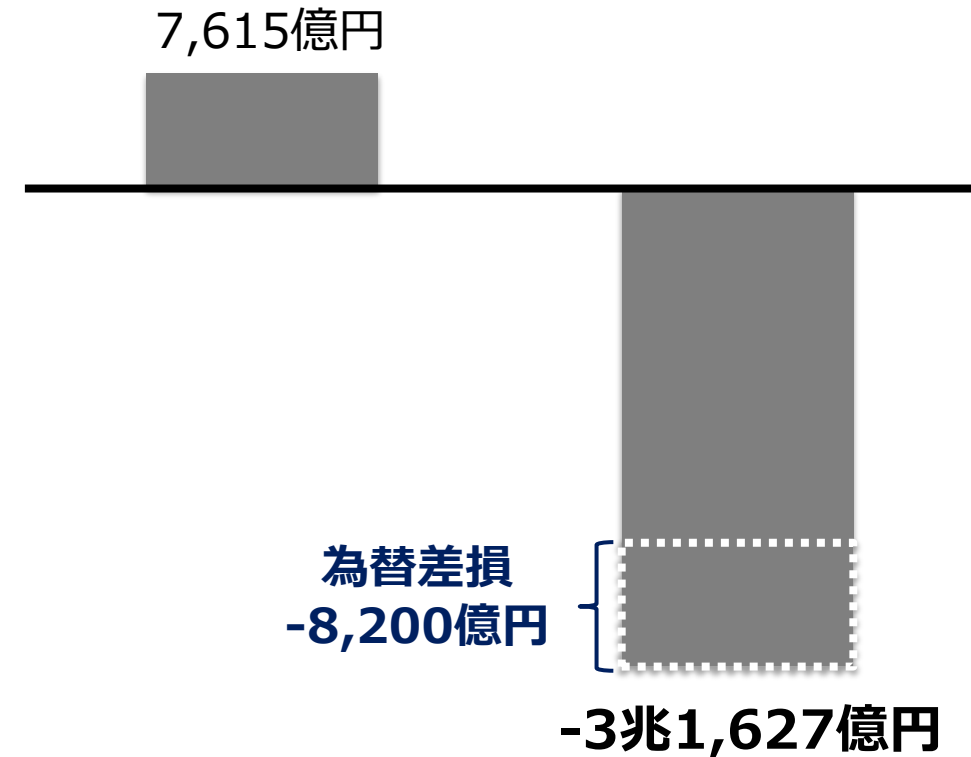
投資損益



FY21Q1

FY22Q1

純利益 (親会社の所有者帰属分)



FY21Q1

FY22Q1

*1 FY22よりLatAmファンドを統合。FY21Q1も組み替えて表示

FY22Q1の為替影響

円安は会計面もNAVに対してもポジティブ

会計
への
影響

連結純利益の減少
(為替差損の計上)
-8,200億円

主にSBG単体の外貨建借入に
関連する為替差損

資本の増加
(その他の包括利益累計額の増加)
+2兆967億円

SVFなどの在外営業活動体の為替換算差額

NAV
への
影響

NAVの増加
+2.2兆円

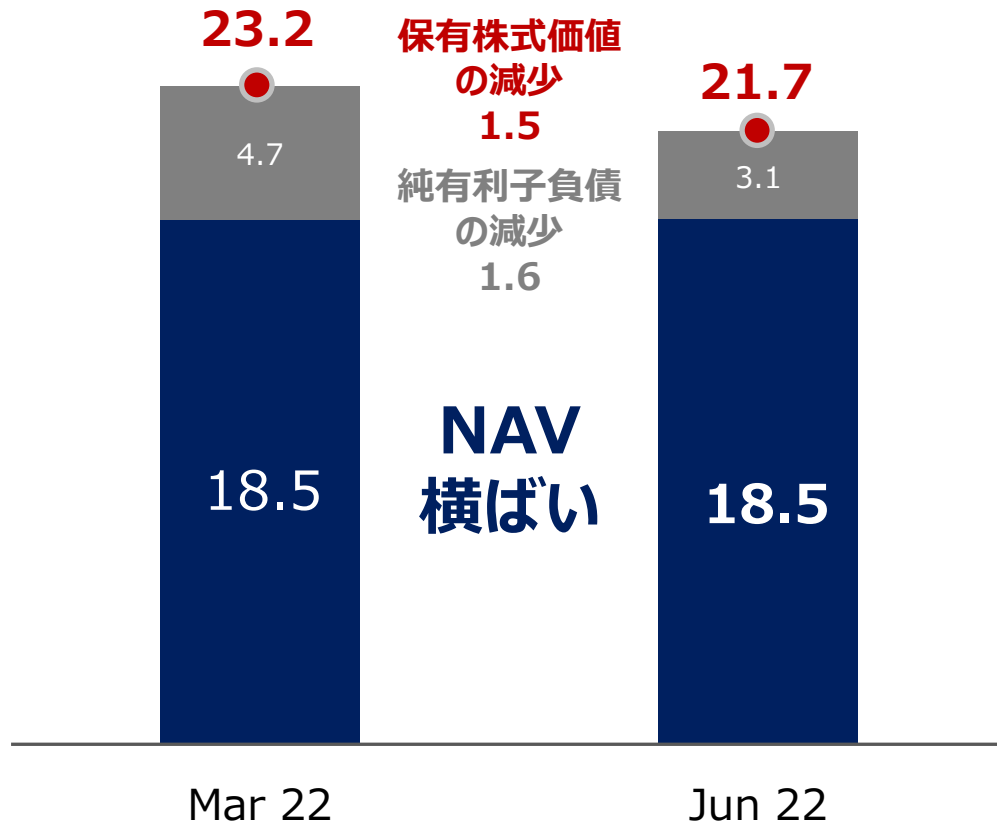
(保有株式価値の増加+2.0兆円、純有利子負債の減少+0.1兆円)

NAV・1株当たりNAV

NAVは3月末と同水準を維持

NAV (Net Asset Value)

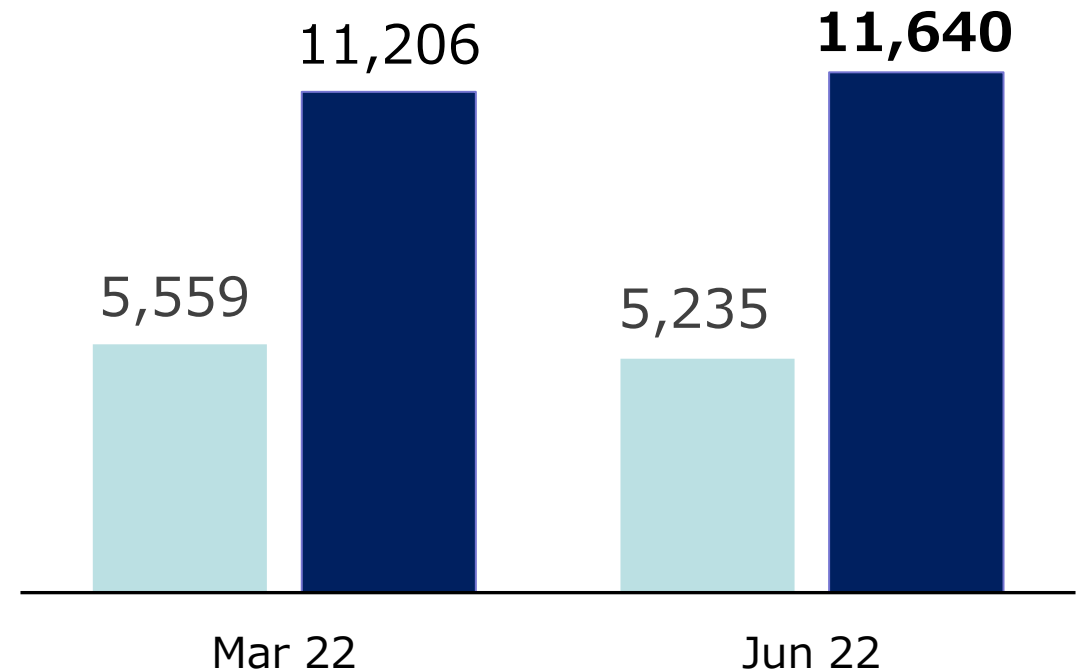
(兆円)



1株当たりNAV*1と株価

(円)

■ 株価
■ 1株当たりNAV



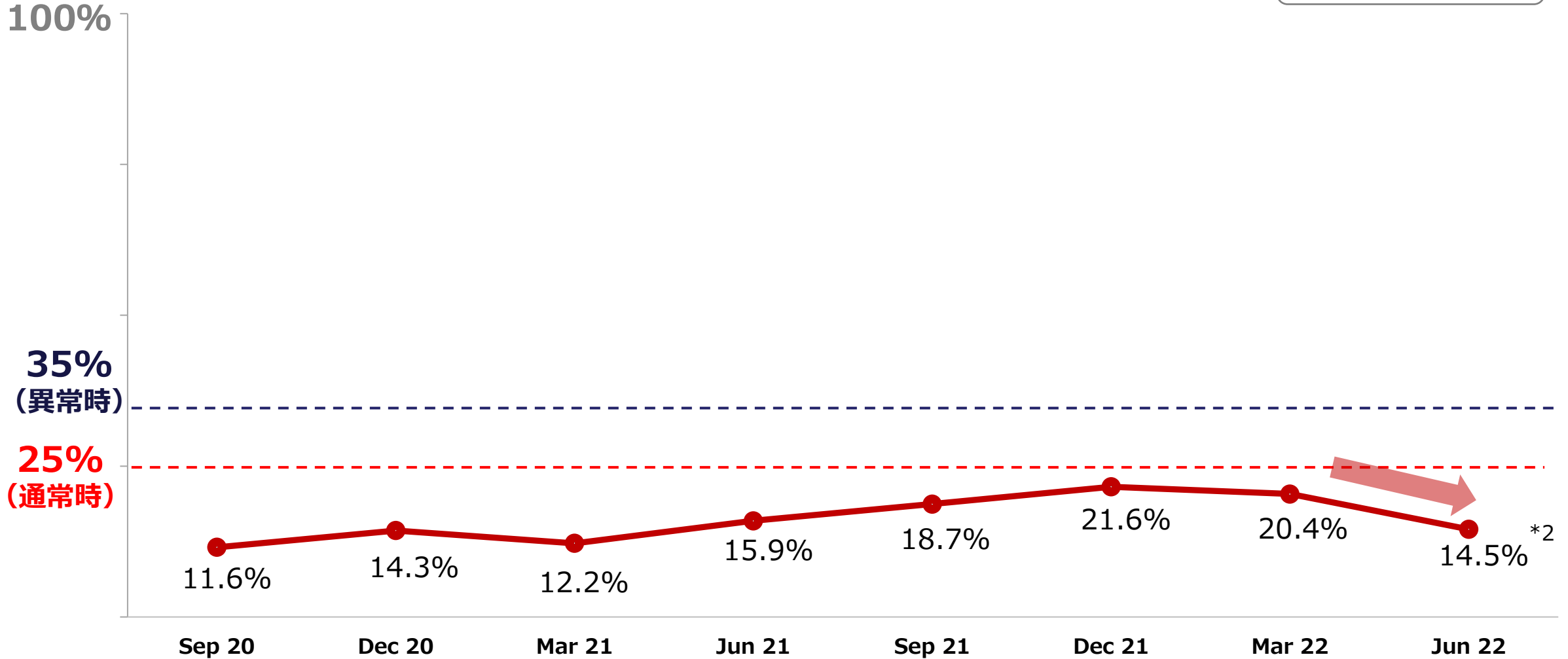
(注) 各四半期末時点

*1 1株当たりNAV = NAV ÷ 発行済株式総数 (自己株式を除く)。

LTVの推移*1

資金化によってLTVを大幅に引き下げ

アセットファイナンス除く

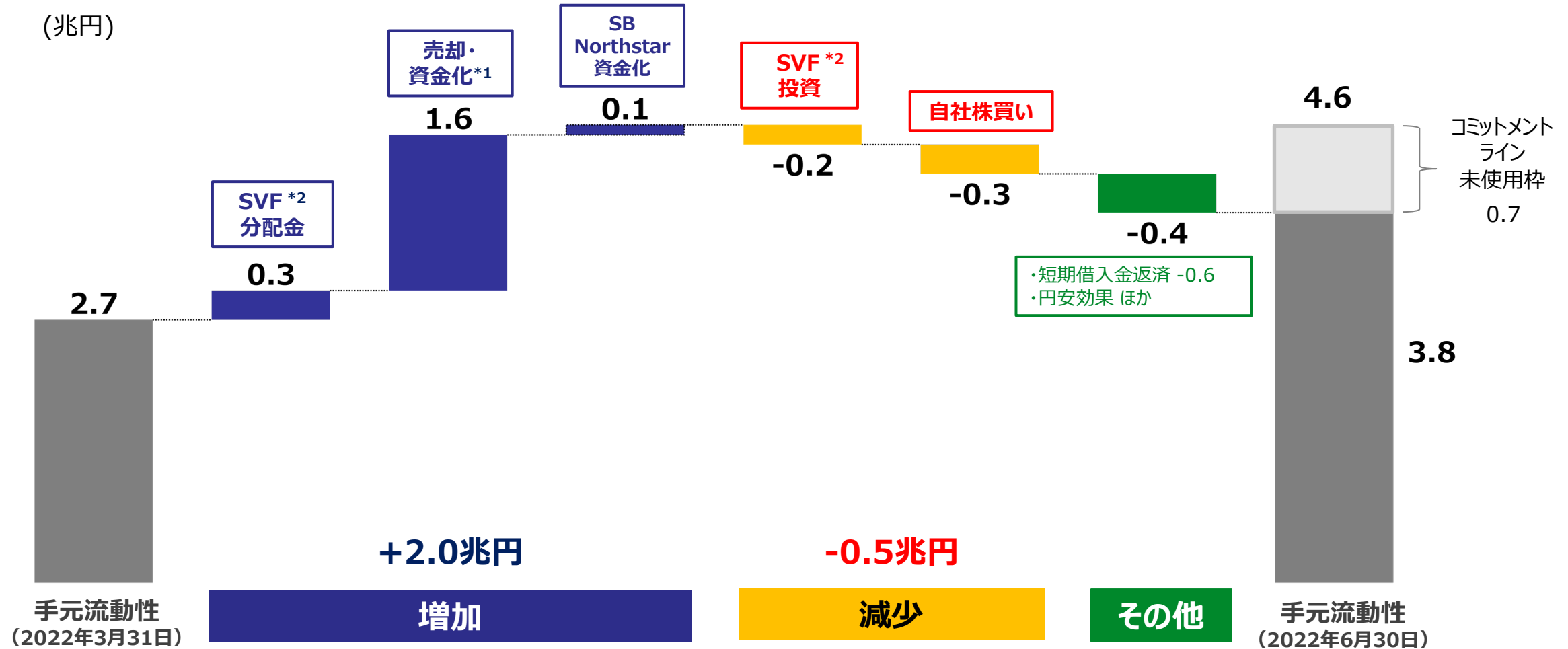


*1 各四半期末時点の数値を記載

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

FY22Q1の投資回収サイクル

新規投資の抑制と資金化の継続の結果、手元流動性が1.1兆円増加



*1 売却・資金化による収入と返済による支出の純額

*2 SVF1&2およびLatAmファンド

- **投資事業の状況**
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

ソフトバンクグループ = 情報革命の資本家

2つの重要ドライバー



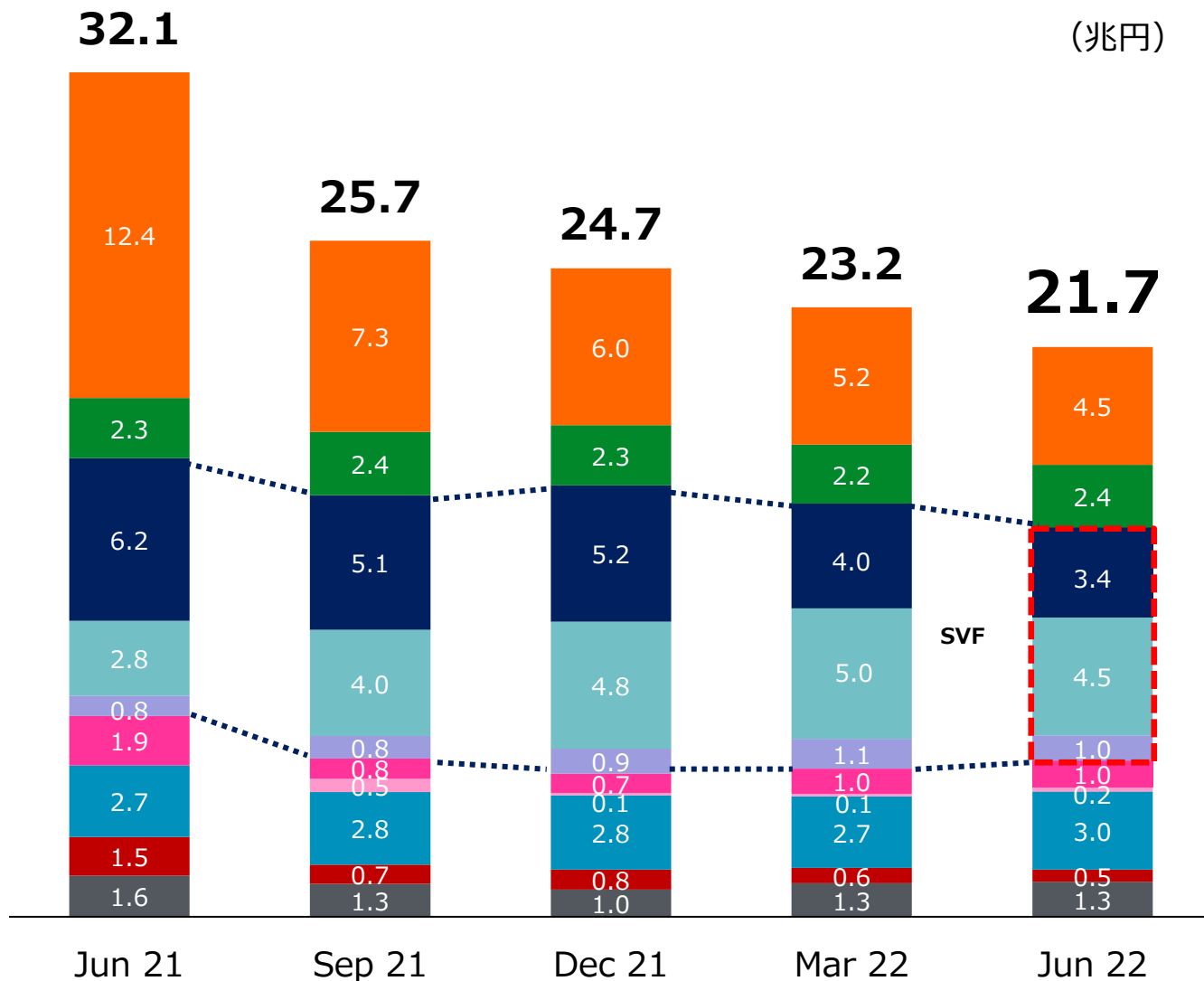
SVF

アーム

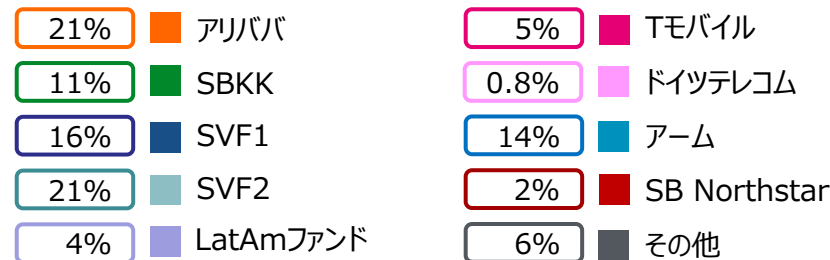
保有株式価値

アリババ株の資金化とSVFのバリュエーション見直しにより 保有株式価値は21.7兆円に減少

アセットバック・ファイナンス除く



構成比 (2022年6月30日時点)



2022年6月末時点の詳細はAppendix参照

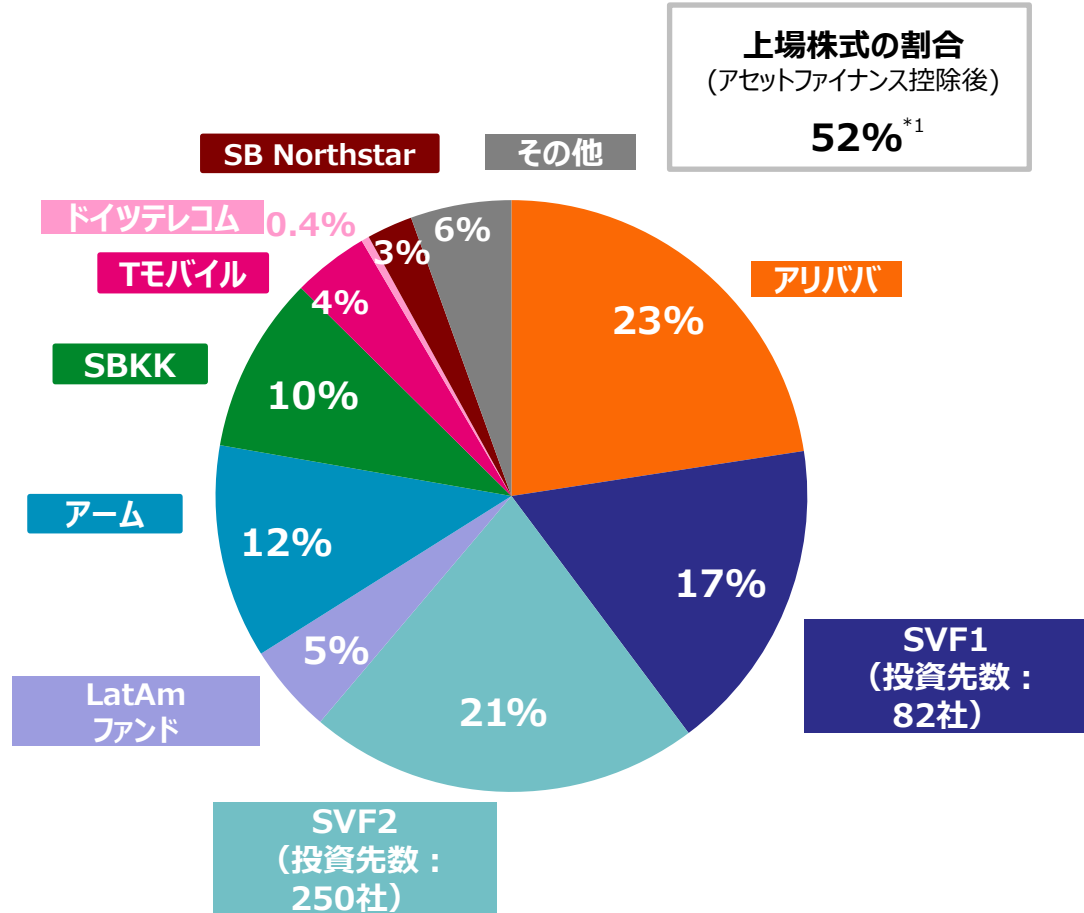
- (注) 各四半期末時点
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じ算出。アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額、アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除。
 - SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除。
 - SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
 - SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
 - LatAmファンド: LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込金額
 - Tモバイル: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2022年6月末時点: 34,971,809株）を含む）。一定の条件下でTモバイル株式（48,751,557株）をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額、Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとされている金額およびTモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額を控除。（Tモバイル株式を活用したマージン・ローンについては、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている）。
 - ドイツテレコム: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除
 - ARM: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出（FY2021Q3まで）。SVF1において算出されたARMの全株式の公正価値に基づくSBG持分（発行済株式の75.01%）の公正価値から、SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除して算出。
 - SB Northstar: SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出。SB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出（FY2021Q1まで）。
 - その他: 上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出

保有株式価値：ポートフォリオの分散

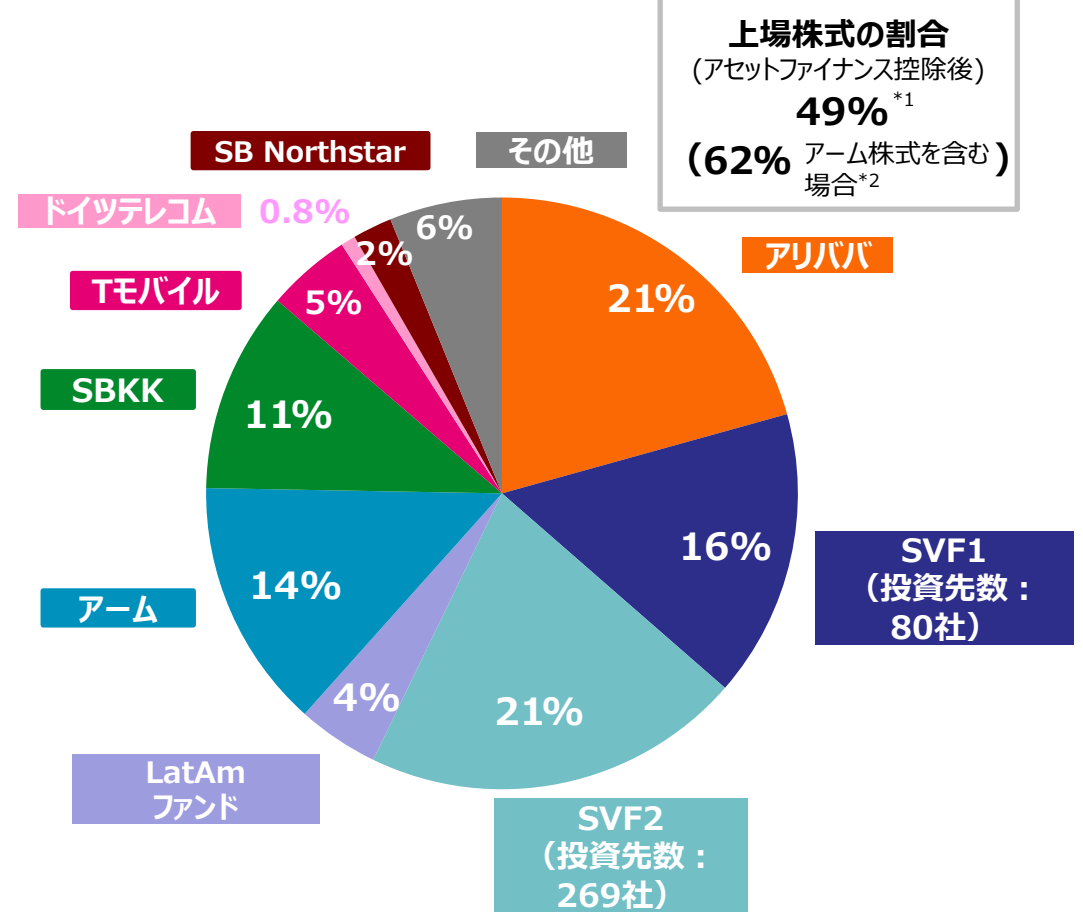
分散化されたポートフォリオを維持

アセットバック・ファイナンス除く

2022年3月末



2022年6月末



(注) 保有株式価値の内訳は、財務編p37を参照

*1 保有株式価値（総額）に占める、上場株式の割合。アリババ、SVF1・SVF2・LatAmファンドおよびSB Northstarが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む）。

*2 上記*1で述べた上場株式に加えて、アーム株が上場したと仮定した場合。これはその他の開示における取り扱いと異なる可能性がある。

投資ファンドを通じた投資

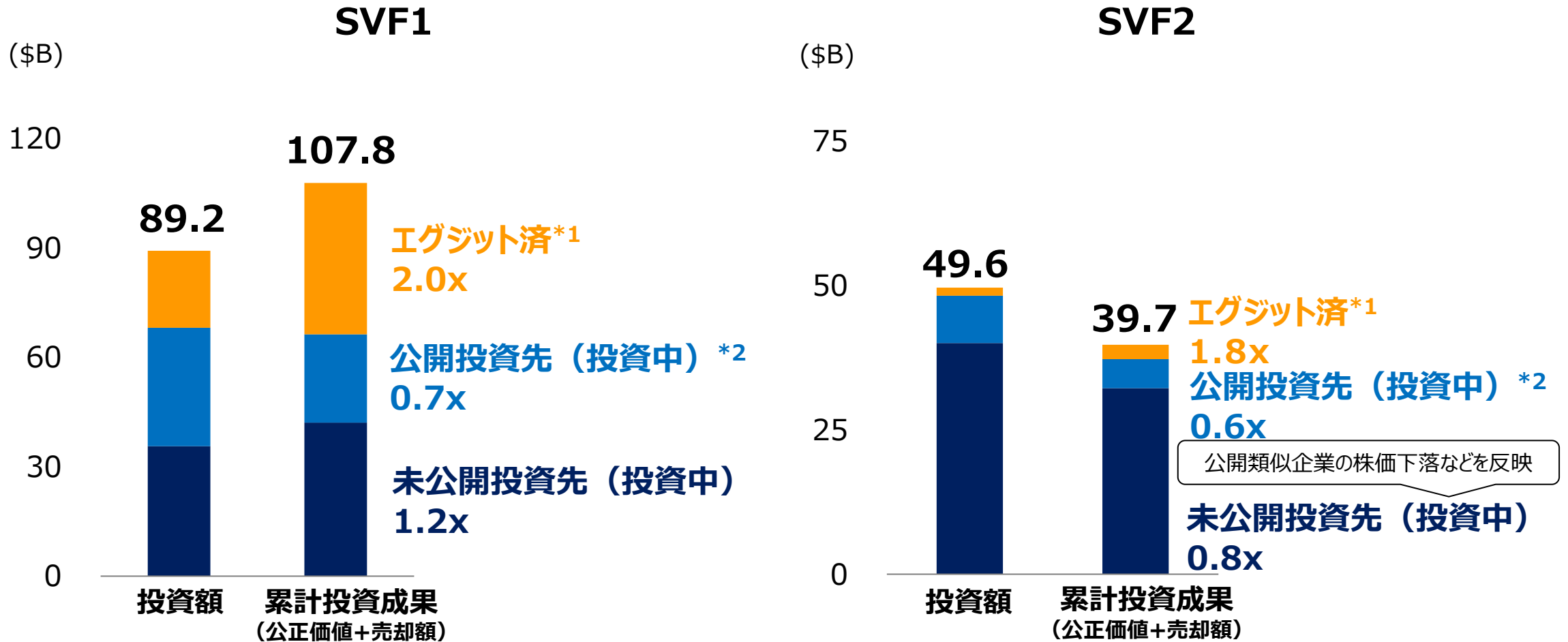
SVF1&2、LatAmファンドを通じて世界のユニコーンに投資

2022年6月末時点

	ソフトバンク・ビジョンファンド1 (SVF1)	ソフトバンク・ビジョンファンド2 (SVF2)	ラテンアメリカ・ファンド (LatAmファンド)
出資コミットメント	986億米ドル	560億米ドル	76億米ドル
投資開始年 現在の投資フェーズ	2017年 回収期間 (&フォローオン投資)	2019年 投資期間	2019年 投資期間
投資対象	AI&ユニコーン		
ポートフォリオ/ 保有投資先数	ByteDance coupang Fanatics 等 合計 80社	AutoStore inMOBI yanolja 等 合計 269社	KAVAK QuintoAndar Gympass 等 合計 88社
保有投資先 公正価値合計	663億米ドル	372億米ドル	69億米ドル

SVF1&2：累計投資成果（SBG連結ベース、2022年6月末時点）

累計投資成果はSVF1で\$107.8B、SVF2で\$39.7B



(注)

・ 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない。

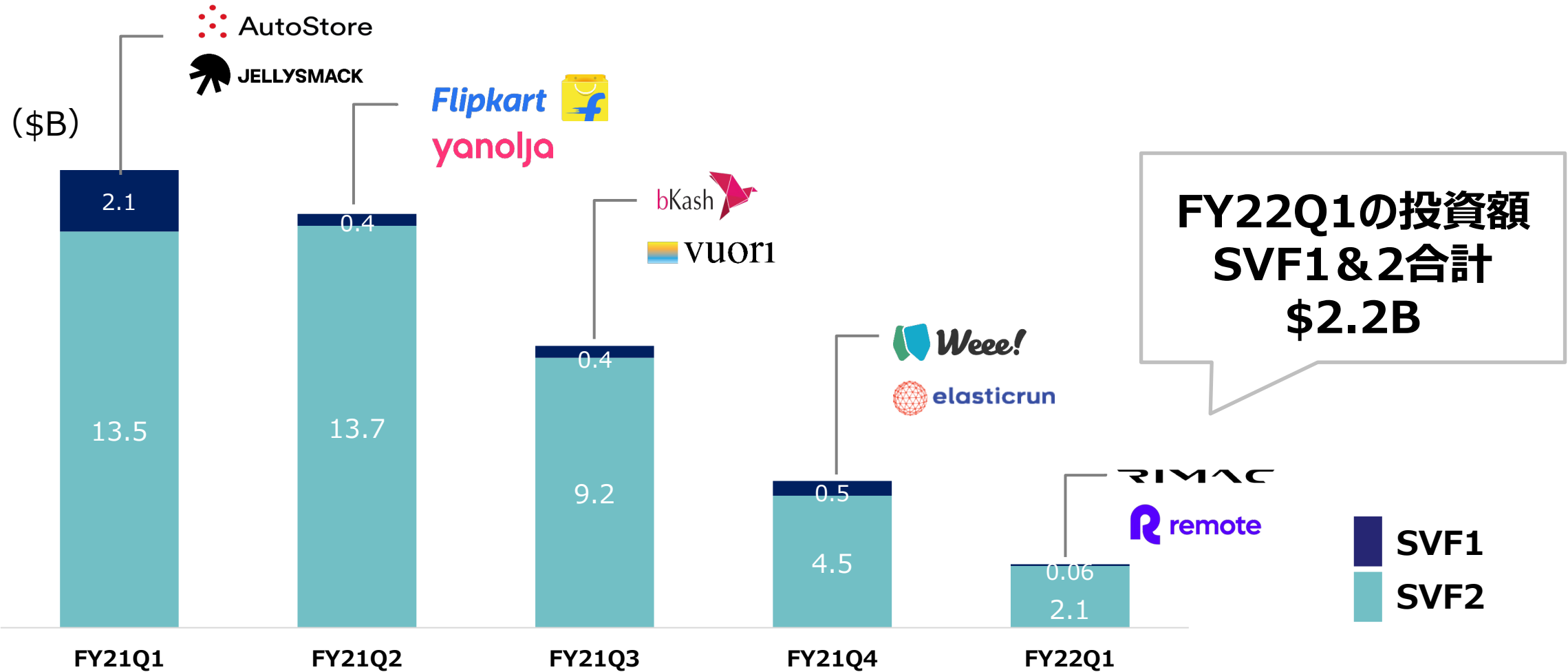
・ 外部投資家持分および税金等の控除前

*1 エグジット済には、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む) および投資先からの利息や配当金を含む。

*2 公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。

SVF1&2 : 投資額 (FY21-FY22Q1)

前年同期に比べ投資を大幅にスローダウン





SVF1&2：新規公開および資金化（FY22Q1）

計3銘柄の新規公開に加え、\$4.1Bを資金化*

■新規公開：3銘柄

<p> SVF1</p> <p> </p>	<p> SVF2</p> <p></p>
---	--

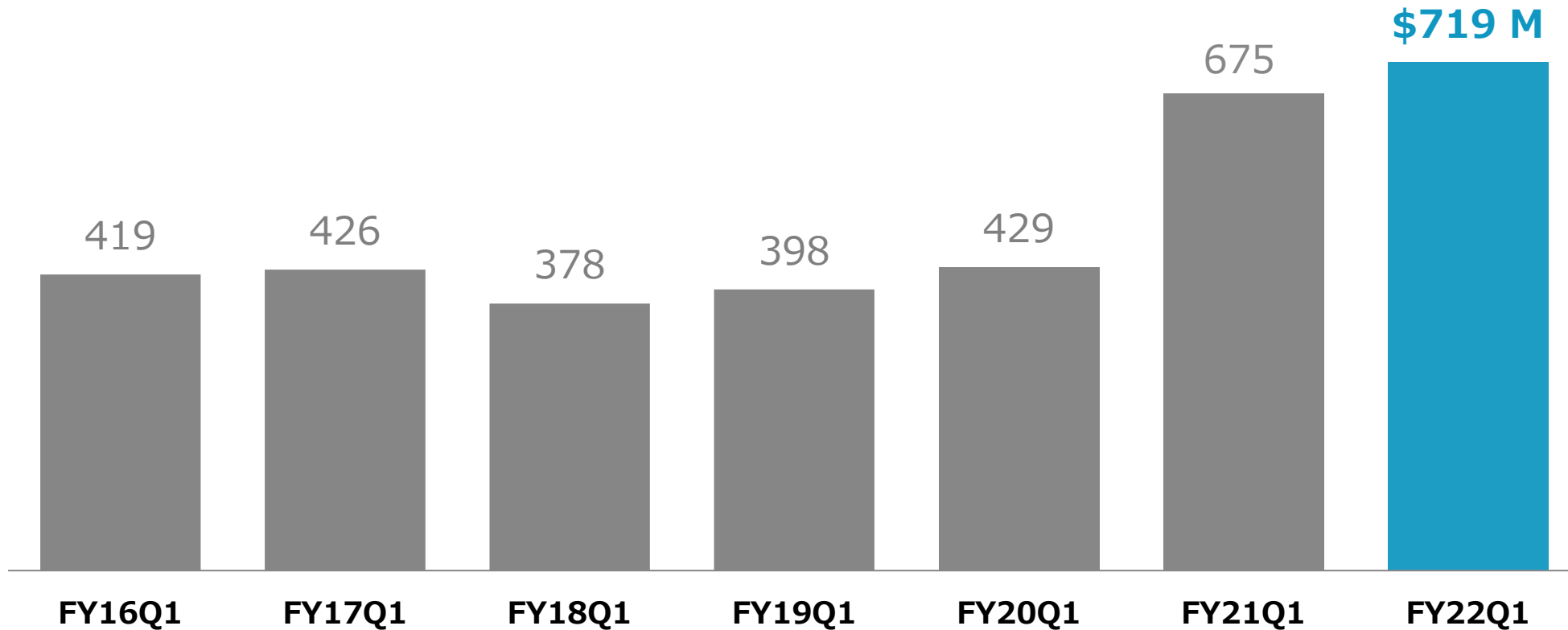
■売却・資金化*：SVF1 \$3.8B、SVF2 \$0.3B

<p> SVF1：全売却2銘柄、一部売却5銘柄</p> <p> 等</p>	<p> SVF2：全売却1銘柄</p> <p></p>
---	--

* アセットバック・ファイナンスを含む。

アーム：売上高（3カ月）

(\$M)



(注)

- ・ 出所：アーム
- ・ FY17Q1以降：ISG事業を除く。
- ・ ISG事業：Internet-of-Things Services Group；IoTに関連するサービスグループ
- ・ IFRSを基準としているが、完全に準拠しているとは限らない。
- ・ 全ての数字は未監査であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供する。
- ・ 全ての数字は暫定的なものであり、変更になる可能性がある。
- ・ SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負わない。

- 投資事業の状況
- **財務の状況**
- 財務戦略
- ESGの推進

FY22Q1の主な財務活動

アセットバック・ファイナンスを中心とした資金調達により守りを堅固に

銀行借入	短期借入	
	コミットメントラインに基づく借入金の返済（4月）	-\$4.5B (-5,807億円)
アセットを活用した資金調達	アーム株式	
	アセットバック・ファイナンス（増額）（6月）	+\$0.5B (+645億円)
	アリババ株式	
	フォワード取引（4月、5月、6月）	+\$10.5B (+13,537億円)
	Tモバイル株式	
	ドイツテレコムへの売却（4月）	+\$2.4B (+3,097億円)
	マージン・ローンの返済（4月）	-\$1.2B (-1,542億円)

(注) 1ドル=129.04 (期中平均レート) にて算出

手元流動性

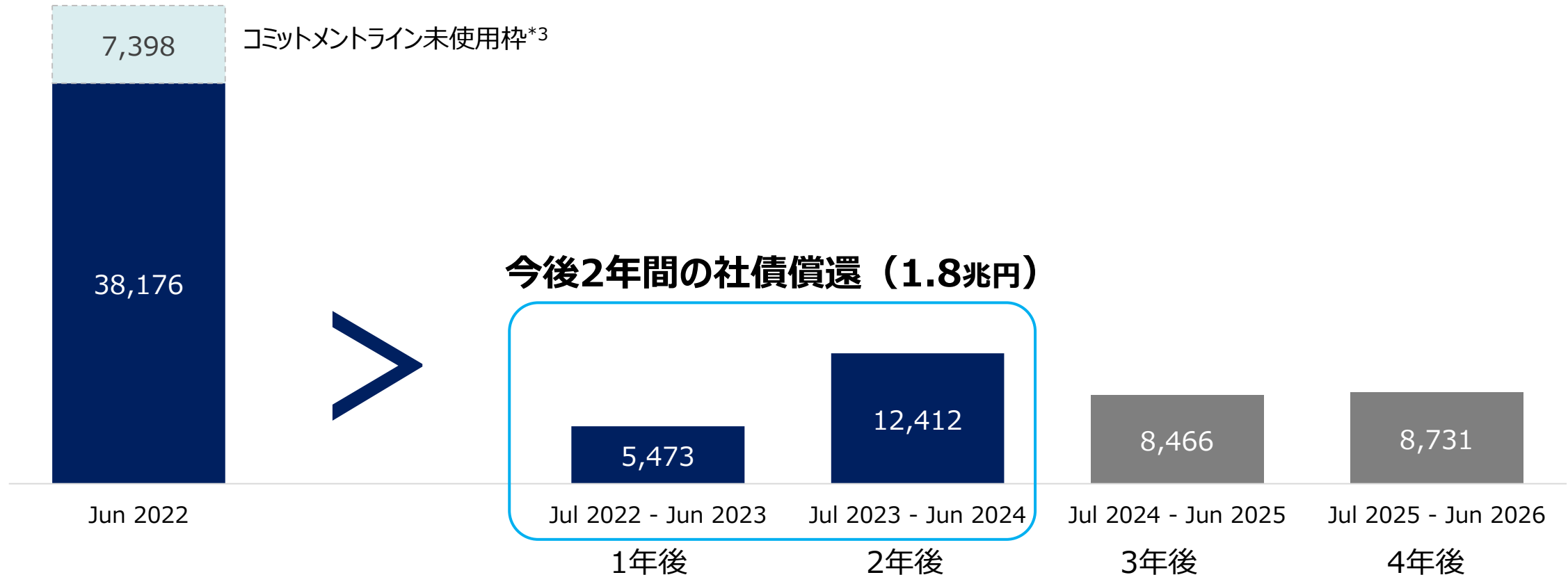
社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を維持

手元流動性

社債償還スケジュール*2

4.6兆円*1 (今後4年間の社債償還を優に超える水準)

(億円)



*1 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く)

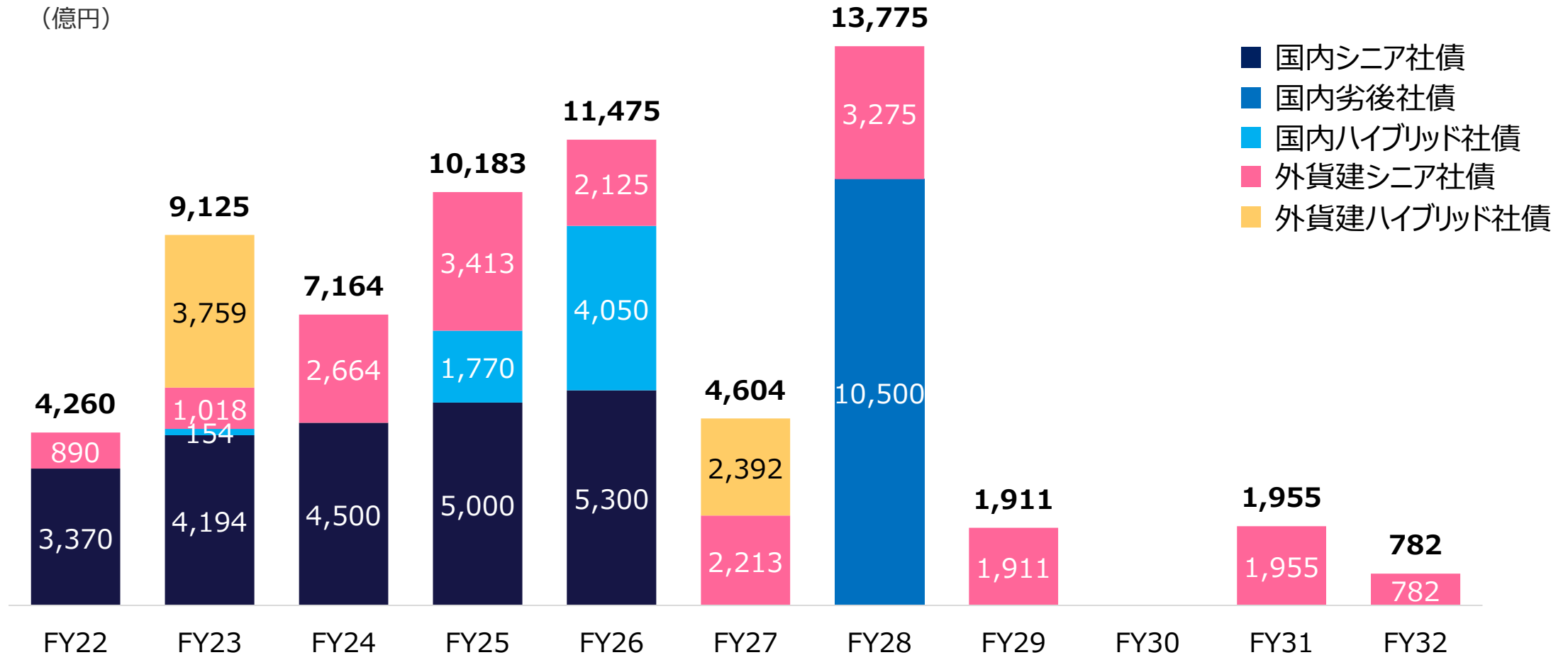
*2 社債償還金額はバイバックにより取得した社債を除く。

*3 2022年6月末時点のコミットメントライン総額7,398億円は全額未使用

社債償還スケジュール

手元流動性および市場環境を考慮した起債運営により償還対応

(億円)



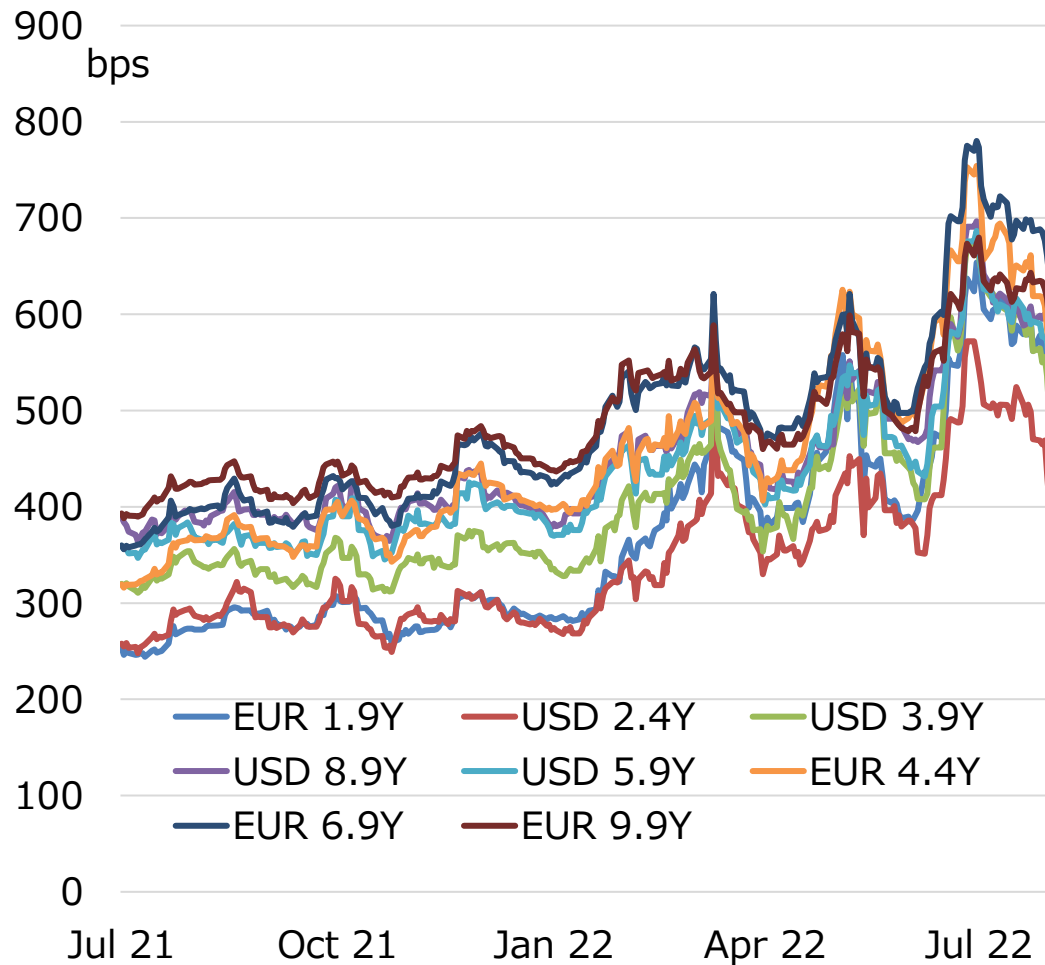
(注)

- 2022年6月30日時点発行残高
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=136.68円、1ユーロ=142.67円にて換算
- バイバックにより取得した社債を除く。

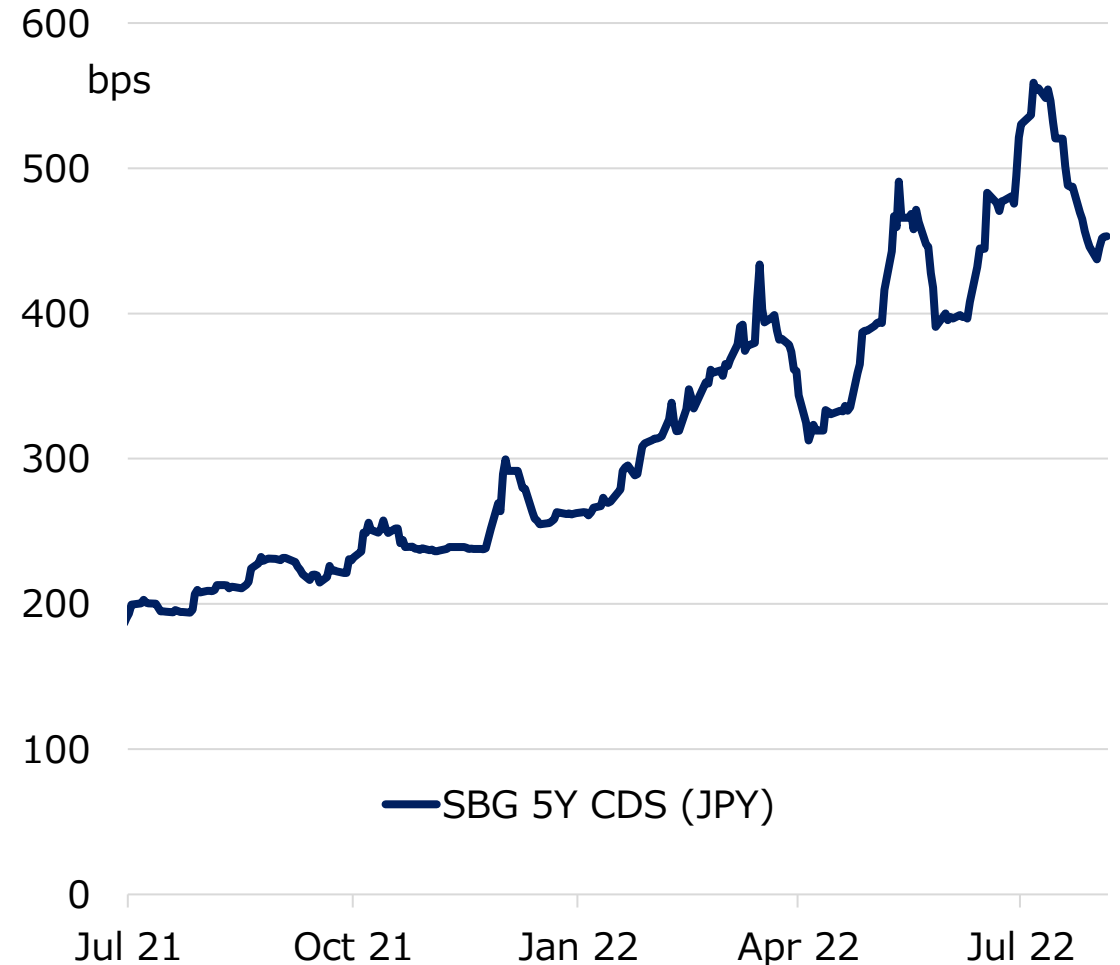
当社クレジットスプレッドの状況

クレジットスプレッドはワイド化基調ながら、足元はタイト化

SBG外債スプレッド



SBG 5年CDS

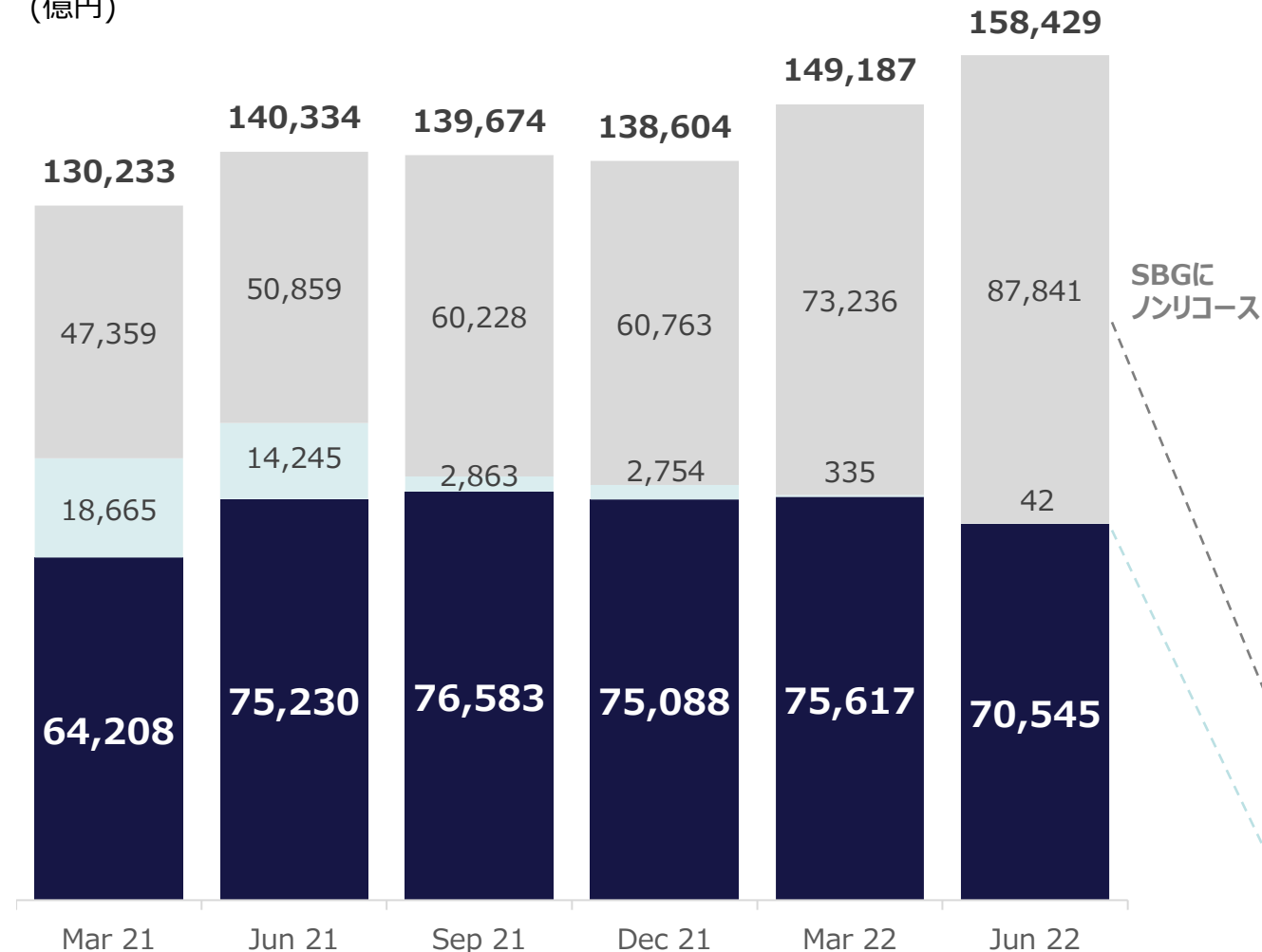


(注) 2022年8月5日時点。Bloombergを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

SBG単体 有利子負債*1

ノンリコース分除く有利子負債は減少

(億円)



2022年3月末からの主な変動要因

- アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス (増額) +\$0.5B
- アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の締結 +\$10.5B
- アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の現物決済 -6,049億円
- Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの一部返済 -\$1.2B
- コミットメントラインに基づく借入金の返済 -\$4.5B

2022年6月末 内訳 (億円)

SBG 借入金	
銀行ローン	6,150
ハイブリッドローン	836
その他	8
小計	6,994
SBG 社債・CP	
国内シニア債	22,272
国内劣後債/ハイブリッド債	16,247
外債	21,685
CP	2,375
小計	62,579
SBG リース負債	
	117
子会社 有利子負債	
株式先渡契約金融負債	58,071
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,336
アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス	11,443
マージン・ローン (SBGにノンリコース*2)	13,992
(SBGにリコース*2)	353
SB Northstar	42
その他	502
小計	88,739

合計 158,429

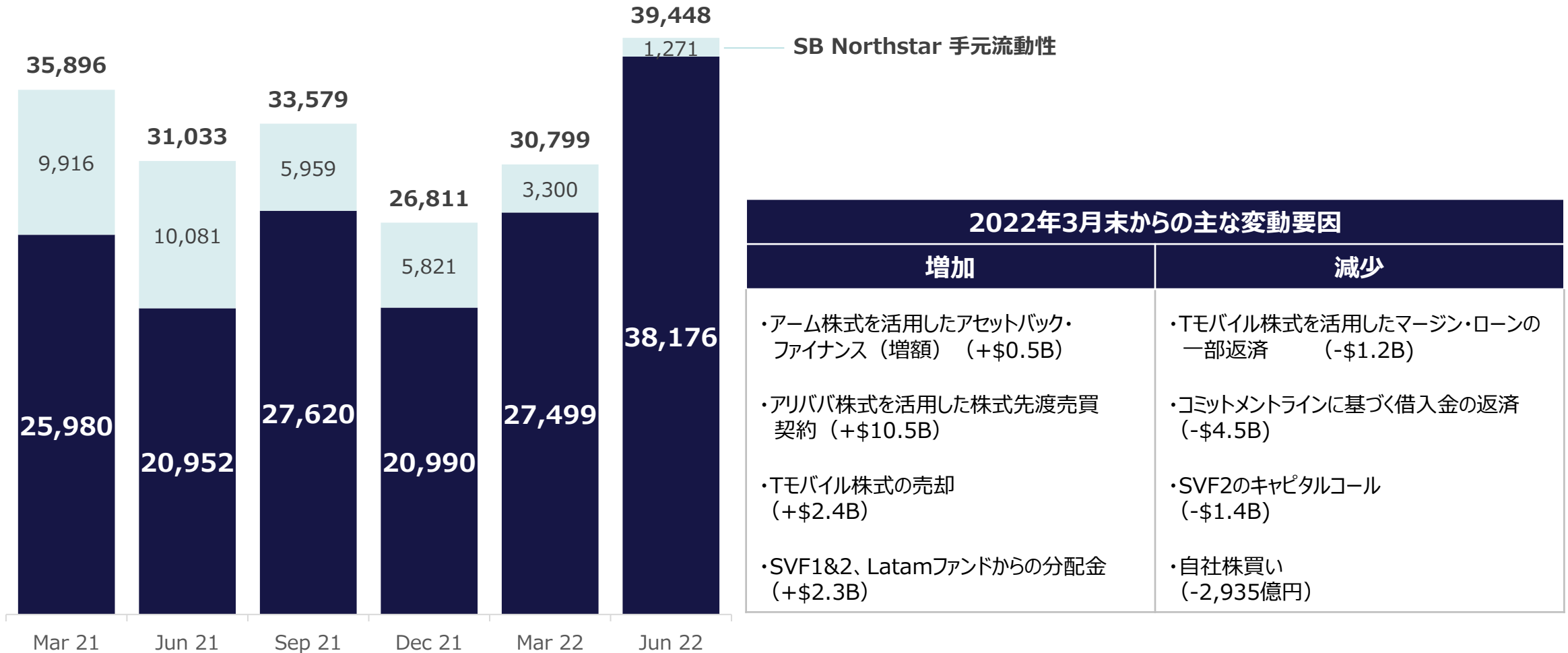
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

*2 Tモバイル株式を活用したマージン・ローン(借入総額\$0.87B)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$0.26B)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額とする。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージン・ローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。

SBG単体 手元流動性

アセットバック・ファイナンスでの資金調達などにより手元流動性は増加

(億円)



2022年3月末からの主な変動要因	
増加	減少
・アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス (増額) (+\$0.5B)	・Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの一部返済 (-\$1.2B)
・アリババ株式を活用した株式先渡し売買契約 (+\$10.5B)	・コミットメントラインに基づく借入金の返済 (-\$4.5B)
・Tモバイル株式の売却 (+\$2.4B)	・SVF2のキャピタルコール (-\$1.4B)
・SVF1&2、Latamファンドからの分配金 (+\$2.3B)	・自社株買い (-2,935億円)

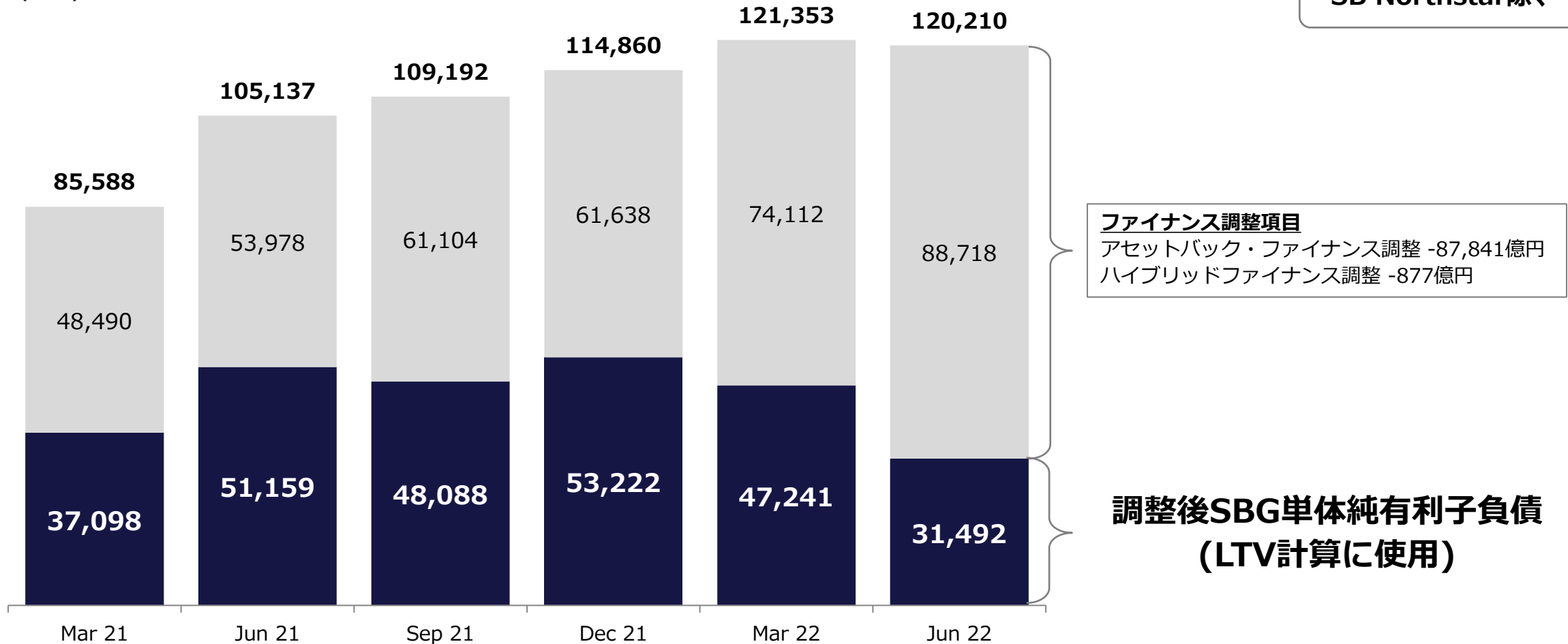
(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

SBG単体 純有利子負債

資金化加速により、調整後純有利子負債は減少

(億円)

SB Northstar除く



ファイナンス調整項目
 アセットバック・ファイナンス調整 -87,841億円
 ハイブリッドファイナンス調整 -877億円

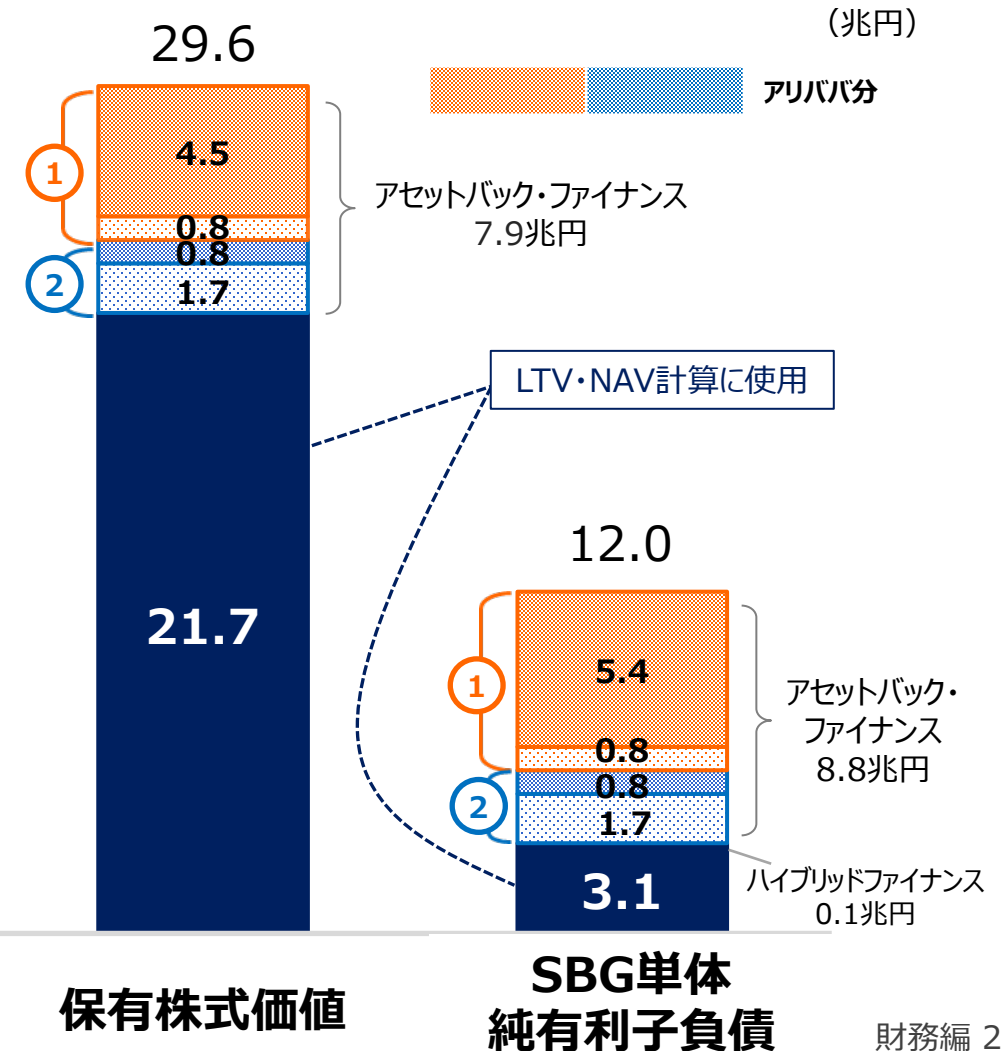
**調整後SBG単体純有利子負債
(LTV計算に使用)**

(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージンローン等
対象株式	アリババ／Tモバイル／ドイツテレコム	アリババ／Tモバイル／SBKK／アーム
内容	株式先渡契約*1に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット 控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット 控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動 	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の 影響	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変



*1 あらかじめ合意された価格（フォワード）または価格レンジ（カラー・プット）で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

- 投資事業の状況
- 財務の状況
- **財務戦略**
- ESGの推進

投資会社として最適な財務運営体制をすでに確立

①財務方針の堅持

②あらゆる変化に
対応できる柔軟かつ
機動的な財務運営

①財務方針の堅持

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

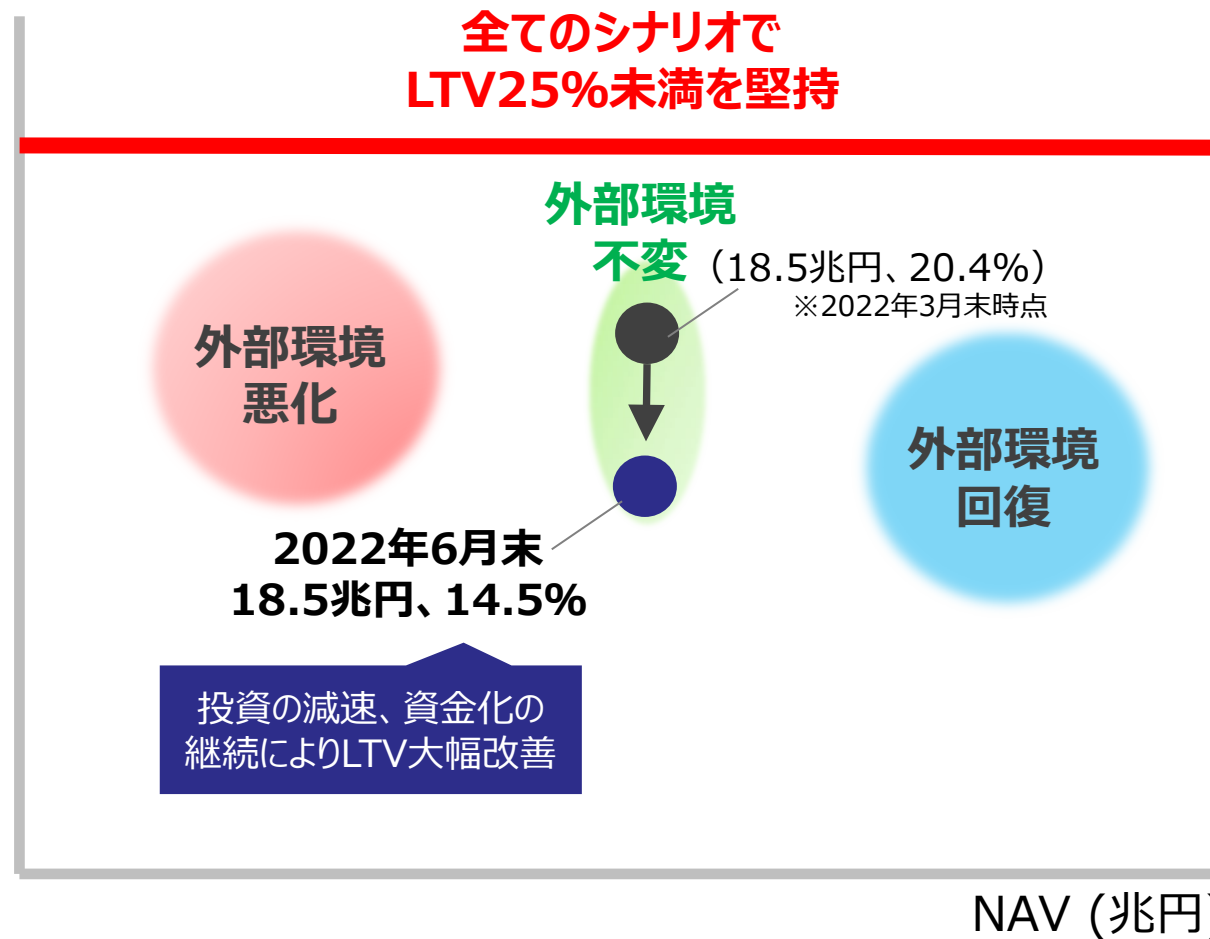
2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVF1&2や子会社から 継続的な配当収入 を確保

FY22の財務運営方針（イメージ）

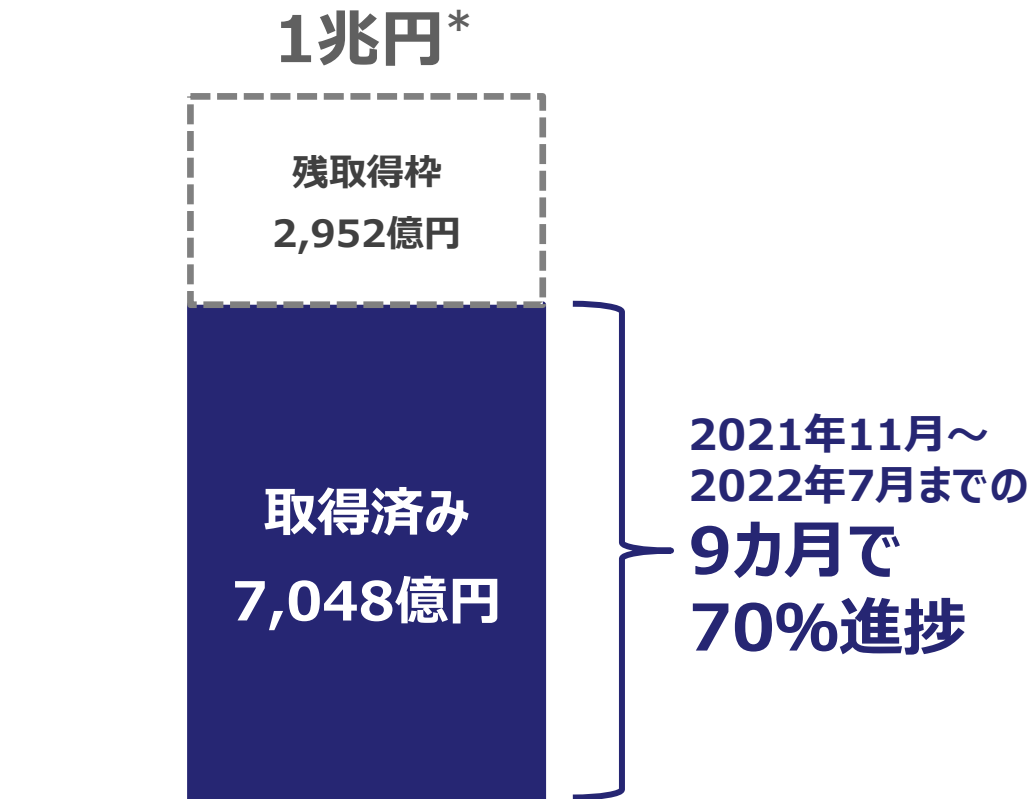
外部環境のあらゆる変化に柔軟かつ機動的に対応可能

LTV (%)



シナリオ	前提	対応方針
外部環境不変	外部環境の不透明さが継続し、保有株式価値が2022年3月末から 不変	資金化の範囲内で新規投資と自社株買いを継続
外部環境回復	外部環境が回復し、保有株式価値が2022年3月末から 増加	LTVを維持しながら投資加速のためのレバレッジ活用も視野に
外部環境悪化	外部環境がさらに悪化し、保有株式価値が2022年3月末から 減少	資金化対比で新規投資を大幅にスローダウンすることでLTV25%未満を維持

2021年11月8日取締役会決議に基づく取得の進捗



2022年8月8日取締役会決議 4,000億円の取得枠設定

- 総額
4,000億円（上限）
 - 取得期間
2022年8月9日～2023年8月8日
- 財務方針・投資機会・NAVディスカウント等を考慮のうえ実施
（上記のバランス次第では取得期間内に4,000億円の上限に達しない可能性あり）

* 財務方針・投資機会・NAVディスカウント等を考慮のうえ実施。これらのバランス次第では2021年11月9日～2022年11月8日の取得期間内に1兆円の上限に達しない可能性あり

- 投資事業の状況
- 財務の状況
- 財務戦略
- **ESGの推進**

サステナビリティ推進体制のさらなる強化

体制の強化

- サステナビリティ部として独立部門を新設
- より機動的な対応を目指し、IR部長 兼 サステナビリティ部長がCSusOを務める
- CFOの後藤は、引き続きサステナビリティを担当する取締役役としてコミット

サステナビリティとIRを一体で推進

1. 当社の本質的な取組みを投資家等ステークホルダーに対し情報発信強化
2. 投資家等ステークホルダーの期待の理解と施策への反映
3. 増加するESG投資資金の取込み



中長期的な株主価値の向上に貢献

FY22の取り組み概要：環境

TCFD開示

- SBG、SBKK：TCFD提言に基づく気候変動情報開示完了（2022年6月）
- SBIA、Arm：2024年開示に向けて準備中

温室効果ガス削減グループ目標設定と達成に向けたグループ連携強化

- グループ目標設定（2022年6月）：『2030年度までにカーボンニュートラル達成』
- グループ目標達成に向けグループ連携強化（各社におけるマイルストーン設定等）

			Z HOLDINGS	
目標	<p>2030年までに ネットゼロカーボン達成</p>	<p>2030年度までに カーボンニュートラル達成</p>	<p>2030年度までに ZHDグループ全社で カーボンニュートラル達成</p>	<p>2023年度までに 自社使用エネルギーの 100%再エネ化</p>
進捗	<p>FY21：自社使用電力の 再エネ比率98%達成</p>	<p>FY21：基地局使用電力の 再エネ比率53.5%達成</p>	<p>FY21：グループ使用エネルギーの 再エネ比率37%達成</p>	<p>FY21：自社使用エネルギーの 再エネ比率59%達成</p>

FY22の取り組み概要：社会・ガバナンス

人権への取り組みの推進

- 人権アンケートで特定されたリスク分野に関する**研修・モニタリング等を実施**
- 取引先に対するモニタリングを開始、子会社への展開につなげる

FY21	FY22	FY23
SBG人権アンケート → 分析	研修 → モニタリング → 分析	継続実施
	取引先実施検討 → 取引先実施	継続実施
		子会社展開検討 → 子会社展開

ESGに関するグループポリシーの整備

- 引き続き重要性の高いESG領域に関するグループポリシーを整備し、グループ全体でESGを推進
- 税務ポリシー開示完了**（2022年7月）、AI倫理ポリシー開示予定（2022年10月）

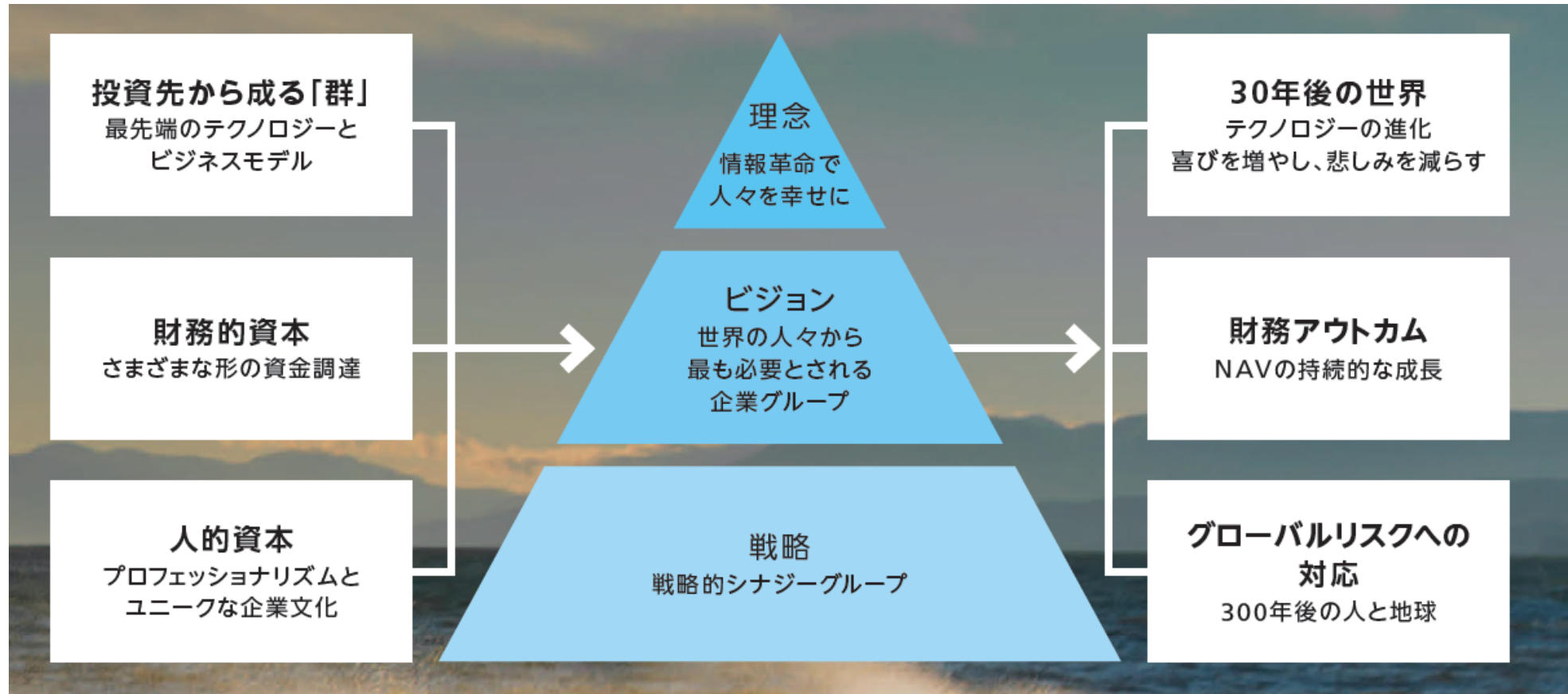
FY21開示済			FY22新設（含予定）	
人権ポリシー	環境ポリシー	サプライヤー 行動規範	税務ポリシー	AI 倫理ポリシー

グループサステナビリティ・ガバナンス体制の強化

- グループポリシーの浸透やグループ目標達成に向けて、グループ一体でサステナビリティを推進する体制を構築

ソフトバンクグループレポートの発行

- 従来のアニュアルレポートを、非財務情報を統合した「ソフトバンクグループレポート」として刷新
- ソフトバンクグループの投資活動と、理念・ビジョン・戦略の関係を示し、ステークホルダーとの対話の促進や「志」の共有を目指す



[ソフトバンクグループレポート2022はこちら](#)

Appendix

2022年6月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=136.68円

29.6兆円
(調整前)

(兆円)

アリババ 4.5
Tモバイル 0.4
ドイツテレコム 0.4

アリババ 0.8
SBKK 0.5
Tモバイル 0.1
アーム 1.1



保有株式価値
(調整後)

保有株式価値
(調整前)

4.5兆円

9.8兆円

保有株式数 633百万株*1 × 株価 \$113.7*1

2.4兆円

2.9兆円

保有株式数 1,915百万株 × 株価 1,507円

3.4兆円

3.4兆円

各ファンドの保有資産価値相当 × SBG 持分 + 成功報酬等

4.5兆円

4.5兆円

1.0兆円

1.0兆円

1.0兆円

1.5兆円

保有株式数 40百万株*2 × 株価 \$134.54 + 条件付対価*3

0.2兆円

0.6兆円

保有株式数 225百万株 × 株価 €18.95

3.0兆円

4.1兆円

公正価値 × SBG 持分

アセットバック・ファイナンス
調整額

カラー契約等 4.5兆円
マージン・ローン 0.8兆円

マージン・ローン 0.5兆円

カラー契約 0.4兆円
マージン・ローン 0.1兆円

カラー取引 0.4兆円

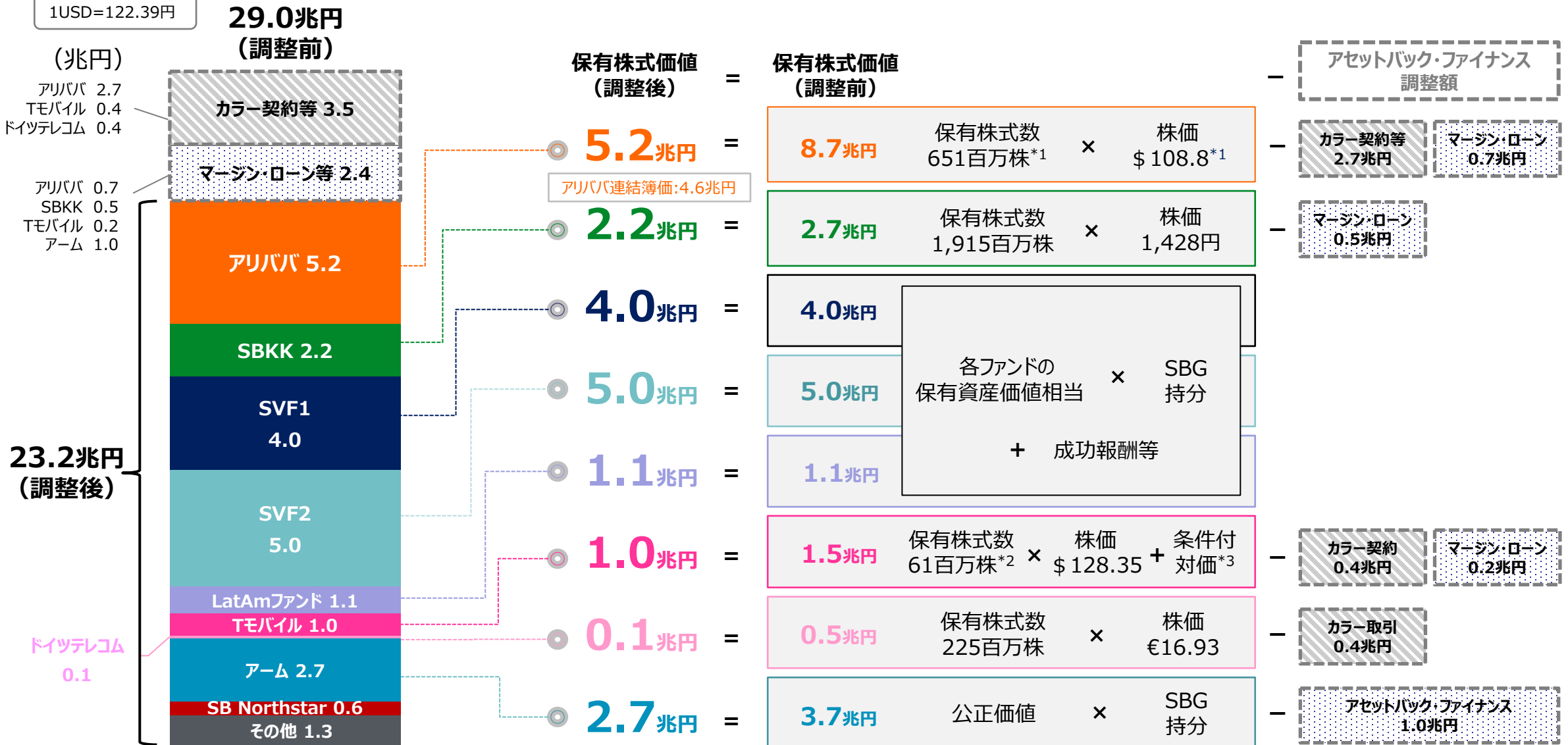
アセットバック・ファイナンス 1.1兆円

(注) 各計算式の詳細はp40~41,43参照。 *1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価

*2 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。 *3 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

(参考) 2022年3月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=122.39円



Mar 22

*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価

*2 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。

*3 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

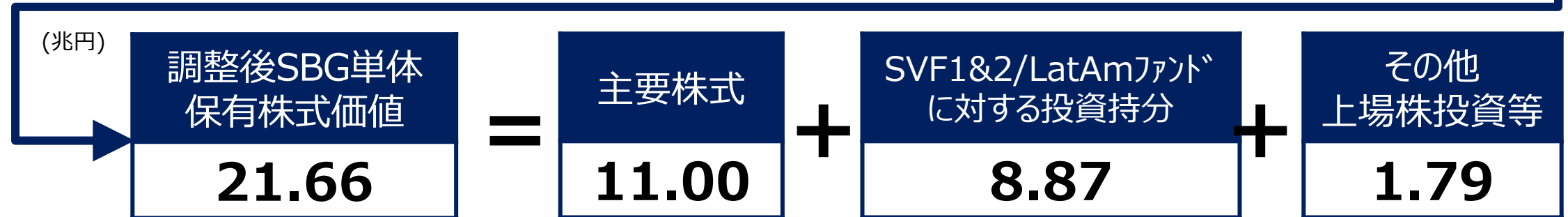
(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

3.15兆円

= 14.5%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

21.66兆円



アリババ	+9.84	SBKK	+2.88	Tモバイル	+1.47	SVF1	+3.41	SB Northstar	+0.47
アセットバック・ファイナンス	-5.36	アセットバック・ファイナンス	-0.50	アセットバック・ファイナンス	-0.47	SVF2	+4.50	その他	+1.33
アリババ (調整後)	+4.48	SBKK (調整後)	+2.39	Tモバイル (調整後)	+1.00	LatAm ファンド	+0.96		
ドイツテレコム	+0.61	アーム	+4.10						
アセットバック・ファイナンス	-0.43	アセットバック・ファイナンス	-1.14						
ドイツテレコム(調整後)	+0.17	アーム (調整後)	+2.96						

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細についてはp40~41を参照

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アリババ	4.48	
調整前	9.84	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-5.36	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 <ul style="list-style-type: none"> ・複数の先渡し買戻契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2022年6月30日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（4兆5,432億円） ・マージン・ローン負債残高相当額（8,177億円）
(b) SBKK	2.39	
調整前	2.88	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.50	SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,990億円）
(c) SVF1	3.41	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	4.50	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(e) LatAmファンド	0.96	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
(f) アーム	2.96	
調整前	4.10	SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分（発行済株式の75.01%）の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-1.14	SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,443億円）

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(g) Tモバイル	1.00	
調整前	1.47	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2022年6月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 + 一定の条件下でTモバイル株式（48,751,557株）をSBGが無償で取得できる権利の公正価値 + Tモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-0.47	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（1,177億円）のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額（824億円）*1 ・Tモバイル株式を活用した先渡し買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（3,911億円）
(h) ドイツテレコム	0.17	
調整前	0.61	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.43	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,340億円）
(i) SB Northstar	0.47	SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
(j) その他	1.33	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値 （公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
SBG単体 調整後保有株式価値	21.66	P40からの(a)～(j)までの合計額

*1 Tモバイル株式を活用したマージン・ローン（借入総額\$0.87B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$0.26B）を控除した金額をノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としている。

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

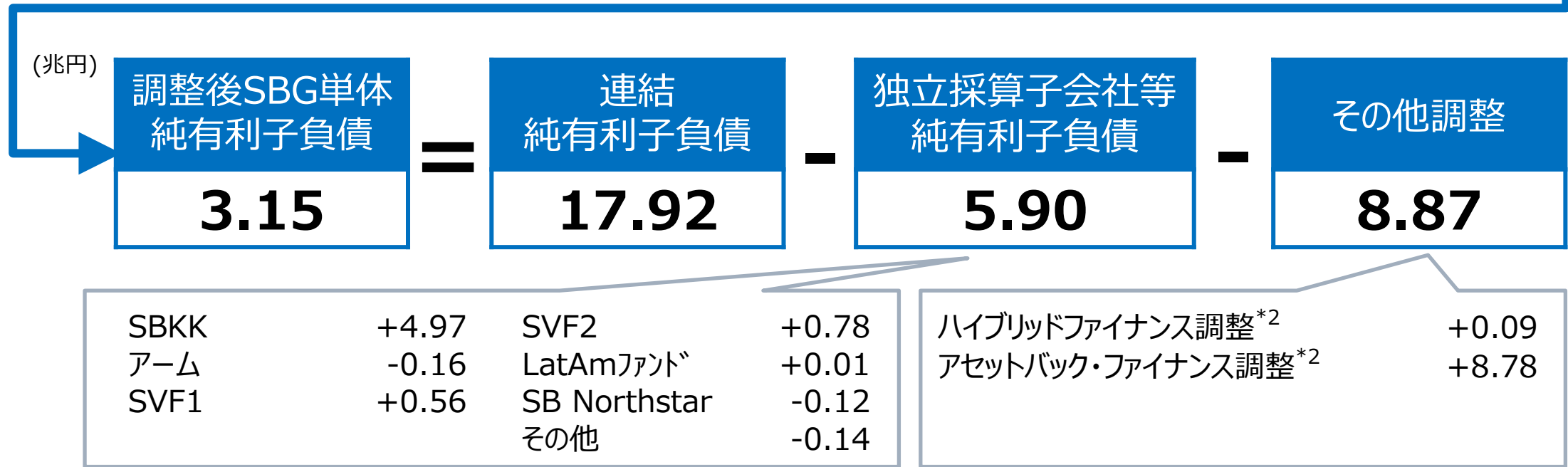
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

3.15兆円

=14.5%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

21.66兆円



*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細についてはp43を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

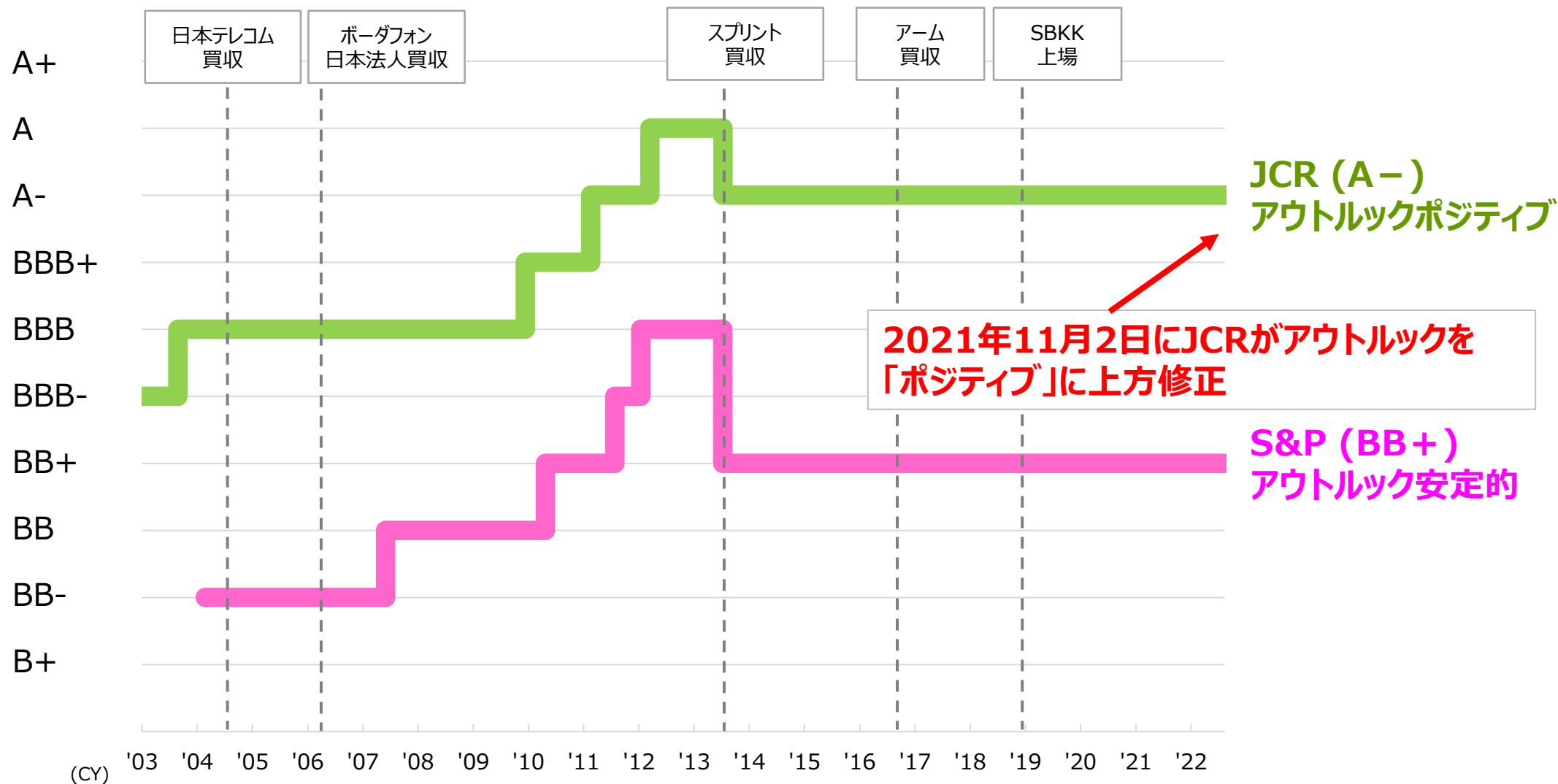
SBG単体 調整前純有利子負債		12.02	連結純有利子負債-独立採算子会社等の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.09		<ul style="list-style-type: none"> ・2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入 ・2016年9月・2021年2月・2021年6月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
アセットバック・ファイナンス調整	-8.78		
アリババ	-6.24		<ul style="list-style-type: none"> ・アリババ株式を活用した複数の先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡し契約金融負債（5兆4,257億円） ・アリババ株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（8,177億円）
アーム	-1.14		同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,443億円）
Tモバイル	-0.46		<ul style="list-style-type: none"> ・Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（1,177億円）のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額（824億円）^{*1} ・Tモバイル株式を活用した先渡し買契約（カラー契約）に係る株式先渡し契約金融負債（3,814億円）
ドイツテレコム	-0.43		2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,336億円）
SBKK	-0.50		SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,990億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		3.15	

*1 Tモバイル株式を活用したマージン・ローン（借入総額\$0.87B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$0.26B）を控除した金額をノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としている。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージン・ローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。

(参考) フォワード・カラー取引

<p>目的</p>	<p>デリバティブを活用したノンリコースの資金調達</p>
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引 • 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達 • 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可 • 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する
<p>フォワード取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した先渡価格で決済 • 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない
<p>カラー取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した価格レンジで決済 • 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定

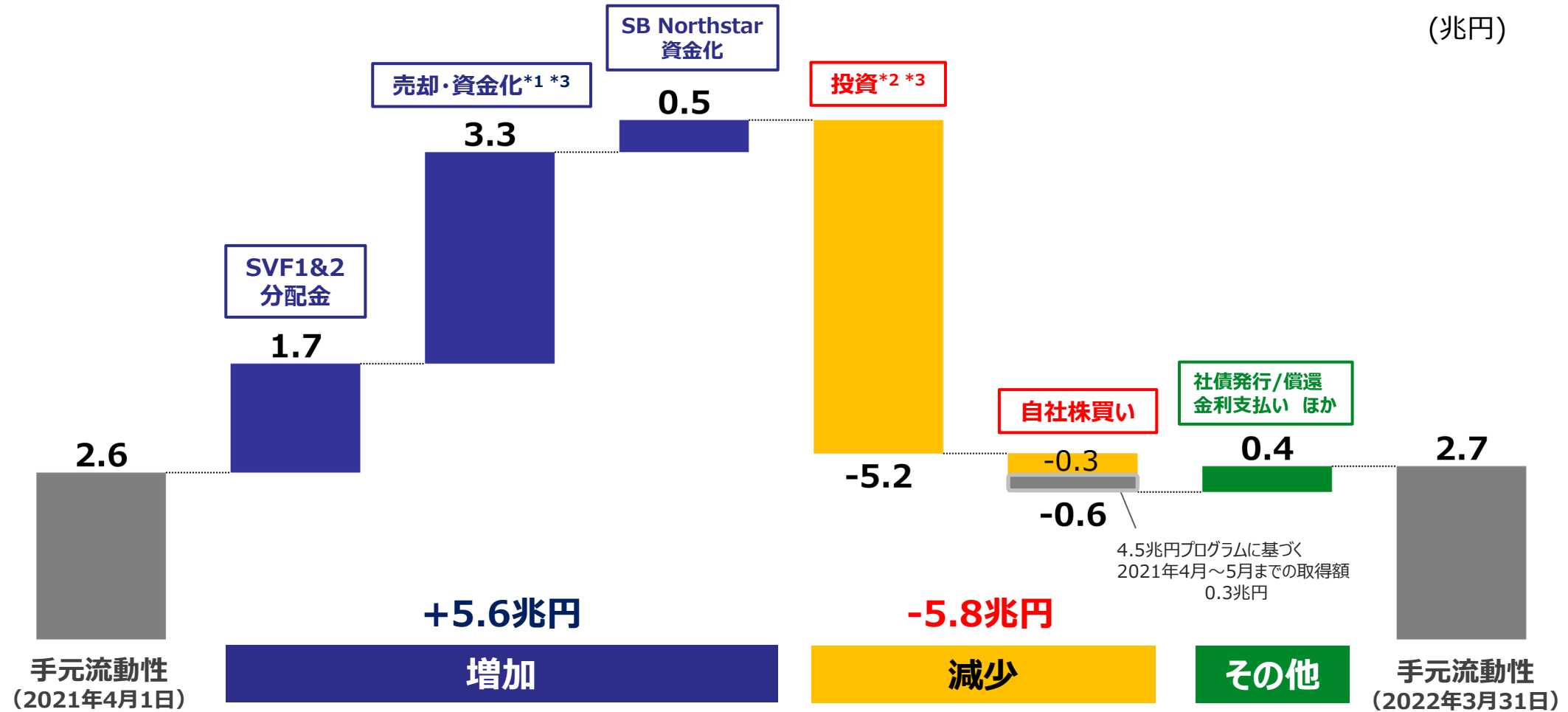
SBGの格付推移



(注) 2022年8月10日時点

(参考) FY21の投資回収サイクル：投資と資金化のブレイクダウン

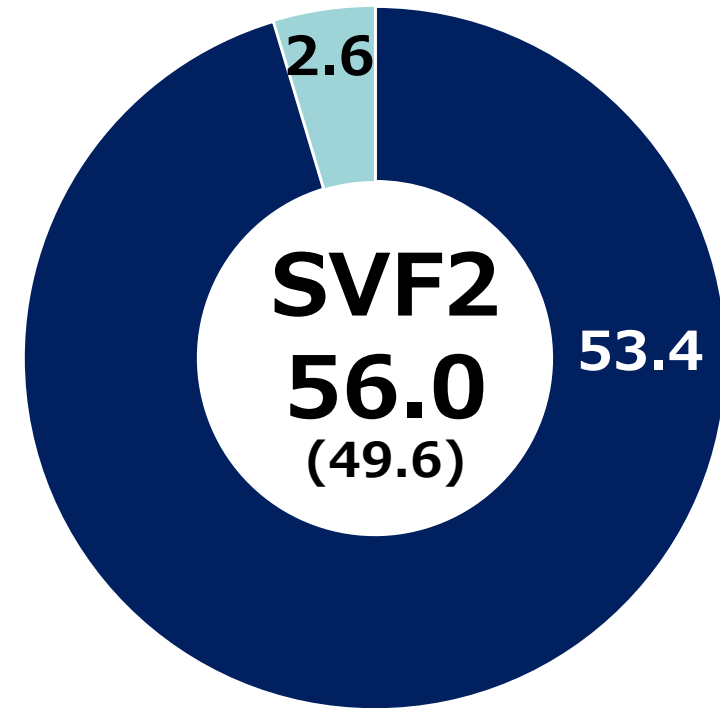
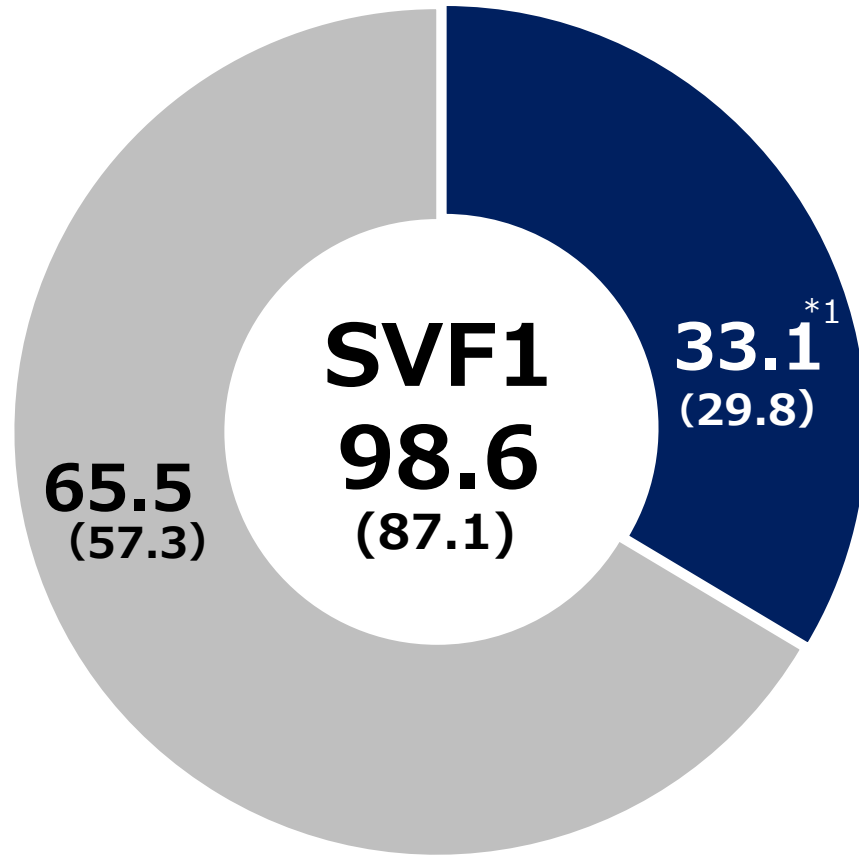
様々な手段により創出した資本を主に新規投資に配分



*1 売却・資金化による収入と返済による支出の純額
 *2 SVF1&2およびラテンアメリカ・ファンドへの拠出額
 *3 FY21にSBGからSVF2へ移管した投資 (0.7兆円) を含む。

SVF1&2 : コミットメント状況 (2022年6月末時点)

(\$B)



※ 括弧内は拠出額

*1 SVF1への当社の出資コミットメントは、アーム株式を活用した\$8.2B相当の支払義務履行分（全該当株式を拠出済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される\$2.5Bを含む。

*2 孫 正義以外の経営陣の参加は2022年6月末現在未決定だが、将来的に参加を予定。2022年6月末時点で出資は全額が未払い。詳細は2022年3月期決算 投資家向け説明会 プレゼンテーション資料 財務編「SVF2共同出資プログラムの導入」参照

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Jun 21	Sep 21	Dec 21	Mar 22	Jun 22
SBG単体	140,334	139,674	138,604	149,187	158,429
うち、SB Northstar	14,245	2,863	2,754	335	42
SVF1&2、LatAmファンド	5,450	8,356	12,086	10,773	14,134
ソフトバンク事業	62,274	59,691	61,680	59,994	62,202
その他（アーム等）	4,280	3,273	3,370	3,282	3,744
合計	212,338	210,995	215,739	223,236	238,509

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Jun 21	Sep 21	Dec 21	Mar 22	Jun 22
SBG単体	31,033	33,579	26,811	30,799	39,448
うち、SB Northstar	10,081	5,959	5,821	3,300	1,271
SVF1&2、LatAmファンド	4,012	1,074	2,511	2,003	733
ソフトバンク事業	14,013	10,575	12,834	12,219	12,488
その他（アーム等）	4,572	5,082	6,101	7,208	6,671
合計	53,630	50,309	48,256	52,229	59,341

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Jun 21	Sep 21	Dec 21	Mar 22	Jun 22
SBG単体	109,301	106,096	111,793	118,388	118,981
うち、SB Northstar	4,164	-3,096	-3,067	-2,965	-1,229
SVF1&2、LatAmファンド	1,437	7,282	9,575	8,770	13,401
ソフトバンク事業	48,261	49,116	48,846	47,775	49,713
その他（アーム等）	-292	-1,808	-2,730	-3,927	-2,927
合計	158,708	160,686	167,483	171,006	179,168

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ

QUARTER ENDED JUNE 30, 2022

Investor Briefing

SoftBank Vision & LatAm Funds

NAVNEET GOVIL

Managing Partner & Chief Financial Officer
SoftBank Investment Advisers

Important Information (1 of 2)

This presentation (this “Presentation”) is furnished to you for informational purposes in connection with the interests of SoftBank Group Corp. (together with its affiliates, “SoftBank”) in SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund I” or “SVF I”) or SoftBank Latin America Fund GP Ltd and SBLA Holdings II DE LLC (together with, as the context may require, any parallel funds, feeder funds, co-investment vehicles or alternative investment vehicles, the “LatAm Funds”) and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in the Vision Fund I or any other fund, managed by SB Investment Advisers (UK) Ltd. (the “Manager” or “SBIA”), or SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, “SVF II” or the “Vision Fund II”), managed by SB Global Advisers Limited (“SBGA”) and its affiliates thereof. This Presentation is not intended to be relied upon as the basis for any investment decision, and is not, and should not be assumed to be, complete. The contents of this Presentation are not to be construed as legal, business or tax advice.

None of Vision Fund I, Vision Fund II, the LatAm Funds, any successor fund managed by the Manager, SBIA, SBGA, SoftBank or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of Vision Fund I, Vision Fund II, the LatAm Funds, any successor fund managed by the Manager, SBGA or any other entity referenced in this Presentation.

Recipients of this Presentation should make their own investigations and evaluations of the information contained in this Presentation and should note that such information may change materially.

For the avoidance of doubt, the Vision Fund I is a prior fund managed by SBIA which is not being offered to investors. Information relating to the performance of the Vision Fund I or any other entity referenced in this Presentation has been included for background purposes only and should not be considered an indication of the future performance of the Vision Fund I, any other entity referenced in this Presentation or any future fund managed by SBIA. References to any specific investments of the Vision Fund I, to the extent included herein, are presented to illustrate the Manager’s investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments in the Vision Fund I may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described herein do not represent all of the investments made by the Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed herein were or will be profitable.

Statements contained in this Presentation (including those relating to current and future market conditions and trends in respect thereof) that are not historical facts are based on current expectations, estimates, projections, opinions and/or beliefs of the Manager. Such statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, and undue reliance should not be placed thereon. In addition, no representation or warranty is made with respect to the reasonableness of any estimates, forecasts, illustrations, prospects or returns, which should be regarded as illustrative only, or that any profits will be realized. Certain information contained herein constitutes “forward-looking statements,” which can be identified by the use of terms such as “may”, “will”, “should”, “expect”, “project”, “estimate”, “intend”, “continue”, “target” or “believe” (or the negatives thereof) or other variations thereon or comparable terminology. Due to various risks and uncertainties, actual events or results or actual performance of the Vision Fund I or any successor fund managed by the Manager (or any other entity referred to herein) may differ materially from those reflected or contemplated in such forward-looking statements. As a result, investors should not rely on such forward-looking statements in making their investment decisions. Further, the targets stated herein are based on an assumption that economic, market and other conditions will not deteriorate and, in some cases, improve. These projections involve significant elements of subjective judgment. No representation or warranty is made as to future performance or such forward-looking statements. None of the information contained herein has been filed with the U.S. Securities and Exchange Commission, any securities administrator under any securities laws of any U.S. or non-U.S. jurisdiction or any other U.S. or non-U.S. governmental or self-regulatory authority. No such governmental or self-regulatory authority will pass on the merits of the offering of interests in the Vision Fund I, or any successor fund managed by the Manager or the adequacy of the information contained herein. Any representation to the contrary is unlawful. Except where otherwise indicated herein, the information provided in this Presentation is based on matters as they exist as of the date of preparation of this Presentation and not as of any future date, and will not be updated or otherwise revised to reflect information that subsequently becomes available, or circumstances existing or changes occurring after the date hereof.

Important Information (2 of 2)

Vision Fund I performance herein is based on unrealized valuations of portfolio investments. Valuations of unrealized investments are based on assumptions and factors (including, for example, as of the date of the valuation, average multiples of comparable companies, and other considerations) that the Manager believes are reasonable under the circumstances relating to each particular investment. However, there can be no assurance that unrealized investments will be realized at the valuations indicated herein or used to calculate the returns contained herein, and transaction costs connected with such realizations remain unknown and, therefore, are not factored into such calculations. Estimates of unrealized value are subject to numerous variables that change over time. The actual realized returns on the Vision Fund I's unrealized investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions and circumstances on which the Manager's valuations are based.

Vision Fund I performance is based in part on valuations of certain investments that were recently acquired by the Vision Fund I as a portfolio from SoftBank Group Corp; accordingly, the performance information herein, which is based in part on valuations of unrealized investments, is not indicative of future results. The selection of such investments, the timing of such acquisitions and the valuation and subsequent performance of those investments had a material and positive impact on the performance of the Vision Fund I. SoftBank Group Corp. is under no obligation to offer similar assets to the Vision Fund I in the future.

Past performance is not necessarily indicative of future results. The performance of the Vision Fund I or any future fund managed by the Manager may be materially lower than the performance information presented herein. There can be no assurance that the Vision Fund I, Vision Fund II or any successor fund managed by the Manager will achieve comparable results as those presented herein or that investors in the Vision Fund I, Vision Fund II or any successor fund managed by the Manager will not lose any or all of their invested capital.

Certain information contained in this Presentation has been obtained from published and non-published sources prepared by other parties, which in certain cases has not been updated through the date hereof. While such information is believed to be reliable for the purposes of this Presentation, none of the Vision Fund I, Vision Fund II, any successor fund managed by the Manager, the Manager, SoftBank, or their respective affiliates assumes any responsibility for the accuracy or completeness of such information and such information has not been independently verified.

Certain hypothetical illustrations set forth herein contain projections, targets, assumptions and expectations with respect to the performance of investments. These hypothetical returns, including the projections, targets, assumptions and expectations contained therein, have been prepared and are set out for illustrative purposes only, and do not constitute forecasts. They have been prepared based on the Manager's current view in relation to future events and various assumptions and estimations, including estimations and assumptions with respect to events that have not occurred, any of which may prove incorrect. Others may select other underlying assumptions or methodologies that would significantly affect the projected returns or performance information set forth herein, even materially.

Third-party logos and vendor information included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that the Manager, the Vision Fund I's portfolio companies, any future portfolio companies of a successor fund managed by the Manager or SoftBank will work with any of the firms or businesses whose logos are included herein in the future.

Topics

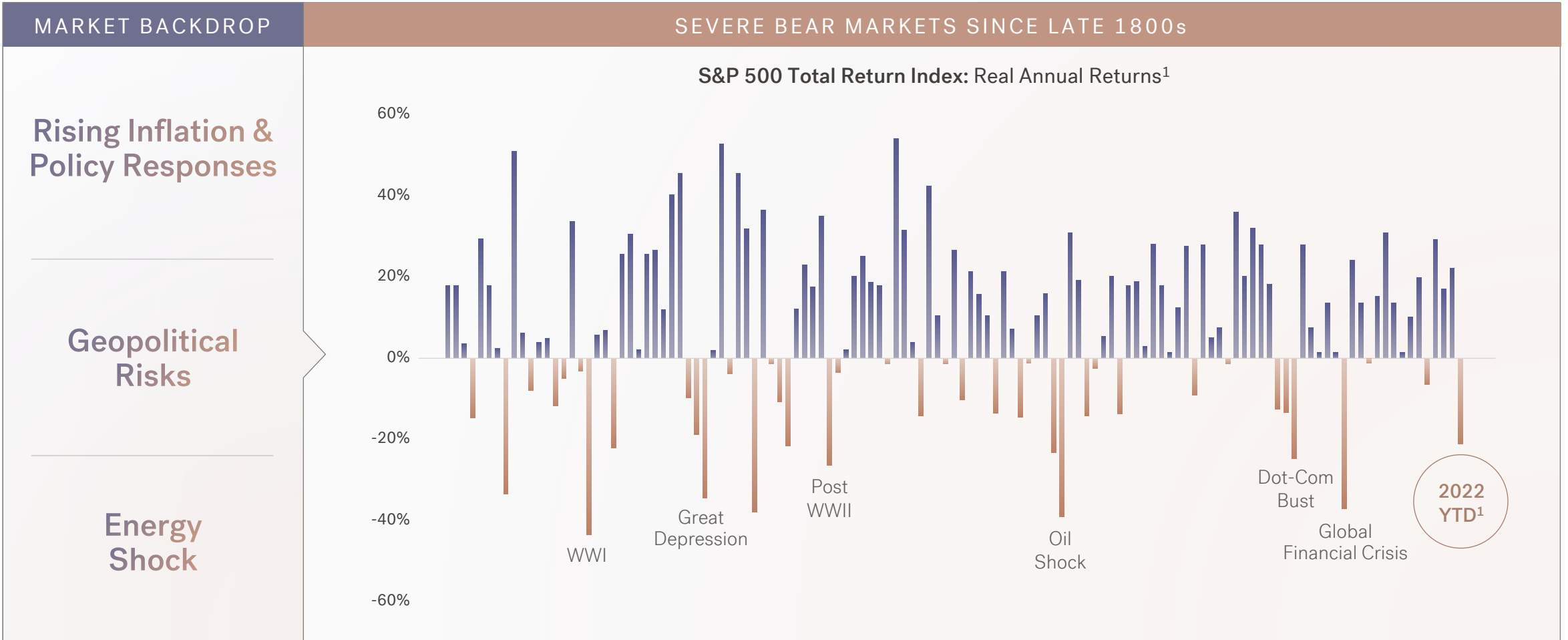
01- Progress & Highlights

02- Performance & Impact on SoftBank Group (SBG)

03- In Focus: Conviction & Resilience in Times of Uncertainty

Progress & Highlights

Public Markets are Undergoing a Historic Correction



Footnotes:

1. BofA Global Investment Strategy: The Longest Pictures. 2022 YTD as of June 30, 2022.

The information is provided for illustrative purposes only. Certain information provided herein is provided by a third-party and SBIA makes no representation regarding its accuracy.

PROGRESS & HIGHLIGHTS

Performance Snapshot

As of June 30, 2022

	SoftBank Vision Fund 1	SoftBank Vision Fund 2	SoftBank LatAm Funds	Combined
Total Commitment	\$98.6B	\$56.0B	\$7.6B	\$162.2B
Acquisition Cost¹	\$87.7B	\$49.1B	\$7.2B	\$144.0B
Cumulative Investment Gains/(Losses)¹	\$20.4B	\$(9.3B)	\$(0.1B)	\$11.0B
Total Fair Value²	\$108.1B	\$39.8B	\$7.1B	\$155.0B
Distributions³	\$42.4B	\$9.1B	\$0.1B	\$51.6B

Footnotes:

1. Acquisition Cost and Cumulative Investment Gains/(Losses) are cumulative from Fund Inception to June 30, 2022. Cumulative Investment Gains/(Losses) are before tax and expenses and include Unrealized and Realized gains and losses from Investments and their related hedges and dividend income received. Cumulative Investment Gains does not take into account fees or expenses and should not be construed as indicative of actual or future performance.
2. Total Fair Value is the Acquisition Cost plus Cumulative Investment Gains/(Losses) as of June 30, 2022.
3. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financings, and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partners from Fund Inception to June 30, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.

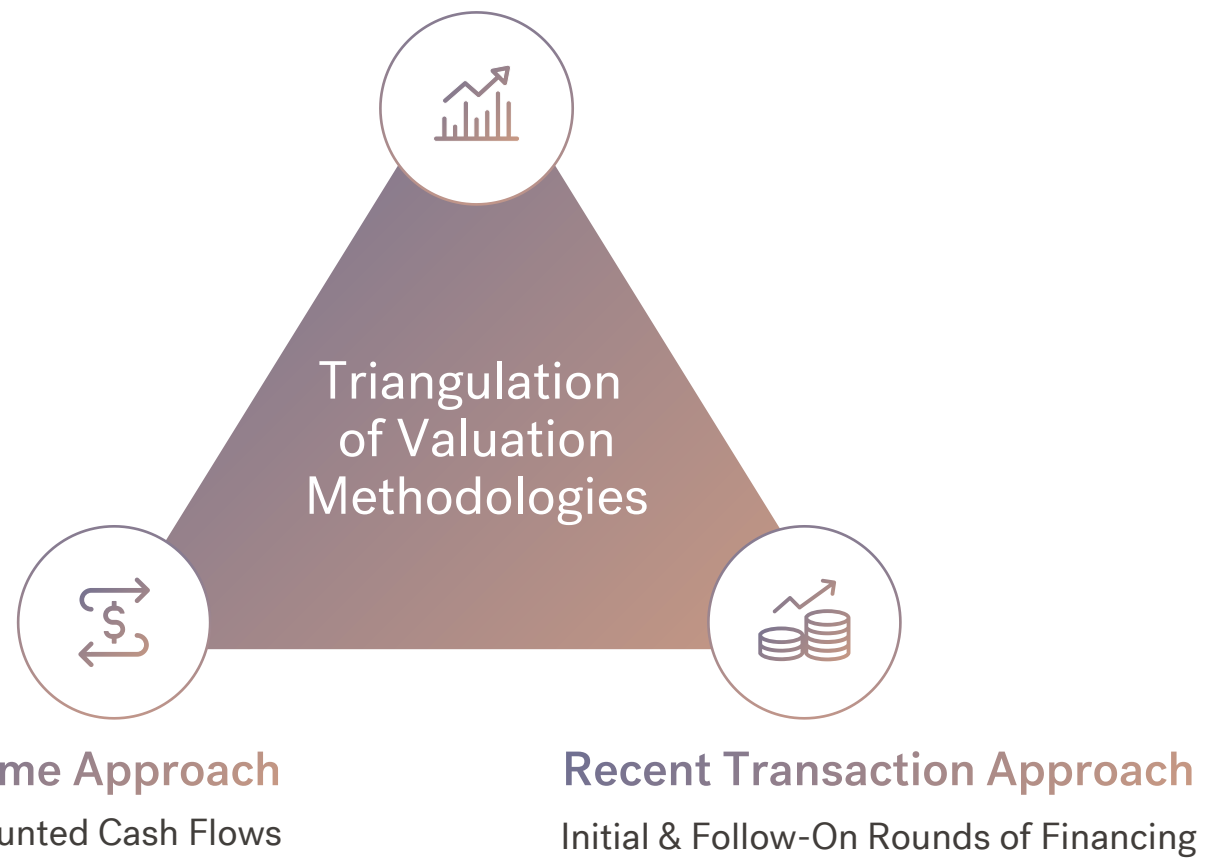
The information herein is presented solely for SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 and SoftBank LatAm Funds. These highlights are provided solely for illustrative purposes and individual investors' results may vary. Past performance is not necessarily indicative of future results. Cumulative Investment Gains and Total Fair Value include valuations of Unrealized Investments, do not take into account fees or expenses at the time of exit that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. Actual Realized amounts will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the valuations reported herein are based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.

SVF1 SVF2 LATAM

PROGRESS & HIGHLIGHTS

Valuation Framework for Private Assets

Market Approach
Comparable Company Multiples



There can be no assurance that the operations and/or processes of the Managers and SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, and the SoftBank LatAm Funds described herein will continue throughout the life of the Managers, SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, the SoftBank LatAm Funds or any successor fund managed by the Managers, and such processes and operations may change. There can be no assurance that the Managers, SoftBank Vision Fund 1, Vision Fund 2, and the LatAm Funds will be able to implement its investment strategy or achieve its investment objective. There can be no assurances that any plans described herein will be realized on the terms expressed herein or at all, and all such plans are subject to uncertainties and risks, as well as investor consents and regulatory approvals, as applicable.

Key Valuation Considerations



Market Approach



Income Approach



Recent Transaction Approach

KEY CONSIDERATIONS

Sector Performance

Geographic Comparability

Business Model Comparability

Growth & Margin Comparability

Stage of Company

Risk Profile

Market Sizing Analysis

Market Share Analysis

Actual Performance vs. Plan

Growth & Margin Assumptions

Discount Rate

Exit Multiple Assumptions

Recency of Transaction

Institutional vs. Retail Investors

Size of Round

New vs. Existing Investor Mix

Financial vs. Strategic Investors

Protective Provisions

KEY METRICS

Unique Public Comps Tracked¹**1,500+**Performance Projections¹**2,000+**Investors LTM²**1,000+**

Footnotes:

1. Source: SBIA Analysis.

2. Source: SBIA Analysis and Pitchbook. Includes SoftBank Vision Fund 1, Vision Fund 2, and LatAm Funds portfolio companies. Data represents the number of institutional investors participating in the funding rounds of current portfolio companies that occurred over the period July 1, 2021, to June 30, 2022 (Last Twelve Months - "LTM"). Includes funding rounds which may have occurred prior to our investment, but over the Last Twelve Months.

The information is provided for illustrative purposes only. The Manager conducts its valuations in accordance with its internal policies and procedures. Certain information provided herein is provided by a third-party and SBIA makes no representation regarding its accuracy.

GoTo is Indonesia's Most Valuable Tech Company

As of June 30, 2022

IDX:
GOTO

goto

Gross MOIC¹

3.2x

Gross Gain²

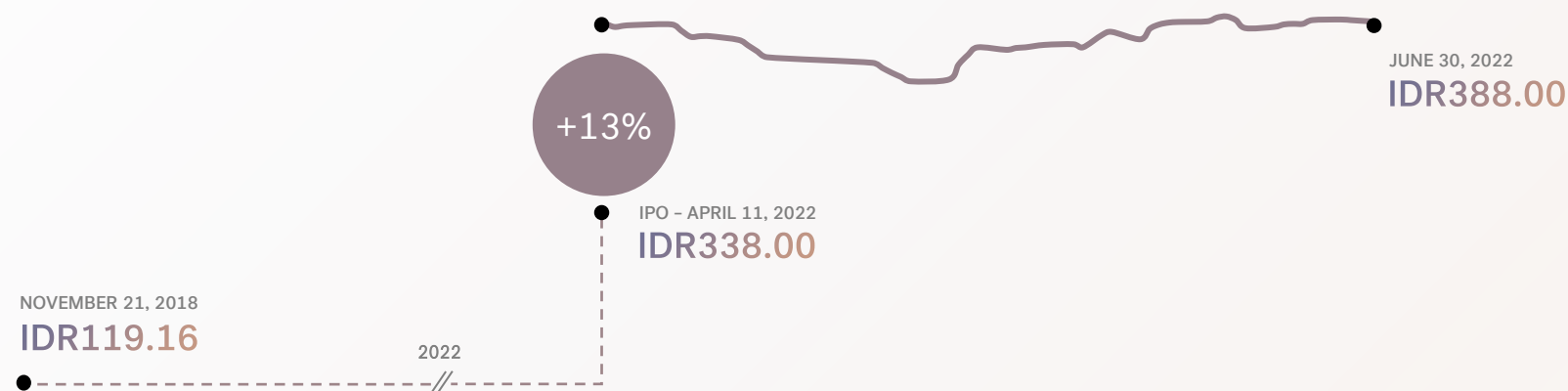
\$1.9B

Market Cap³

\$30.8B

Cost⁴

Trading Activity⁵



Footnotes:

1. Gross MOIC (Gross Multiple of Invested Capital) is measured by dividing the Investment's total Realized and Unrealized value as of June 30, 2022 by the total amount invested. It includes valuation changes that reflect Unrealized estimated amounts, does not take into account taxes or Fund-related expenses at the time of exit that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. Net performance for individual Investments cannot be calculated without making arbitrary assumptions about allocations of fees and expenses, and for that reason is not included herein.
2. Gross Gain is cumulative from Fund Inception to June 30, 2022. Gross Gain is before tax and expenses and include Unrealized and Realized gains and losses from Investments and their related hedges. Gross Gain does not take into account fees or expenses and should not be construed as indicative of actual or future performance.
3. Market Cap represents GoTo's market capitalization as of June 30, 2022. Source: Bloomberg.
4. Cost represents implied SoftBank Vision Fund 1 entry valuation.
5. Trading Activity prices represent the closing price of GoTo's publicly traded stock on the respective date indicated.

Public Listing information is presented for SoftBank Vision Fund 1 only and is solely for illustrative purposes. With respect to publicly-traded securities, the quoted prices presented herein are as of the measurement date and have likely moved either upwards or downwards since such measurement date. Individual investors' results may vary. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to Investments described herein. References to specific Investments should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. Select Investments have been presented to illustrate examples of SoftBank Vision Fund 1's Investments that have undergone public offerings and do not purport to be a more complete list of SoftBank Vision Fund 1's Investments. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1's Investments. Net performance for the subset of Investments described above cannot be calculated without making arbitrary assumptions about allocations of fees and expenses, and for that reason is not included herein. Past performance is not necessarily indicative of future results.

Delhivery IPO Amongst Largest-Ever Tech Listings in India

As of June 30, 2022

NSE:
DELHIVERY

DELHIVERY
Small World

Gross MOIC¹

2.3x

Gross Gain²

\$0.5B

Market Cap³

\$4.6B

Cost⁴

Trading Activity⁵



Footnotes:

1. Gross MOIC (Gross Multiple of Invested Capital) is measured by dividing the Investment's total Realized and Unrealized value as of June 30, 2022 by the total amount invested. It includes valuation changes that reflect Unrealized estimated amounts, does not take into account taxes or Fund-related expenses at the time of exit that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. Net performance for individual Investments cannot be calculated without making arbitrary assumptions about allocations of fees and expenses, and for that reason is not included herein.
2. Gross Gain is cumulative from Fund Inception to June 30, 2022. Gross Gain is before tax and expenses and include Unrealized and Realized gains and losses from Investments and their related hedges. Gross Gain does not take into account fees or expenses and should not be construed as indicative of actual or future performance.
3. Market Cap represents Delhivery's market capitalization as of June 30, 2022. Source: Bloomberg.
4. Cost represents implied SoftBank Vision Fund 1 entry valuation.
5. Trading Activity prices represent the closing price of Delhivery's publicly traded stock on the respective date indicated.

Public Listing information is presented for SoftBank Vision Fund 1 only and is solely for illustrative purposes. With respect to publicly-traded securities, the quoted prices presented herein are as of the measurement date and have likely moved either upwards or downwards since such measurement date. Individual investors' results may vary. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to Investments described herein. References to specific Investments should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. Select Investments have been presented to illustrate examples of SoftBank Vision Fund 1's Investments that have undergone public offerings and do not purport to be a more complete list of SoftBank Vision Fund 1's Investments. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1's Investments. Net performance for the subset of Investments described above cannot be calculated without making arbitrary assumptions about allocations of fees and expenses, and for that reason is not included herein. Past performance is not necessarily indicative of future results.

Symbotic Continues to Reinvent the Supply Chain

SVFC¹ completed its merger with Symbotic on June 7, 2022, raising \$450mm in primary proceeds

Our Approach



Path to Profitability



Strong Unit Economics



AI-Powered

Highlights

\$350B+

Addressable Market Opportunity²

\$11B+

Contracted Order Value²

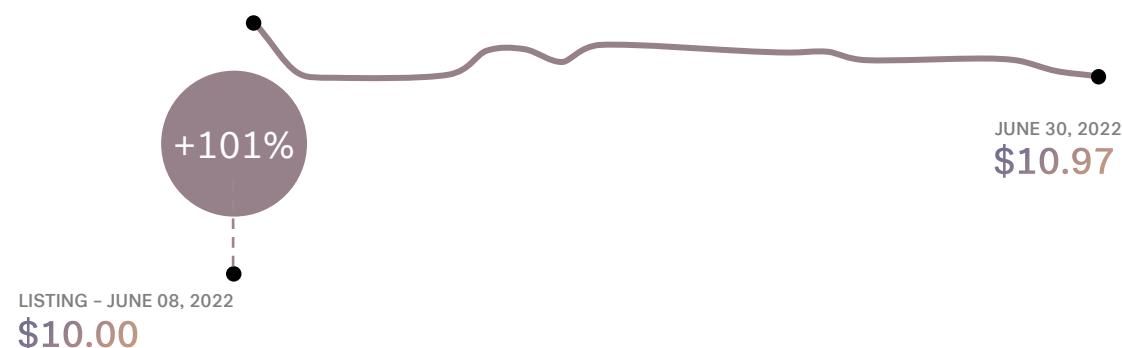
Walmart 

Expanded Commercial Agreement³



Recent Performance

Cost & Trading Activity⁴








Footnotes:

- SVF Investment Corp. 3 is a special purpose acquisition company affiliated with SoftBank Investment Advisers.
- Source: Symbotic Website. Symbotic Becomes A Publicly Traded Company Through Completion Of Business Combination With SoftBank-Sponsored SVF Investment Corp. 3. June 2022.
- Source: Symbotic Website. Walmart And Symbotic Expand Partnership To Implement Industry-Leading Automation System. June 2022.
- Cost represents implied SoftBank Vision Fund 2 entry valuation in June 2022. Trading Activity prices represent the closing price of Symbotic's publicly traded stock on the respective date indicated.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Certain information was provided by a third party and SBIA makes no representation regarding the accuracy of the information. The Investments presented herein are solely for illustrative purposes, have been selected in order to demonstrate examples of SoftBank Vision Fund 2 Investments, and do not purport to be a complete list thereof. References to individual Investments should not be construed as a recommendation of any specific investment or security. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 2 Investments. Third-party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that the Manager, portfolio companies, or SoftBank will work with any of the firms or businesses whose logos are included herein in the future.

Recent Significant Exits¹

As of July 31, 2022

Portfolio Company	Cost / Share ²	Avg. Sale Price / Share ²
 GUARDANT™	\$11.05	\$95.70
 GUARDANT™ JV	\$1,025	\$4,445
 Opendoor	\$6.11	\$11.19
 Uber	\$34.50	\$41.47
 贝壳 BEIKE	\$12.91	\$23.89

Gross Realized
Proceeds⁵

\$15.4B

Gross Realized
Gain⁴

+\$5.6B

Cost³

\$9.8B

Gross Investment
IRR⁷

23%

Gross Investment
MOIC⁶

1.6x

Footnotes:

- Recent Significant Exits includes full exits of publicly traded portfolio companies and associated joint ventures from April 1, 2022 to July 31, 2022.
- Cost / Share represents the investment cost per share for the respective investment. Average Sale Price / Share represents the weighted average sale price for the respective investment.
- Cost represents Acquisition Cost for full and partially Realized Investments as of July 31, 2022.
- Gross Realized Gain represents the difference between Gross Realized Proceeds and Cost for fully and partially Exited investments as of July 31, 2022.
- Gross Realized Proceeds represents proceeds received for full and partially Realized Investments, related hedges and dividend income as of July 31, 2022.
- Gross Investment Multiple of Invested Capital ("MOIC") is Gross Realized Proceeds divided by Investment Cost. Gross Realized Proceeds defined as the sum of all external cash flows derived from investments, gross of taxes, transaction fees, investment-related financing and other fund-related expenses. Investment Cost defined as the sum of all external cash flows directed towards Portfolio Companies, principal amounts borrowed as directly related to investments, and net premiums paid by SVF1 and SVF2 for investment-related hedges.
- Gross Investment IRR means the internal rate of return gross of fees and expenses. It is computed using Limited Partners' daily cash inflows and outflows, as directly related to investments, and assuming the distribution of realized investment proceeds held by the Fund as of July 31, 2022, for the respective investments: Guardant, Guardant JV, OpenDoor, Uber, Beike.

Select Investments presented herein are solely for illustrative purposes and do not purport to be a complete list of SoftBank Vision Fund 1 and Vision Fund 2 Investments. References to Investments included herein should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. It should not be assumed that Investments made in the future will be comparable in quality or performance to the Investments described herein. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of SoftBank Vision Fund 1 and Vision Fund 2 Investments. Net performance for individual investments cannot be calculated without making arbitrary assumptions about allocations of fees and expenses, and for that reason is not included herein. Past performance is not necessarily indicative of future results.

Performance & Impact on SoftBank Group (SBG)

SVF 1

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG, Net of 3rd Party Interests^{1,3}

Amounts in USD Billions

SVF1 Inception to

2022
Jun 30

Fund Net Profit ²	\$10.8
Less: Change in 3 rd Party Interests in Fund	(5.4)
SBG LP Income: Share of Fund Net Profit	5.4
SBG GP Income: Management & Performance Fees ³	0.9
Contribution to SBG, Net of 3rd Party Interests¹	\$6.3

Footnotes:

1. Contribution to SBG, Net of 3rd Party Interests reflects the income or loss from SBG's Limited Partner interest and Manager's Management and Performance Fee entitlement. Contributions to SBG and Fund Net Profit include the impact of SBG's interests in the Fund through the Employee Incentive Scheme.
2. Fund Net Profit includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
3. Management Fees and Performance Fees earned by SBG through its subsidiary, SBIA UK reflect total Management Fees and Performance Fees earned by the Manager from Inception of the Fund through June 30, 2022.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SBG's interests in SoftBank Vision Fund 1. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

SVF 1

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG

As of June 30, 2022

SBG Paid-In Capital¹

\$27.7B

SBG Total Value²

\$33.2B

Net Asset Value³

\$24.0B

Distributions⁴

\$9.2B

Footnotes:

1. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Rec callable unutilized Contributions.
2. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund together with SBG's interest in the Fund through the Employee Incentive Scheme and the Manager's Performance Fee entitlement.
3. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
4. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financing and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partner from Fund Inception to June 30, 2022. It includes the Return of Rec callable Utilized Contributions and the Return of Non-Rec callable Utilized Contributions but does not include the Return of Rec callable Unutilized Contributions.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SBG's interests in SoftBank Vision Fund 1. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

SVF 2

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG

As of June 30, 2022

SBG Paid-In Capital¹

\$48.0B

SBG Total Value²

\$39.0B

Net Asset Value³

\$30.1B

Distributions⁴

\$8.9B

Footnotes:

1. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Recalable unutilized Contributions.

2. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund.

3. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.

4. Distributions include proceeds from Investment Realization and Financing distributed to Limited Partner from Fund Inception to June 30, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SBG's interests in SoftBank Vision Fund 2. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

LATAM

PERFORMANCE & IMPACT ON SBG

Contribution to SBG

As of June 30, 2022

SBG Paid-In Capital¹

\$6.7B

SBG Total Value²

\$6.4B

Net Asset Value³ \$6.2B

Distributions⁴ \$0.1B

Accrued & Paid
Performance Fees⁵ \$0.1B

Footnotes:

1. SBG Paid-In Capital represents SBG Commitment drawn down through capital calls less Return of Recalable unutilized Contributions.
2. SBG Total Value reflects SBG's Limited Partner interest in the Fund and the Manager's Performance Fee entitlement.
3. Net Asset Value includes net changes in fair value of financial assets at fair value through profit or loss (FVTPL) which is based on valuations that reflect Unrealized estimated amounts, do not take into account fees or expenses that would reduce the value of returns experienced by investors, and should not be construed as indicative of actual or future performance. There can be no assurance that Unrealized Investments will be sold for values equal to or in excess of the total values used in calculating the information portrayed herein. Actual returns on Unrealized Investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions on which the information reported herein is based. Accordingly, the actual Realized returns on Investments that are Unrealized may differ materially from the values indicated herein.
4. Distributions include proceeds from Investment Realization and Financing distributed to Limited Partner from Fund Inception to June 30, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.
5. Accrued & Paid Performance Fees earned by SBG through its subsidiary, SBGA, reflect total Performance Fees earned by the Manager from Fund Inception through June 30, 2022.

Information herein is presented for illustrative purposes and relates solely to SBG's interests in SoftBank LatAm Funds. Past performance is not necessarily indicative of future results. Individual investors' results may vary.

In Focus: Conviction & Resilience in Times of Uncertainty

Conviction & Resilience in Times of Uncertainty

OUR INVESTMENT THESIS



AI-Powered



Disruptor



Large Addressable Market



Sustainable Growth



Exceptional Team

01 -

Continued Conviction

- ✓ The Power of the AI Revolution
- ✓ Strong Portfolio Company Growth
- ✓ Unrealized Value Poised to be Unlocked

02 -

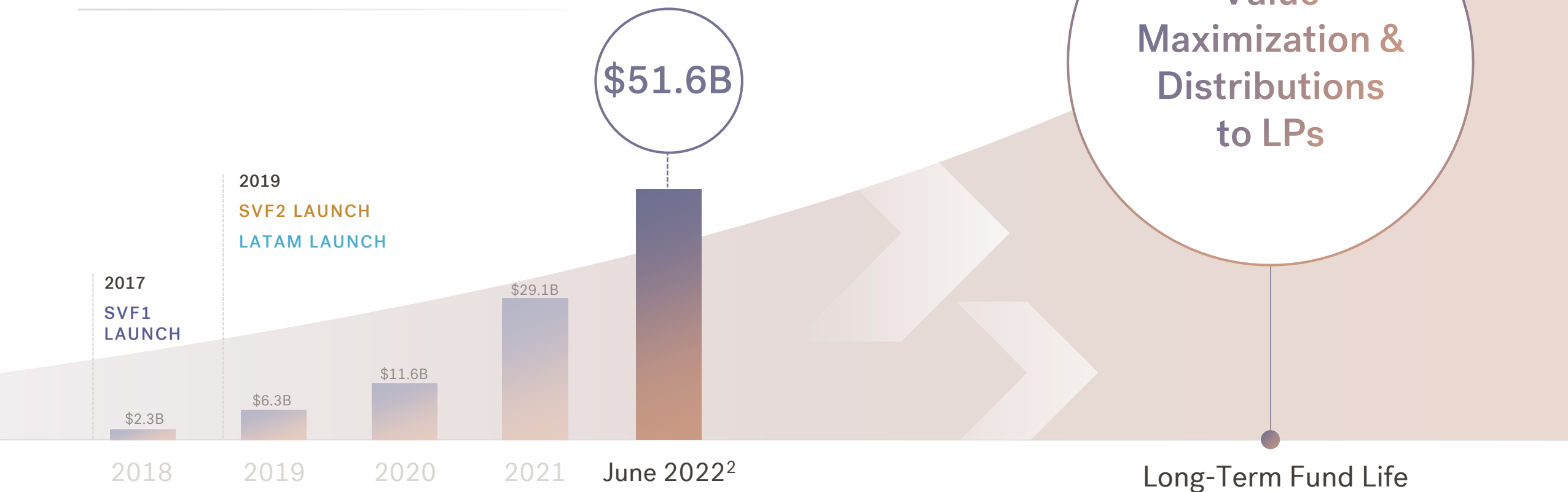
Embedded Resilience

- ✓ Highly Diversified Portfolio, with a Focus on Unit Economics & Profitability
- ✓ Portfolio Companies with Significant Cash Reserves
- ✓ Disciplined Focus on Monetization

Disciplined Focus on Monetization

Inception to June 30, 2022

Cumulative Distributions Since Inception¹



Footnotes:

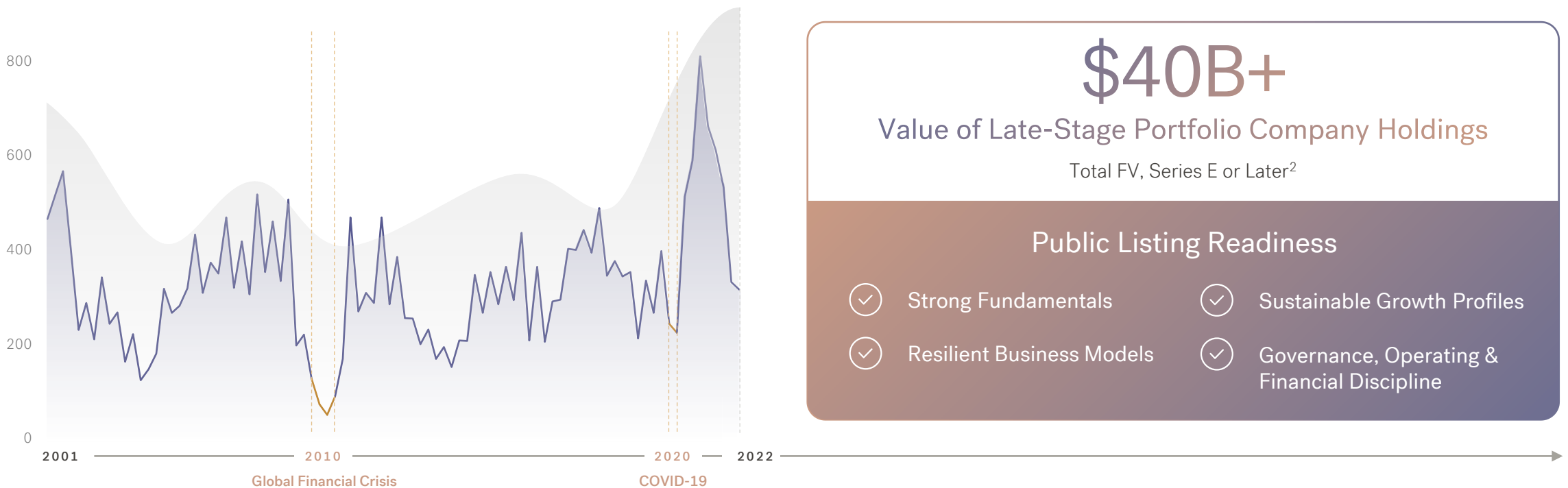
1. Distributions include proceeds from Investment Realizations, Financing, and Preferred Equity Coupon distributed to Limited Partners from Fund Inception to June 30, 2022. It includes the Return of Recalable Utilized Contributions and the Return of Non-Recalable Utilized Contributions but does not include the Return of Recalable Unutilized Contributions.
2. All Distribution figures are Cumulative as of June 30th of each year stated.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. There can be no assurances that any plans described herein will be realized on the terms expressed herein or at all, and all such plans are subject to uncertainties and risks, as well as investor consents and regulatory approvals, as applicable. For the avoidance of doubt, it should not be understood as the "track record" or projected performance of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2 or any other fund or investment vehicle managed by SBIA. Past performance is not necessarily indicative of future results.

Portfolio Companies Poised to List Publicly

Inception to June 30, 2022

NUMBER OF GLOBAL DEAL LISTINGS PER QUARTER¹



Footnotes:

1. Source: BAML Analysis and Dealogic.
2. Source: SBIA Analysis. As of June 30, 2022.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof.

Disruptive Business Models to Unlock Significant Value

As of June 30, 2022

				<p>TOTAL FAIR VALUE¹⁰</p> <p>\$35.2B</p>
Chips Shipped ² 230B	Monthly Active Users ³ 1.9B	# of Sports Partnerships ⁴ 900+	Market Share – Instant Needs ⁵ 75%	
				<p>TOTAL ACQUISITION COST¹¹</p> <p>\$28.7B</p>
GMV ⁶ ~\$19B	#1 Ride-Hailing Platform in China ⁷	Key Partnerships ⁸    	# of Renters ⁹ 5mm	

Long-Term
Value Creation



Footnotes:

1. Key Portfolio Companies defined as private and OTC traded portfolio companies with Fair Value greater than \$1B and TEqV greater than \$4B as of June 30, 2022.
2. Cumulative number of Arm-based chips shipped. Source: SBG Earnings Results Presentation for the FY Ended March 31, 2022.
3. Source: Harvard Business Review – How ByteDance Became the World's Most Valuable Start-up. February 2022.
4. Source: Fanatics company website. July 2022.
5. 2021 Market Share – Instant Needs. Source: GoPuff company website. July 2022.

6. 2021 GMV. Source: Flexport company website. July 2022.
7. Source: Statista. As of December 2021.
8. Source: Tech Crunch – Nuro's Newest Autonomous Delivery Bot is Designed for the Masses. January 2022.
9. Source: Ziroom company website. July 2022.
10. Total Fair Value is the Acquisition Cost plus Cumulative Investment Gains as of June 30, 2022.
11. Acquisition Cost is cumulative from Fund Inception to June 30, 2022.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Certain information was provided by a third party and SBIA makes no representation regarding the accuracy of the information. Select investments presented herein are solely for illustrative purposes, have been selected in order to provide examples of the types of investments made by SBIA and do not purport to be a complete list of Vision Fund I investments. References to investments included herein should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. It should not be assumed that investments made in the future will be comparable in quality or performance to the investments described herein. Please refer to visionfund.com/portfolio for a more complete list of Vision Fund I's investments. Third-party logos included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that the Manager, Vision Fund I's portfolio companies, or SoftBank will work with any of the firms or businesses whose logos are included herein in the future.

SVF2

LATAM

CONVICTION & RESILIENCE IN
TIMES OF UNCERTAINTY

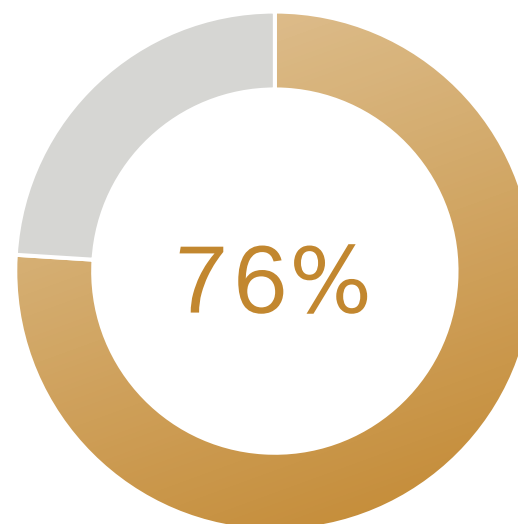
Portfolio Companies Continue to Achieve Strong Revenue Growth

As of June 30, 2022

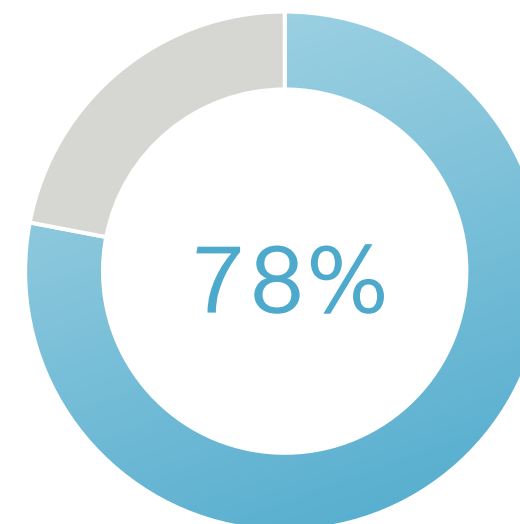
Our portfolio companies are achieving
healthy top-line growth



Percentage of Portfolio Companies Achieving >50% Annual Revenue Growth¹



SVF2



LATAM

Footnotes:

1. By portfolio company count. Includes SoftBank Vision Fund 2 and LatAm Funds private portfolio companies only. Excludes pre-revenue portfolio companies. Calculated by comparing 2021 to 2020 revenue.

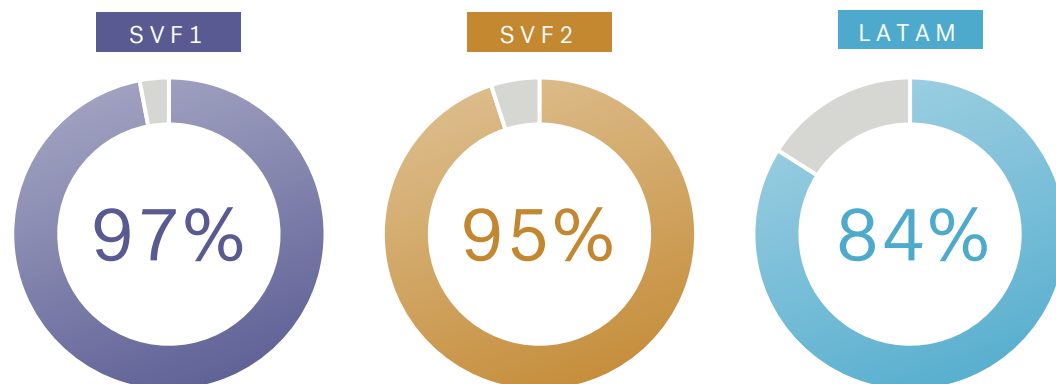
The information herein is provided solely for illustrative purposes. Certain information was provided by a third party and SBIA makes no representation regarding the accuracy of the information. For the avoidance of doubt, it should not be understood as the "track record" or projected performance of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, SoftBank LatAm Funds or any other fund or investment vehicle managed by SBIA. Past performance is not necessarily indicative of future results.

Portfolio Companies are Well-Capitalized with Ample Cash Runway

As of June 30, 2022

Portfolio Companies with 12+ Months Cash Runway

By Fair Value¹



Cash Balances²

\$122B

Portfolio Companies Continue to Access Capital via Broad Investor Bases

Last Twelve Months³

\$65B+

Capital Raised by
Portfolio Companies

1,000+

Number of
Institutional Investors










Footnotes:

1. Source: SBIA Analysis. Based on portfolio company fair value. Includes private and OTC traded portfolio companies. Excludes portfolio companies where cash runway data is unavailable. As of June 30, 2022.
2. Cash Balances reflects the aggregated balances of such Companies as of June 30, 2022, or latest available data where June 30, 2022 data was unavailable.
3. Source: SBIA Analysis and Pitchbook. Includes SoftBank Vision Fund 1, Vision Fund 2, and LatAm Funds portfolio companies. Data represents the number of institutional investors participating in the funding rounds of current portfolio companies that occurred over the period July 1, 2021, to June 30, 2022 (Last Twelve Months - "LTM"). Includes funding rounds which may have occurred prior to our investment, but over the Last Twelve Months.

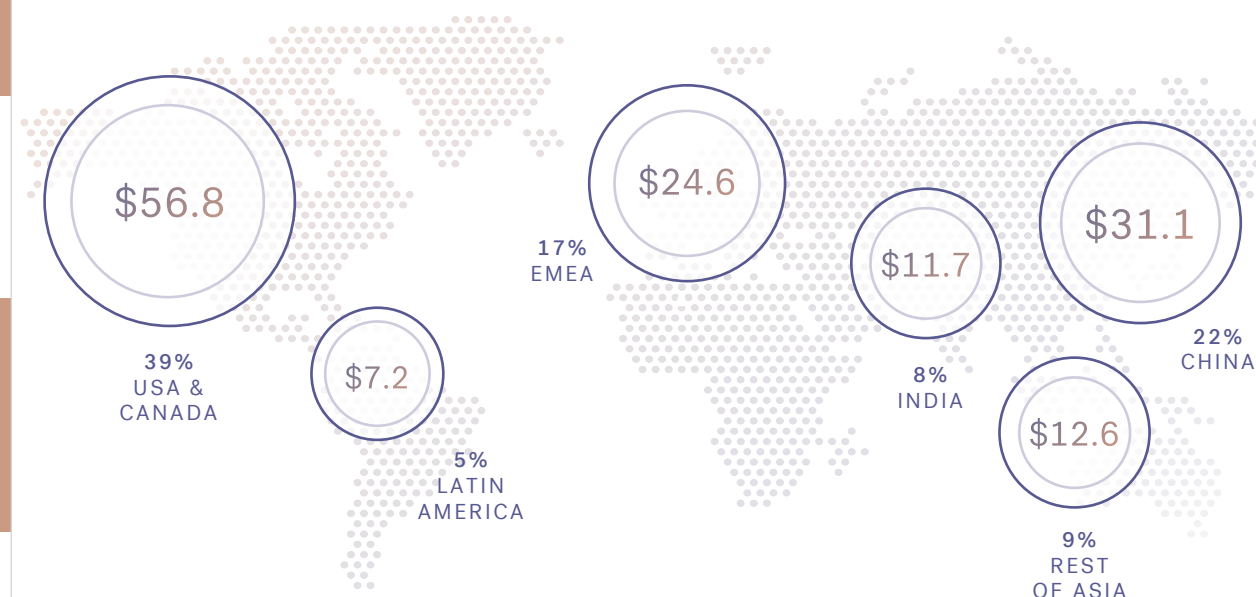
The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Certain information was provided by a third party and SBIA makes no representation regarding the accuracy of the information. There can be no assurances that any plans described herein will be realized on the terms expressed herein or at all, and all such plans are subject to uncertainties and risks, as well as investor consents and regulatory approvals, as applicable. For the avoidance of doubt, it should not be understood as the "track record" or projected performance of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, SoftBank LatAm Funds or any other fund or investment vehicle managed by SBIA. Past performance is not necessarily indicative of future results.

Highly Diversified Portfolio of 469 Companies

As of June 30, 2022

% COST BY SECTOR ¹				
 Frontier Tech 12%	 PropTech 12%	 Transportation 22%	 Enterprise 8%	 Health Tech 5%
Internet of Things AgTech Quantum Computing Robotics	Construction Tech Housing Platforms Smart Storage Workspace Solutions	Auto Marketplaces AI-enabled Safety Autonomous Ride Sharing	Computer Vision Cybersecurity Talent Intelligence AI & RPA Software	Digital Health Genomics Medical Technology Therapeutics
 EdTech 2%	 Consumer 17%	 Logistics 10%	 FinTech 12%	
AI-based Tutoring Digital Upskilling Online Learning Virtual Classrooms	eCommerce Creator Economy Digital Fitness eGrocery	Freight Platforms On-Demand Services Supply Chain Tech Warehouse Automation	Alternative Lending Crypto Infrastructure Payments WealthTech	

COST BY GEOGRAPHY²
(IN USD BILLIONS)



Footnotes:

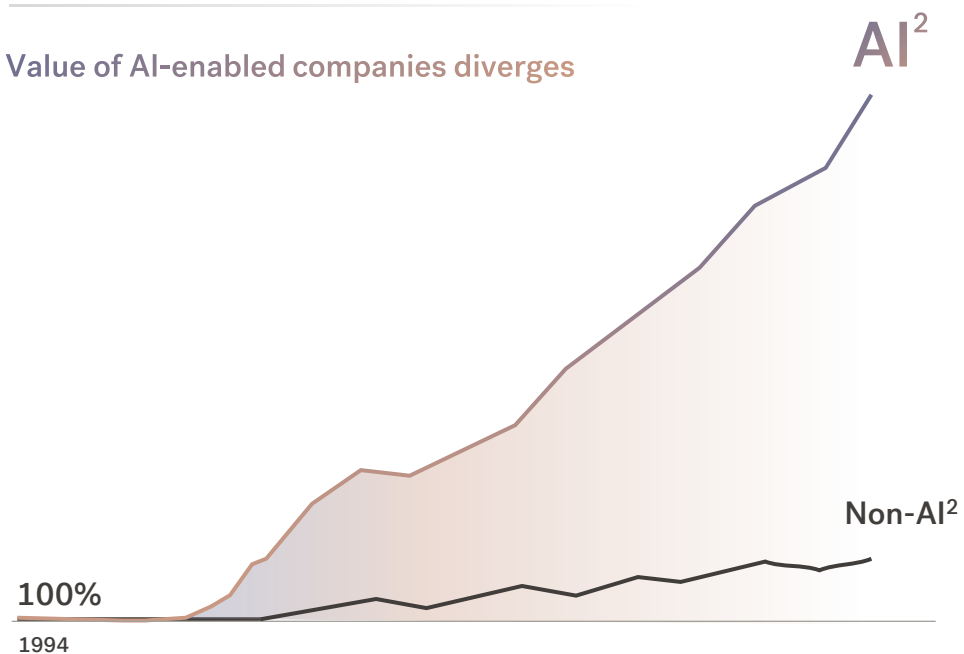
1. SoftBank Vision Fund 1 % Cost by Sector: Consumer - 15%, Edtech - 1%, Enterprise - 4%, Fintech - 6%, Frontier Tech - 17%, Health Tech - 3%, Logistics - 10%, PropTech - 12%, Transportation - 32%. SoftBank Vision Fund 2 % Cost by Sector: Consumer - 22%, Edtech - 3%, Enterprise - 16%, Fintech - 18%, Frontier Tech - 5%, Health Tech - 9%, Logistics - 10%, PropTech - 12%, Transportation - 5%. SoftBank LatAm Funds % Cost by Sector: Consumer - 13%, Edtech - 5%, Enterprise - 14%, Fintech - 38%, Frontier Tech - 0%, Health Tech - 1%, Logistics - 9%, PropTech - 8%, Transportation - 6%, Other 6%.
2. SoftBank Vision Fund 1 Cost (USD Billions) by Geography: USA & Canada - \$34.6, Latin America - \$0.8B, EMEA - \$12.1, China - \$25.3, India - \$7.7, Rest of Asia - \$7.2. SoftBank Vision Fund 2 Cost (USD Billions) by Geography: USA & Canada - \$21.3, Latin America - \$0.0B, EMEA - \$12.5, China - \$4.0, India - \$4.0, Rest of Asia - \$5.5. SoftBank LatAm Funds Cost (USD Billions) by Geography: USA & Canada - \$0.9, Latin America - \$6.3B, EMEA - \$0.0, China - \$0.0, India - \$0.0, Rest of Asia - \$0.0.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. For the avoidance of doubt, it should not be understood as the "track record" or projected performance of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, or any other fund or investment vehicle managed by SBIA. Sector characterization has been determined by SBIA, and although SBIA believes that such determinations are reasonable, they are inherently subjective in nature.

Conviction in the AI Revolution & Our Resilient Platform

Market Cap Growth¹

Value of AI-enabled companies diverges



01 -

Continued Conviction



The AI Revolution



Strong Portfolio Company Growth



Value Unlock

02 -

Embedded Resilience



Highly Diversified Portfolio



Portfolio Companies Well-Capitalized



Monetization Discipline

Footnotes:

1. Market Cap Growth is strictly for illustrative purposes and was presented at SoftBank Group's shareholder meeting in June 2021. Market Cap Growth is shown as an index assuming 1994 as 100%.

2. Source: S&P Capital IQ. AI includes the market capitalization of the internet industry and Non-AI includes the market capitalization of the manufacturing, finance, retail and real estate industries.

The information herein is provided solely for illustrative purposes, reflects the current beliefs of SBIA as of the date hereof. Certain information was provided by a third party and SBIA makes no representation regarding the accuracy of the information. There can be no assurances that any plans described herein will be realized on the terms expressed herein or at all, and all such plans are subject to uncertainties and risks, as well as investor consents and regulatory approvals, as applicable. For the avoidance of doubt, it should not be understood as the "track record" or projected performance of SoftBank Vision Fund 1, SoftBank Vision Fund 2, or any other fund or investment vehicle managed by SBIA.

Thank You

